（ 別 冊 ）

平成１９年度　予算概算要求に関する
東北地方整備局の事業概要

～『強く美しい東北』を目指して～

平成１９年度の主な事業

平成１８年８月２８日
東 北 地 方 整 備 局

目　　次

１．基本方針別の主な事業
・安全で安心できる地域づくり　…… 1
・強い東北の創造　…… 3
・美しい東北の実現　…… 4
・魅力ある都市づくり　…… 5

２．箇所別説明資料　…… 6

３．県別の主な事業箇所一覧　…… 110

1.基本方針別の主な事業

〔安全で安心できる地域づくり〕

【あらゆる災害に強い安全な地域づくり】

《河川関係》

（直轄事業）

○北上川下流改修事業（北上分流堰地区）の完成（宮城県） P6

○北上川下流改修事業（南沢川）の完成（宮城県） P7

○北上川下流月浜第一水門改築事業の完成（宮城県） P8

○最上川水系直轄砂防事業（八敷代川第三砂防えん堤）の完成（山形県） P9

○最上川水系直轄砂防事業（トノ沢砂防えん堤群）の完成（山形県） P10

○八幡平山系直轄火山砂防事業（六枚沢川第二砂防えん堤）の完成（秋田県） P11

○雄物川上流湯沢統合堰改築事業の事業推進（秋田県） P12

○最上川上流須川引き堤事業の事業推進（山形県） P13

○阿武隈川水系直轄火山砂防事業（須川第二砂防えん堤）の事業推進（福島県） P14

○八幡平山系直轄火山砂防事業（鬼又沢第一・第二砂防えん堤）の事業推進（岩手県） P15

○津軽ダム建設事業の事業推進（青森県） P16

○胆沢ダム建設事業の事業推進（岩手県） P17

○長井ダム建設事業の事業推進（山形県） P18

○森吉山ダム建設事業の事業推進（秋田県） P19

○一関遊水地建設事業の事業推進（岩手県） P20

○阿武隈川の丸森・梁川地区、二本松・安達地区、北上川の一関・川崎地区における水防災事業の事業推進 P21

（補助事業）

○砂鉄川激甚災害対策特別緊急事業の完成（岩手県） P22

○湯本川床上浸水対策特別緊急事業の完成（福島県） P23

○大内ダム建設事業の完成（秋田県） P24

○土橋川床上浸水対策特別緊急事業の事業推進（青森県） P25

○川内沢川広域基幹河川改修事業の事業推進（宮城県） P26

○戸沢地区急傾斜地崩壊対策事業の事業推進（秋田県） P27

○箱崎東の沢通常砂防事業の事業推進（岩手県） P28

○木戸ダム建設事業の完成（福島県） P29

○綱木川ダム建設事業の完成（山形県） P30

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道7号 本荘地区橋梁架替 新衣川橋の完成（秋田県） P31

○一般道路48号 仲の瀬橋震災対策の完成（宮城県） P32

○一般国道45号 鳴瀬大橋震災対策の完成（宮城県） P33

○一般国道46号　仙岩道路電気設備更新の事業推進（秋田県）　P34
○一般国道45号　仙台東部共同溝の完成（宮城県）　P35
○一般国道4号　図景地区電線共同溝の完成（福島県）　P36
○一般国道4号　造道地区電線共同溝の完成（青森県）　P37
○一般国道45号　道の駅「たろう」防災拠点化整備事業の完成（岩手県）　P38

（補助事業）

○一般国道１０１号　千畳敷橋外架替事業の完成（青森県）　P39

《港湾関係》

（直轄事業）

○仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁改良事業（耐震強化）の完成（宮城県）　P40
○GPS波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網の整備の事業推進　P41
○久慈港湾口地区防波堤整備事業(直轄海岸事業との合併事業）の事業推進（岩手県）　P42
○相馬港3号ふ頭地区岸壁整備事業（耐震強化）の事業推進（福島県）　P43
○青森港沖館地区複合一貫輸送ターミナル改良事業（耐震強化）の完成（青森県）　P44

（補助事業）

○青森港沖館地区橋梁改良事業（耐震強化）の完成（青森県）　P44

《海岸関係》

（補助事業）

○川内港海岸葛沢地区侵食対策事業の完成（青森県）　P45
○宮古港海岸高浜地区高潮対策事業の完成（岩手県）　P46
○大曲海岸侵食対策事業の事業推進（宮城県）　P47

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○一本木土地区画整理事業の補助完了（山形県）　P48
○扇町土地区画整理事業の補助完了（福島県）　P49
○住宅・建築物耐震改修等事業の事業推進（宮城県）　P50
○仙台市公共下水道事業（浸水被害緊急改善下水道等）の事業推進（宮城県）　P51
○郡山市都市水環境整備事業の事業推進（福島県）　P52

【雪に強く、安全で快適な地域づくり】

《河川関係》

（直轄事業）

○岩木川板柳地区消流雪用水導入事業の完成（青森県）　P53

（補助事業）

○今平雪崩対策事業の事業推進（山形県）　P54

《道路関係》
（直轄事業）
○一般国道47号　下野目（しものめ）地区防雪対策の事業推進（宮城県）　P55
（補助事業）
○一般国道458号　雪寒道路事業　日陰倉（ひかげくら）工区の完成（山形県）　P56
《都市・住宅関係》
（補助事業）
○青森市公共下水道［機能高度化］によるまちなかコミュニティ雪処理の事業推進（青森県）　P57
【高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり】
《道路関係》
（直轄事業）
○一般国道13号　蔵王成沢交差点改良の完成（山形県）　P58
○一般国道4号　末広地下横断歩道整備事業の完成（宮城県）　P59
○一般国道7号　土崎自転車歩行者道整備事業の事業推進（秋田県）　P60
○一般国道7号　小波渡自転車歩行者道整備事業の事業推進（山形県）　P61
《都市・住宅関係》
（補助事業）
○月が丘（つきがおか）地区住宅市街地総合整備事業の完成（岩手県）　P62
〔強い東北の創造〕
【「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進】
《道路関係》
○格子状骨格道路ネットワークの事業推進　P63
（直轄事業）
○津軽自動車道　一般国道101号浪岡五所川原道路の全線暫定供用（青森県）　P64
○三陸縦貫自動車道　一般国道45号桃生登米（ものうとよま）道路の全線暫定供用（宮城県）　P65
○日本海沿岸東北自動車道　本荘～岩城の全線暫定供用（秋田県）　P66
○日本海沿岸東北自動車道　一般国道7号仁賀保（にかほ）本荘道路の部分暫定供用（秋田県）　P67
○日本海沿岸東北自動車道　一般国道7号琴丘能代（ことおかのしろ）道路の全線暫定供用（秋田県）　P68
○東北中央自動車道　湯沢横手道路の全線暫定供用（秋田県）　P69
○東北中央自動車道　一般国道13号主寝坂（しゅねざか）道路の全線暫定供用（山形県）　P70
○新潟山形南部連絡道路　一般国道113号赤湯バイパスの部分暫定供用（山形県）　P71
（補助事業）
○一般国道455号　早坂道路の完成（岩手県）　P72

【グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備】

《港湾・空港関係》

（直轄事業）

○仙台空港B滑走路改良事業の事業推進（宮城県） P73
○秋田港外港（がいこう）地区防波堤整備事業の事業推進（秋田県） P74
○能代港大森（おおもり）地区航路整備事業の完成（秋田県） P75

〔美しい東北の実現〕

【東北らしい自然環境との共生】

《河川関係》

（直轄事業）

○湯田ダム湖活用環境整備事業の完成（岩手県） P76
○名取川改修事業（藤塚（ふじつか）地区）の事業推進（宮城県） P77
○北上川水系直轄総合水系環境整備事業（鵜波（ときなみ）地区歴史公園整備）の事業推進（宮城県） P78
○馬淵川水系直轄総合水系環境整備事業（魚がすみやすい川づくり）の事業推進（青森県） P79
○赤川水系直轄総合水系環境整備事業（自然再生）の事業推進（山形県） P80

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道4号　平泉バイパスの全線暫定供用（岩手県） P81
○一般国道4号　七戸バイパスの部分暫定供用（青森県） P82
○日本風景街道の取り組み（東北管内全域） P83

《港湾関係》

（直轄事業）

○みなとオアシス制度の推進（山形県酒田市 他 認定箇所） P84

（補助事業）

○大湊（おおみなと）港海岸大湊地区侵食対策事業の事業推進（青森県） P85

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○田野畑（たのはた）村特定環境保全公共下水道事業の供用開始（岩手県） P86
○猪苗代町公共下水道（猪苗代処理区）の事業推進（福島県） P87
○都市計画道路 毛越寺（もうつうじ）線の完成（岩手県） P88
○都市公園整備事業　亀ヶ城（かめがじょう）公園の事業推進（福島県） P89

《公園関係》

（直轄事業）

○国営みちのく杜の湖畔公園整備事業（Ⅱ期地区草原エリア）の事業推進（宮城県） P90

【循環型社会の構築】

《港湾関係》

（補助事業）

○青森港本港地区橋梁改良事業の事業推進（青森県） P91

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○仙台市公共下水道事業（合流式下水道緊急改善）の事業推進（宮城県） P92
○仙台市営西中田住宅ストック総合改善事業の事業推進（宮城県） P93

〔魅力ある都市づくり〕

《河川関係》

（直轄事業）

○名取川水系直轄総合水系環境整備事業（広瀬川タウンモビリティ）の事業推進（宮城県） P94

《道路関係》

（直轄事業）

○一般国道4号　花巻東バイパスの全線暫定供用（岩手県） P95
○一般国道13号　大曲バイパスの全線完成供用（秋田県） P96
○一般国道6号　相馬バイパスの全線暫定供用（福島県） P97
○一般道路45号　八戸バイパスの全線完成供用（青森県） P98
○一般国道4号　本宮拡幅の全線完成供用（福島県） P99
○盛岡秋田道路　一般国道46号　角館バイパスの部分暫定供用（秋田県） P100
○一般国道13号　上山バイパスの部分暫定供用（山形県） P101

《都市・住宅関係》

（補助事業）

○まちづくり交付金（西毛音内（にしもない）地区）の完成（秋田県） P102
○まちづくり交付金（いわき駅前地区）の事業推進（福島県） P103
○まちづくり交付金（新幹線新青森駅・青森駅周辺地区）の事業推進（青森県） P104
○都市計画道路 秋田中央道路の完成（秋田県） P105
○都市計画道路 北四番丁大衡線の事業推進（宮城県） P106
○六郷中央（ろくごうちゅうおう）地区街なみ環境整備事業の事業推進（秋田県） P107
○中央一丁目（ちゅうおういちちょうめ）第二地区第一種市街地再開発事業の事業推進（宮城県） P108

《営繕関係》

（直轄事業）

○山形県警察学校生徒寮・炊食浴室棟の完成（山形県） P109

２．箇所別説明資料

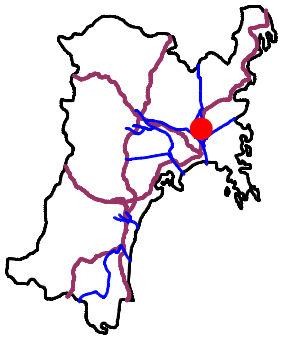
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	北上川下流分流堰地区河川改修事業（直轄） （宮城県登米市）

事業着手：平成8年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

北上川から旧北上川に分流させる鴇波洗堰・脇谷洗堰は、旧北上川及び江合川・迫川等の支川流域の治水安全を高める役割を果たしていますが、建設後70年以上が経過し老朽化が進んでいるため、新施設による抜本的な改築が必要です。

「事業の概要」

治水計画上、旧北上川への分派量（0m3/s）とする水門等を建設することで、旧北上川流域の洪水に対する安全度を向上させるものです。

なお鴇波洗堰・脇谷洗堰は、歴史的・文化的に価値が高く、現施設を保存する計画です。



●歴史的・文化的施設

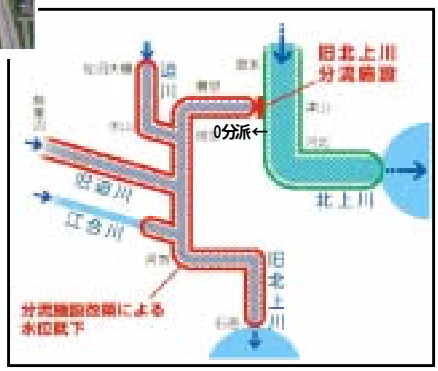




●新たに整備された水門







平成19年度の予定

○残る築堤部分の整備を実施し、本事業の完成を目指します。

事　業　効　果

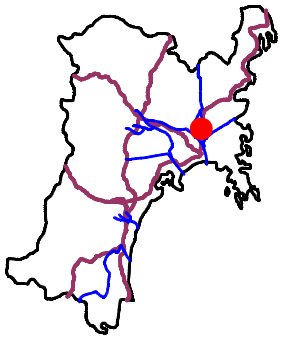
○旧北上川流域の浸水被害が大幅に低減されます。
（既往最大（S22カスリン台風）による想定氾濫世帯数　約18，000戸　→　約5，000戸）

安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	**北上川下流南沢川河川改修事業（直轄）（宮城県登米市）**
事業着手：平成１３年度	**完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定**

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

北上川に合流する支川南沢川は、その合流点付近に旧津山町の中心市街地がありますが、南沢川の流下能力が低く、H10,11,14年と近年相次いで浸水被害が発生する水害常襲地区となっています。浸水区域には、災害弱者施設や行政機関などがあり、早期の治水対策が必要となっています。

「事業の概要」

南沢川下流部約2.5km区間において、河道掘削、築堤、橋梁の改築等による治水対策を実施するものです。



旧津山町役場付近浸水状況（H11.10洪水）





平成１９年度の予定

○築堤、排水機場の整備等を実施し、本事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○旧津山町市街地の浸水被害の軽減を図ります。

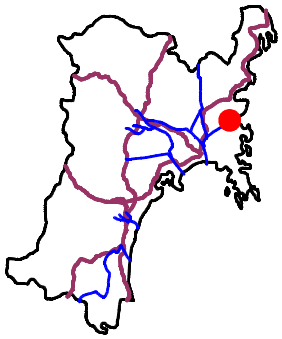
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	北上川下流月浜第一水門改築事業（直轄） （宮城県石巻市）

事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

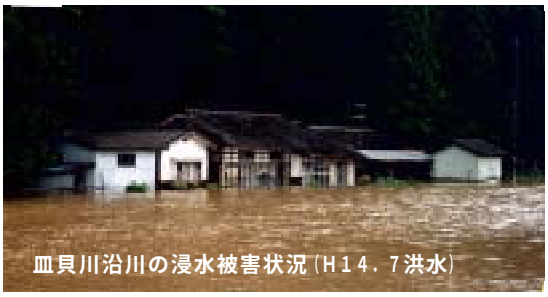


「事業の必要性」

月浜第一水門は、新北上川建設に伴い、支川皿貝川の付け替え工事の一環及び塩水遡上防止、逆流防止の目的で、昭和3年に建設されましたが、水門の老巧化が進行していること、現在の北上川及び皿貝川の改修計画に対して水門の断面、高さが不足していることから、機能確保、流下能力の向上のため改築が必要となっています。

「事業の概要」

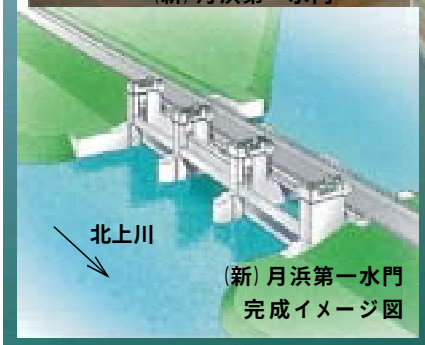
水門改築により、北上川洪水時の逆流防止、塩水遡上防止、水門の断面・高さ改善による流下能力向上を図ります。また、本事業とあわせて宮城県が皿貝川及び併走する大沢川の河川改修を行っており、国と県が連携して事業を行うことによって、皿貝川と大沢川の治水安全度が飛躍的に向上します。



皿貝川沿川の浸水被害状況（H14．7洪水）



本体が完成した
（新）月浜第一水門



北上川
（新）月浜第一水門
完成イメージ図

（新）月浜第一水門
（建設地点）
北上川

老巧化が進行した
（旧）月浜第一水門

平成19年度の予定

○水門周辺整備等を実施し、本事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○北上川本川、支川の流下能力を向上させ、沿川の浸水被害の軽減を図ります。
○塩水遡上を防止し、塩害を防ぎます。

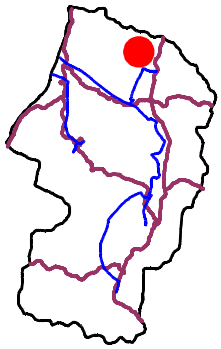
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	最上川水系直轄砂防事業　八敷代川第三砂防えん堤（直轄） （山形県最上郡真室川町）

事業着手：平成１７年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

鮭川流域においては、昭和５０年８月の記録的な災害を契機に再度災害防止のために、順次施設整備を進めています。

当該箇所は、下流に集落や重要交通網であるＪＲ奥羽本線、生活道である主要地方道真室川・鮭川線の保全施設を有し、早期に土砂災害の安全度を向上させる必要があります。

「事業の概要」

○構造：重力式コンクリート
　えん堤高・延長：H=13.0m、L=56.0m
　土砂整備効果量：41,950m3



○ＪＲ奥羽本線昭和５０年被災状況



○完成イメージ図



○真室川町昭和５０年被災状況
（流出寸前の真鶴橋）



平成１９年度の予定

○平成19年度は、えん堤本体の工事を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

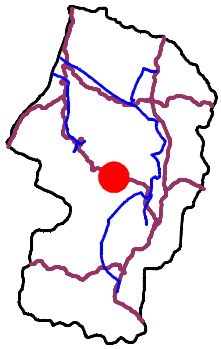
○土砂災害から下流集落及び重要交通網（ＪＲ奥羽本線）を保全します。

安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	**最上川水系直轄砂防事業　トノ沢砂防えん堤群（第２号えん堤）（直轄）** **（山形県西村山郡西川町）**
事業着手：平成１８年度	**完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定**

事業の必要性・事業の概要

山形県



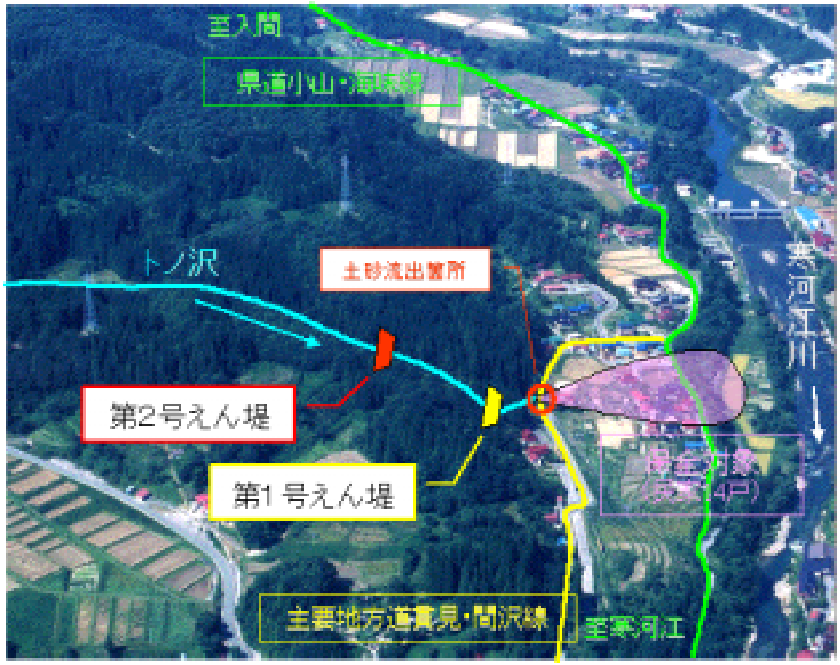
「事業の必要性」

トノ沢は、土石流危険渓流の１つであり、平成１７年４月７日には土砂流出が発生するなど、土石流の危険性が高まっており、早期の対策が必要になっています。

「事業の概要」

○第１号えん堤
　構造：重力式コンクリート
　えん堤高・延長：H=6.5m、L=33.6m
　土砂整備効果量：1,038m3

○第２号えん堤
　構造：鋼製ダブルウォール
　えん堤高・延長：H=8.0m、L=34.8m
　土砂整備効果量：3,624m3



○土砂流出状況（平成１７年４月７日）



平成１９年度の予定

○平成１９年度は、第２号えん堤の整備を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○土砂災害から下流の民家（１４戸）及び主要地方道貫見（ぬくみ）・間沢（まざわ）線、県道小山（こやま）・海味（かいしゅう）線を保全します。

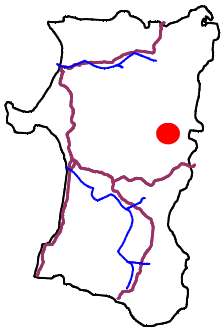
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　六枚沢川第二砂防えん堤（直轄） （秋田県仙北市田沢湖）

事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県

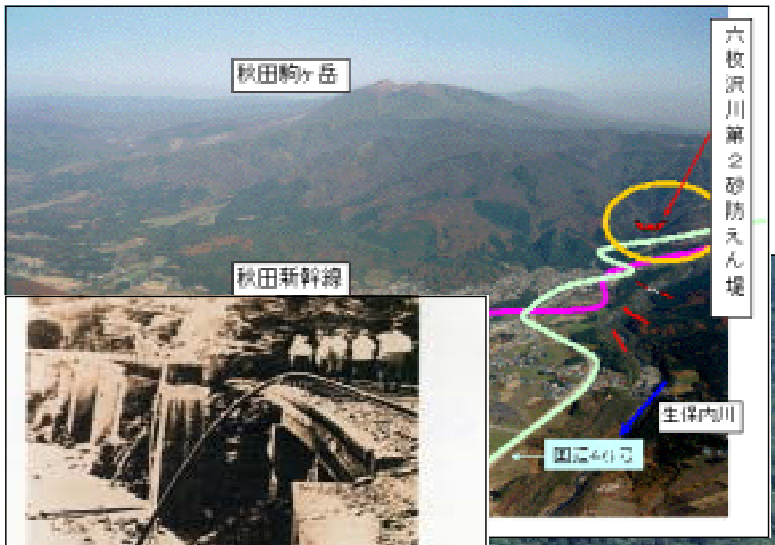


「事業の必要性」

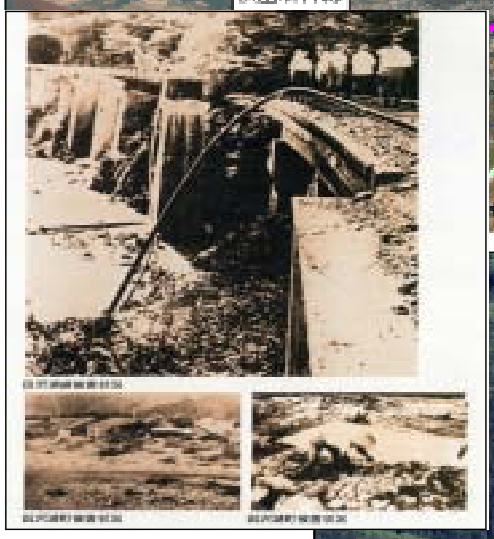
六枚沢川は下流に国道４６号、秋田新幹線の重要交通網がありますが、その上流は荒廃が進み、既設砂防えん堤は満砂の状態で土砂災害発生の危険性が高まっているため、早期の対策が必要となっています。

「事業の概要」

○構造：コンクリートスリット
○えん堤高・延長：H=　14.5m　　L=　24.9m
○土砂整備効果量：15,600m3







昭和３５年　生保内の被害状況



平成19年度の予定

○平成１９年度は、えん堤本体の工事を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○土砂災害から重要交通網である国道４６号、秋田新幹線を保全します。

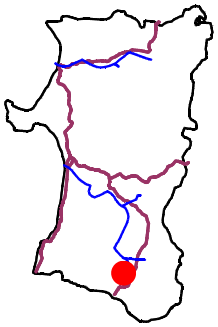
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	雄物川上流湯沢統合堰特定構造物改築事業（直轄） （秋田県湯沢市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

雄物川上流に設置されている幡野弁天堰（昭和４４年設置）、湯沢堰（昭和４０年設置）は固定堰であるため、堰付近の流下能力が大幅に不足しており、洪水の安全な流下を著しく阻害しています。

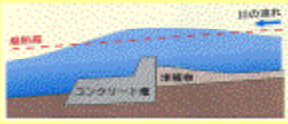
平成１６年７月洪水では、堰上流で計画高水位を上まわる状況となっており、氾濫の危険性が高く、改善が必要です。

「事業の概要」

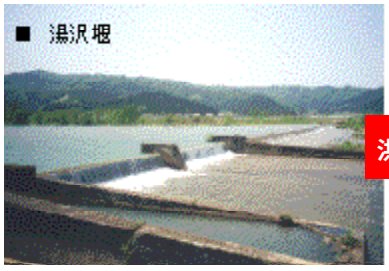
洪水の安全な流下を阻害している幡野弁天堰・湯沢堰を統合し、固定堰から可動堰とすることにより流下能力不足を解消する改築事業を実施しております。

●現況

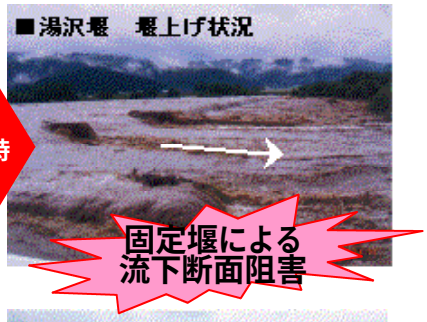
堰天端高が河床より高く固定堰のため洪水流下の阻害となっている。



平常時



洪水時

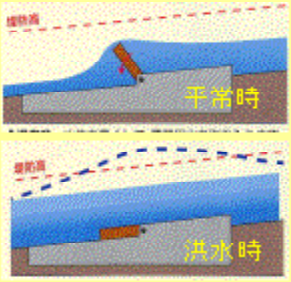






●整備後

平常時は、取水のため堰を起立し、洪水時は倒伏することにより、洪水の流下阻害を解消。





平成１９年度の予定

○可動堰本体部分の整備に着手し、湯沢統合堰の改築事業を推進します。

事　業　効　果

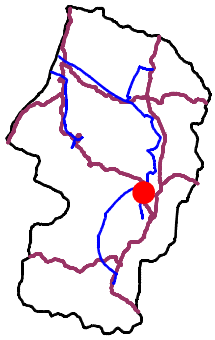
○可動堰への改築によって、洪水時の流れを良くすることで、浸水被害を軽減します。

安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	**最上川（もがみがわ）上流須川引堤事業（直轄）** **（山形県（やまがた）山形市、天童（てんどう）市）**
事業着手：平成１１年度	**完成・供用の目標年度：平成２０年度以降完成予定**

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

須川は県都山形市を流域にもち、近年、沿川の都市化の進展が著しい河川ですが、これまで大正2年8月や昭和４２年８月（羽越豪雨）など幾度もの洪水被害を受けております。同規模の洪水に見舞われた場合、現在のままでは洪水を安全に流下させることが出来ない状況にあり、流域内資産等を勘案すると早急な流下能力の向上が必要であります。

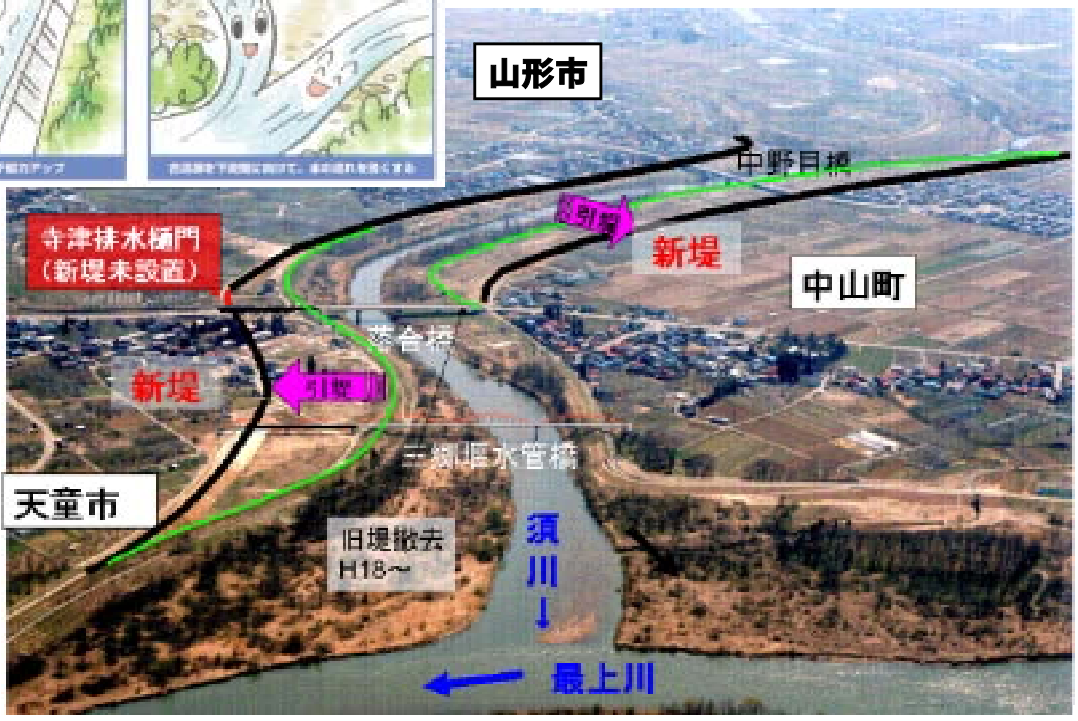
「事業の概要」

上流部の無堤地区では堤防の新設を、また、洪水の受け皿となる下流部では川幅の拡幅を重点的に実施するとともに、それでもなお流下能力が不足する箇所については河道掘削を行うなど、抜本的な河川改修を段階的に行っています。





昭和４２年８月羽越豪雨による被害
（山形市沼木地区の門伝橋（県管理区間）の被災状況）



平成１９年度の予定

○寺津排水樋門を完成させ、一連の新堤完成を目指します。

事　業　効　果

○引堤事業が完成すると須川流域の治水安全度が向上します。
（大正2年8月洪水相当規模の洪水を安全に流下させます）

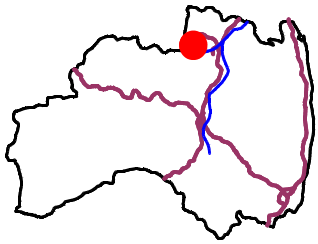
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	阿武隈川水系直轄火山砂防事業　須川第二砂防えん堤（直轄） （福島県福島市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

福島市を流れる須川の上流部は、崩壊地及び地すべり地形を有していることから、その流出土砂に伴う洪水氾濫から下流にある福島市街地の被害軽減を図る必要があります。

「事業の概要」

○構造：重力式コンクリートスリット
○えん堤高・延長：H=14.5m　L=86.0m
○土砂整備効果量：45,000m3



至　福島市街地



完成イメージ



須川下流市街地状況

平成１９年度の予定

○えん堤本体の工事に着手します。

事　業　効　果

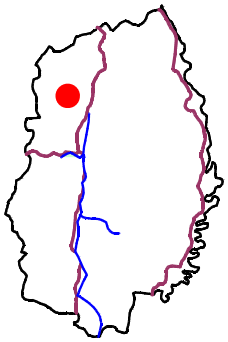
○福島市街地における土砂災害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業　鬼又沢第一・第二砂防えん堤（直轄） （岩手県岩手郡滝沢村）
事業着手：平成１７年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

鬼又沢は、岩手山噴火後の降灰が降雨により土石流となり流れ下ることから、岩手山下流集落の生命と財産を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

○鬼又沢第一砂防えん堤
　構造：コンクリート重力式
　えん堤高・延長：H=10.5m　L=48.0m
　土砂整備効果量：18,900m3
○鬼又沢第二砂防えん堤
　構造：格子型スリット式
　えん堤高・延長：H=11.5m　L=68.0m
　土砂整備効果量：19,600m3



平成１９年度の予定

○平成19年度は、鬼又沢第一砂防えん堤を完成させ、鬼又沢第二砂防えん堤の工事を促進します。

事　業　効　果

○土砂災害から下流の岩手県肉牛生産公社、滝沢村立柳沢小・中学校、人家63戸を保全します。

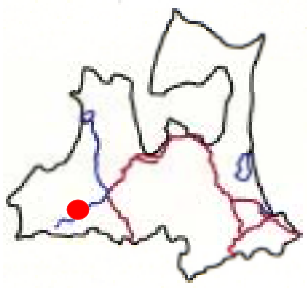
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名　津軽（つがる）ダム建設事業（直轄）
（青森県中津軽郡西目屋村（あおもり　なかつがる　にしめや））

事業着手：平成3年度　　**完成・供用の目標年度：平成２８年度完成予定**

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

津軽（つがる）ダムは、岩木川（いわきがわ）の本川上流、中津軽郡西目屋村藤川（なかつがるぐんにしめやむらふじかわ）・居森平（いもりたい）地内に建設中の多目的ダムです。

津軽ダムは、岩木川本川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、工業用水の供給、発電の６つの役割を担います。

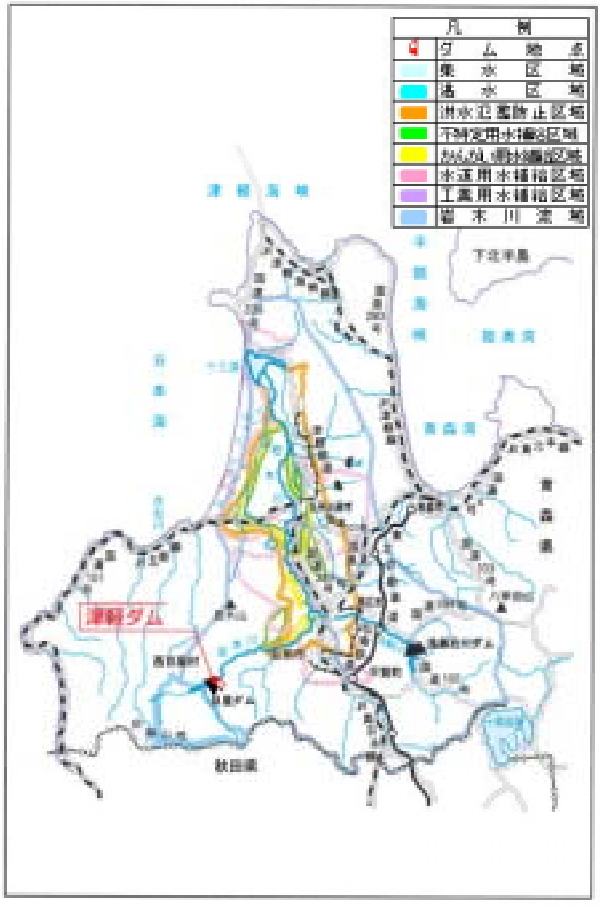
「事業の概要」

○　ダム諸元
・総貯水容量：1億4,230万m³　・高さ：　97.5m　・堤頂長：360.0m
・堤体積：　88万m³　・ダム型式：重力式コンクリートダム

○　これまでの事業経緯
平成８年度　　下流工事用道路着手
平成１４年度　　付替県道着手

○　総事業費：1,450億円、完成工期：平成28年度
（平成17年　7月19日：基本計画変更告示）

位置図及び計画概要図



津軽ダム堤体建設予定地　＜下流から＞



（平成１８年６月撮影）

平成１６年９月台風出水状況（岩木川：弘前市）



平成１９年度の予定

○　本体建設工事に先立ち、実施する必要がある本体建設関連工事を実施するほか、付替県道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）3,100m³/sのうち2,890m³/sをダムに貯め、210m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて岩木川本川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、弘前市への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	胆沢ダム建設事業（直轄） （岩手県奥州市）

事業着手：昭和６３年度	完成・供用の目標年度：平成２５年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

胆沢ダムは、北上川の右支川胆沢川の上流に位置する奥州市胆沢区若柳地内に建設中の多目的ダムです。

胆沢ダムは、北上川本川と胆沢川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の５つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元

・総貯水容量：1億4,300万m³　・高さ：132.0m　・堤頂長：723.0m

・堤体積：1,350万m³　・ダム型式：ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯

平成17年度～　　堤体盛立

平成18年7月末　　堤体盛立 94万m³　（進捗率：7%）

○　総事業費：2,440億円、完成工期：平成25年度

（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の胆沢ダム ＜下流上空から＞

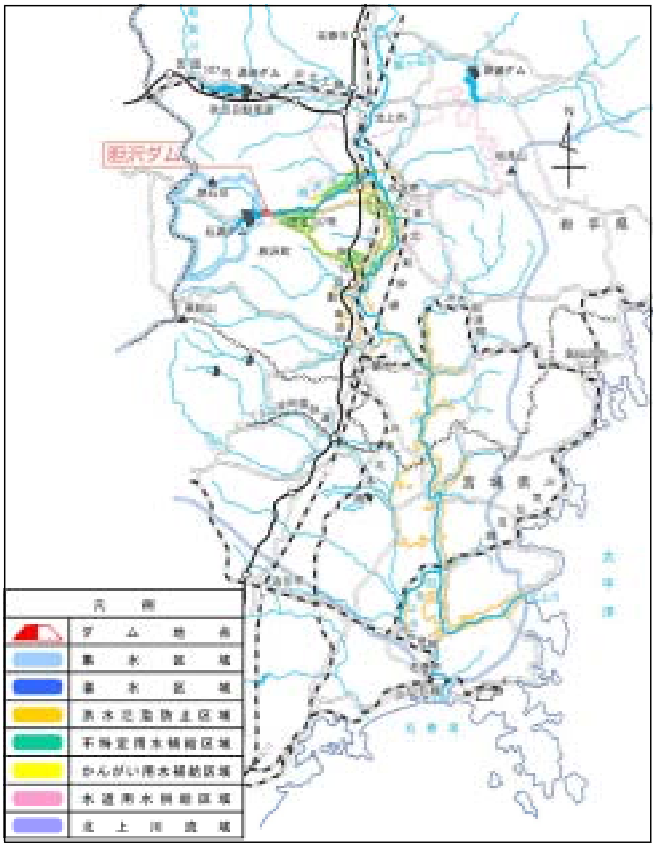


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成18年5月撮影）

水沢工業団地浸水状況（H14.7洪水）



胆沢ダム計画概要図



平成１９年度の予定

○堤体盛立工事等本体工事及び付替国道・市道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）2,100m³/sのうち1,830m³/sをダムに貯め、270m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて北上川本川及び支川胆沢川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、胆江広域水道企業団への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	長井ダム建設事業（直轄） （山形県長井市）

事業着手：昭和５９年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

長井ダムは、最上川の左支川置賜野川の上流長井市平野・寺泉地内に建設中の多目的ダムです。

長井ダムは、最上川本川と置賜野川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、かんがい用水の補給、水道用水の供給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元

・総貯水容量：5,100万m³　・高さ：125.5m　・堤頂長：381.0m

・堤体積：120万m³　・ダム型式：重力式コンクリートダム

○　これまでの事業経緯

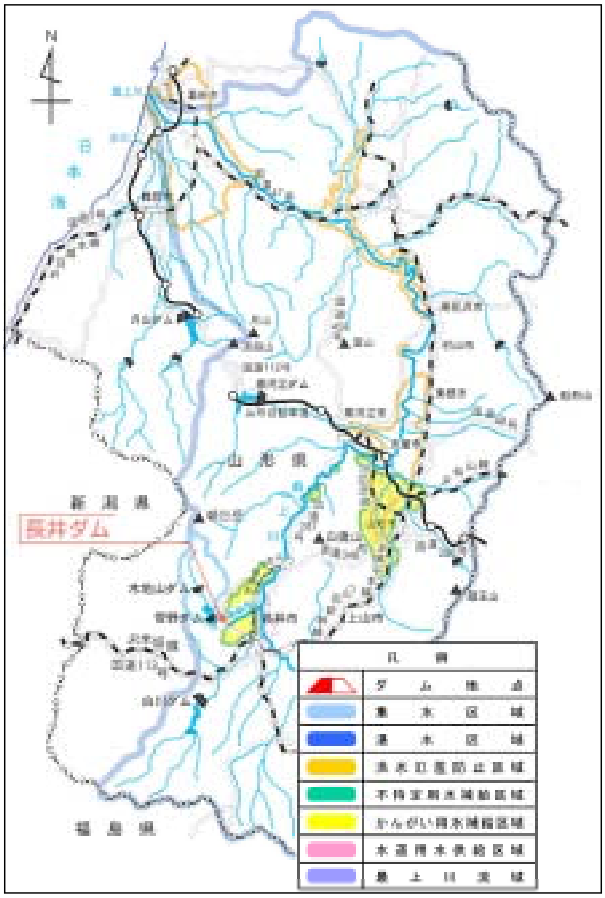
平成14年度～　　堤体コンクリート打設

平成18年7月末　　コンクリート打設 114万m³（進捗率：95%）

○　総事業費：1,600億円、完成工期：平成22年度

（平成14年11月12日：基本計画変更告示）

位置図及び計画概要図



長井ダム堤体コンクリート打設状況　＜下流から＞



（平成18年5月撮影）

平成14年7月台風出水状況（最上川：白鷹町）



平成19年度の予定

○取水放流設備製作据付及び付替県道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水量（計画高水流量）1,000m³/sのうち780m³/sをダムに貯め、220m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて最上川本川及び支川置賜野川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、長井市への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

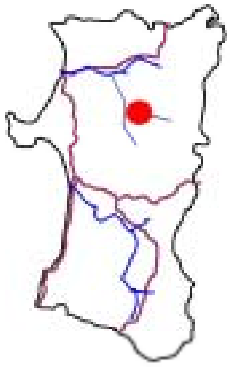
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名　森吉山ダム建設事業（直轄）
（秋田県北秋田市）

事業着手：昭和６１年度	完成・供用の目標年度：平成２３年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

森吉山ダムは、米代川の左支川阿仁川の右支川小又川上流に位置する北秋田市根森田・森吉地内に建設中の多目的ダムです。

森吉山ダムは、米代川本川と支川阿仁川及び小又川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

○　ダム諸元
・総貯水容量　：　7,810万m³　・高さ　：　89.9m　・堤頂長　：　786.0m
・堤体積　：　585万m³　　・ダム型式　：　ロックフィルダム

○　これまでの事業経緯
平成16年度～　　堤体盛立
平成18年7月末　　堤体盛立　512万m³　（進捗率：88%）

○　総事業費：1,750億円、完成工期：平成23年度
（平成12年6月14日：基本計画変更告示）

本体工事中の森吉山ダム　＜下流上空から＞

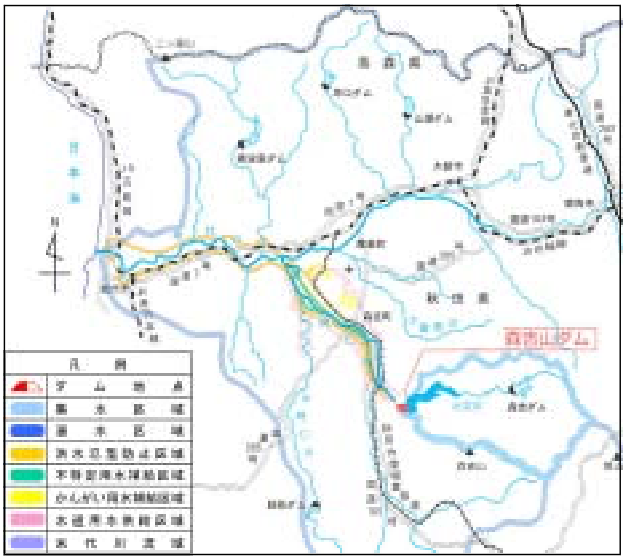


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成18年5月撮影）

支川小又川の越水<H9.7>



森吉山ダム計画概要図



平成１９年度の予定

○堤体盛立工事等本体工事及び付替県道・市道工事の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　ダム地点における洪水流量（計画高水流量）2,300m³/sのうち2,200m³/sをダムに貯め、100m³/sを下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて米代川本川及び支川阿仁川・小又川沿川の洪水被害の軽減を図ります。

○　また、北秋田市（旧森吉町・旧合川町）への水道用水の供給をはじめとする各種用水の安定的な確保を図るとともに、渇水被害の軽減を図ります。

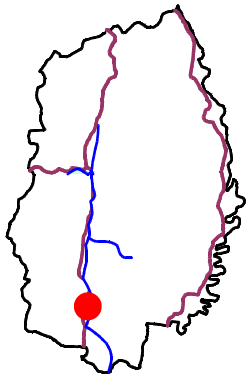
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一関遊水地建設事業（直轄） （岩手県一関市・平泉町・奥州市）

事業着手：昭和４７年度	完成・供用の目標年度：平成３０年代後半完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

一関遊水地は、一関市などの市街地を洪水から防御する本堤と遊水地内の優良農地を中小規模の洪水から守る小堤から構成し、本堤は平成15年度に概成しました。一方、衣川地区の本堤や小堤が未整備となっているため、平成14年7月洪水では家屋（23戸）や国道4号、さらに遊水地内の農地が浸水するなどの被害が発生しています。このため、本堤及び小堤の整備が必要となっています。

「事業の概要」

本堤の進捗に併せ平成18年度から実施の小堤盛土の進捗を図ります。

第2遊水地においても小堤盛土に着手し、衣川地区においては、国道4号衣川橋架替、JR衣川橋りょう架替を進めます。



平成19年度の予定

○平成19年度は、第1遊水地小堤、第2遊水地小堤、国道4号衣川橋架替、JR衣川橋りょう架替を実施します。

事　業　効　果

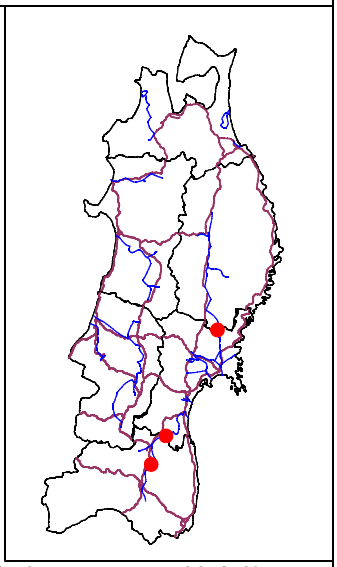
○小堤の施工により、第1遊水地820ha、第2遊水地470haにおける、中小洪水(1/10確率降雨)による浸水被害を軽減します。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名　**土地利用一体型水防災事業**

阿武隈川上流二本松･安達地区（福島県二本松市）
阿武隈川丸　森　・　梁　川　地　区（宮城県丸森町･福島県伊達市）
北上川上流一　関　・　川　崎　地　区（岩手県一関市）

事業着手：　－　　**完成・供用の目標年度：　－**



事業の必要性･事業の概要

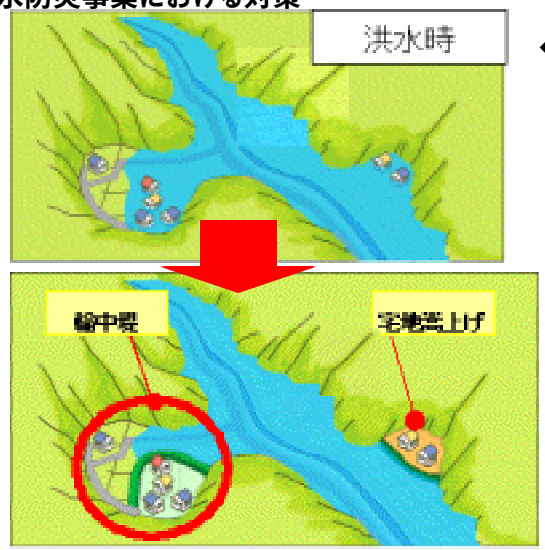
「事業の必要性」

阿武隈川の二本松・安達地区（福島県）や県境の丸森（宮城県）・梁川（福島県）地区、北上川の宮城県境から上流一関遊水地までの区間は、背後に山々が迫り、狭隘部という地形特性を有しておりますが、川沿いに集落が点在していることなどから、平成10年８月洪水や平成14年７月洪水など、過去に幾度となく浸水被害を受けており、早急な治水対策が急務となっています。

「事業の概要」

従来の連続堤防による対策では長い年月がかかること、地形特性上から施工が困難であることから、従来の改修方式ではなく、輪中堤、宅地嵩上げ等の対策により、早期の効果発現を図ります。

◎水防災事業における対策



◆阿武隈川上流二本松・安達地区における被害状況

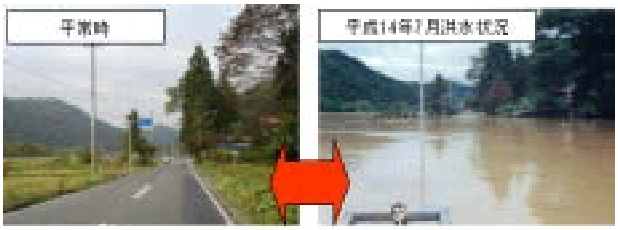


◆阿武隈川丸森・梁川地区における被害状況





◆北上川上流一関・川崎地区における被害状況



濁　流　が　家　屋　に　迫　り　、生　活　道　路　も　水　没！

平成19年度の予定

○水防災事業における各種治水対策を推進します。

事　業　効　果

○輪中堤、宅地嵩上げ等を実施整備することにより、洪水時の安全な生活を確保します。

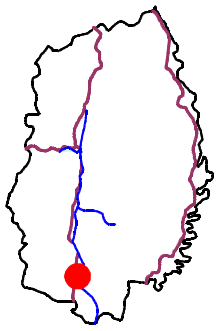
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	砂鉄川（さてつがわ）激甚災害対策特別緊急事業（補助：事業主体　岩手県） （岩手県一関市）

事業着手：平成１４年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



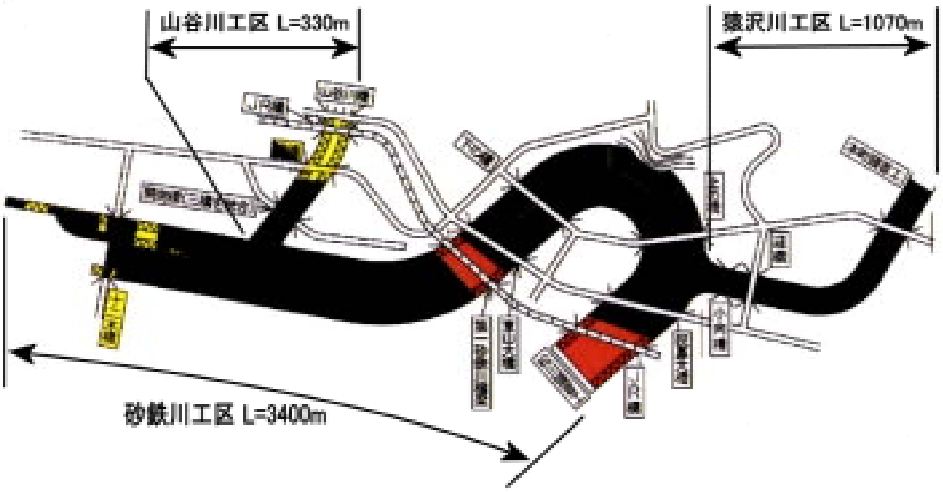
「事業の必要性」

砂鉄川では、平成14年7月10日～11日の台風6号による豪雨により、床上浸水271戸、床下浸水122戸もの甚大な浸水被害を被ったことから、再度の災害を防止するため、早急に治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

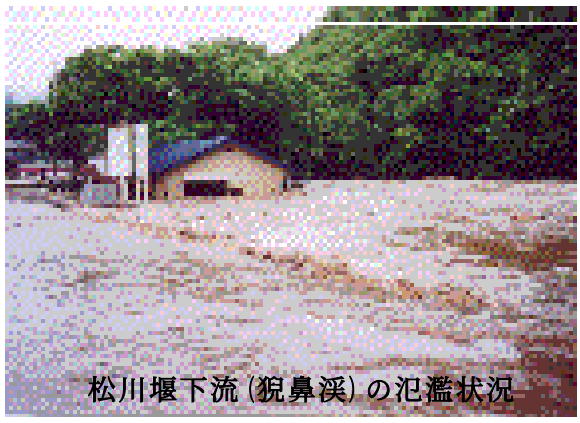
治水安全度の向上のため、掘削、築堤、橋梁架替を実施します。

激特区間全体延長　L=4800m





平成14年7月洪水による氾濫状況



松川堰下流（猊鼻渓）の氾濫状況

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、河道掘削、築堤、護岸の整備を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○事業が完了することにより、 平成14年規模の洪水に対しての被害（床上２７１戸、床下１２２戸）が解消されます。

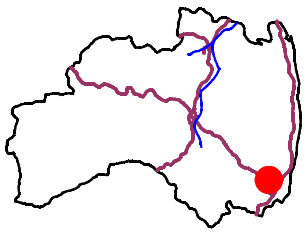
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	湯本川（ゆもとがわ）床上浸水対策特別緊急事業（補助：事業主体　福島県） （福島県いわき市）

事業着手：平成１４年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県

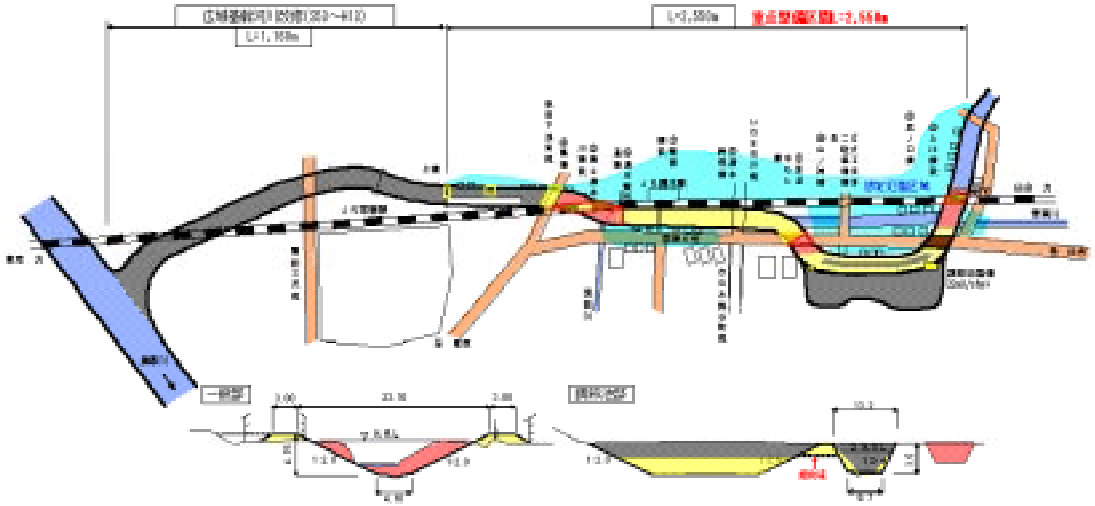


「事業の必要性」

湯本川は河幅が狭く、国道・ＪＲ橋梁等の断面が狭小のため、豪雨・出水の際には度々氾濫しており、特に平成5年11月の集中豪雨では、常磐湯本市街地全域に甚大な被害を被ったことから、早急に治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

治水安全度の向上のため、築堤、掘削、調整池、橋梁架替を実施します。





平成10年10月洪水による浸水状況



平成５年11月洪水による浸水状況

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、掘削、護岸、橋梁架替を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○調節池及び河道改修により、３９７戸の床上浸水が解消されます。

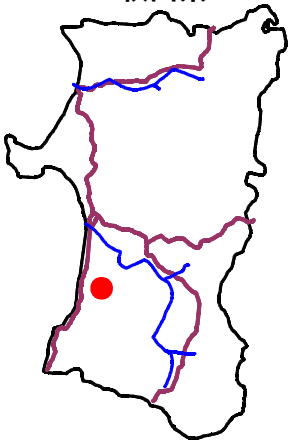
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	大内ダム建設事業（補助：事業主体　秋田県） （秋田県由利本荘市）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

大内ダムは、子吉川水系芋川支川畑川に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムです。

芋川流域では、豪雨による出水で度々洪水被害を受けている一方で、夏期においてはしばしば深刻な水不足に見舞われています。

大内ダムによって、洪水被害や渇水等の心配のない安全で安心できる地域づくりが可能となります。

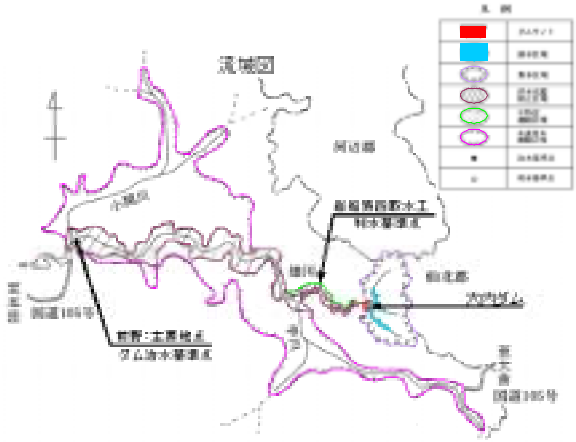
「事業の概要」

全体計画

ダム形式	：	重力式コンクリート
ダム高	：	27.5 m
堤頂長	：	106.0 m
堤体積	：	21.5 千m³
総貯水容量	：	724.0 千m³

進捗状況

平成１５年度	本体工事契約
平成１６年度	本体基礎掘削
平成１７～１８年度	コンクリート打設



平成１４年７月洪水（国道１０５号：由利本荘市松本）



大内ダム（下流左岸より、平成１８年８月）



平成１９年度の予定

○平成１９年度は、試験湛水を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○洪水の際、ダムに流入する45m³/秒のうち37m³/秒をダムに貯めて下流の畑川及び芋川沿川地域の水害を防ぎます。

○１日あたり最大2,000m³の水を上水道へ供給します。

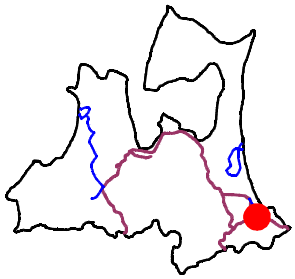
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	土橋川（つちはしがわ）床上浸水対策特別緊急事業（補助：事業主体　青森県） （青森県八戸（はちのへ）市）

事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

土橋川では、平成11年10月に床上・床下浸水160戸、平成13年9月に床上・床下浸水44戸の浸水被害が発生しています。

このため、近年の水害の発生状況や避難勧告の発令状況、流域の重要性を考慮し、早急に治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

治水安全度の向上のため、放水路工を実施します。







平成１９年度の予定

○平成１９年度は、放水路本体工を実施し、事業の促進を図ります。

事　業　効　果

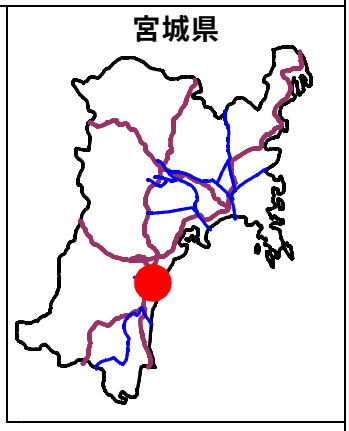
○放水路が完了することにより、 平成１１年規模の洪水に対しての被害（床上・床下１６０戸）が解消されます。

安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	川内沢川広域基幹河川改修事業（補助：事業主体　宮城県） （宮城県名取市）

事業着手：平成７年度	完成・供用の目標年度：平成２０年代後半完成予定

事業の必要性・事業の概要

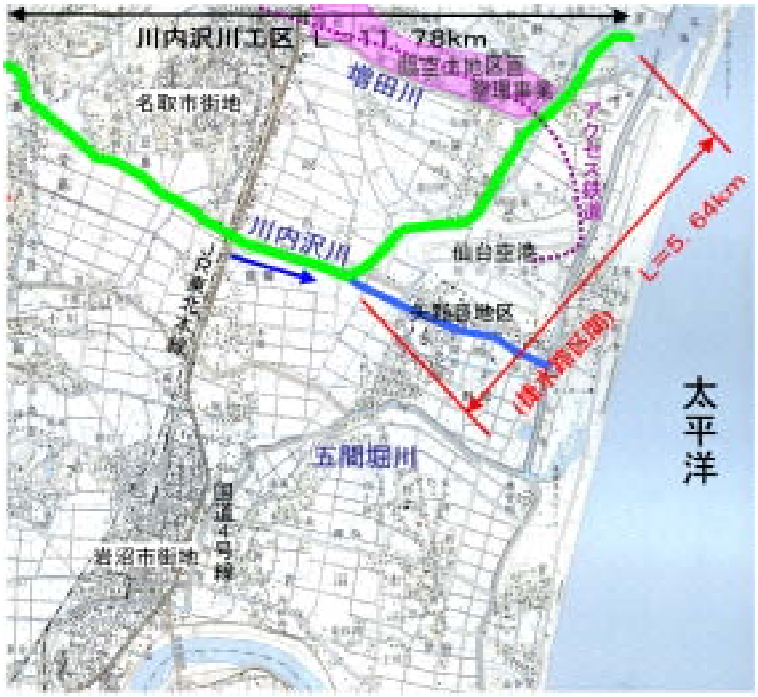


「事業の必要性」

川内沢川の現況治水安全度は1／5程度と低く、平成6年9月22日の豪雨時には甚大な被害を被りました。沿川には仙台空港や国道、JR等の重要公共施設が集中している重要な地域でもあるため、早急に治水安全度の向上を図る必要があります。

「事業の概要」

治水安全度の向上のため、築堤、掘削、捷水路を実施します。







平成１９年度の予定

○平成１９年度は、捷水路事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

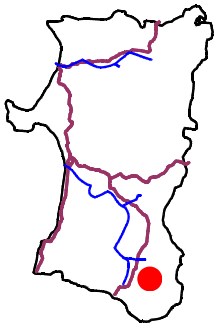
○事業が完了することにより、 仙台空港等の浸水被害が軽減されます。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	戸沢（とざわ）地区急傾斜地崩壊対策事業（補助：事業主体　秋田県） （秋田県湯沢（ゆざわ）市）
事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

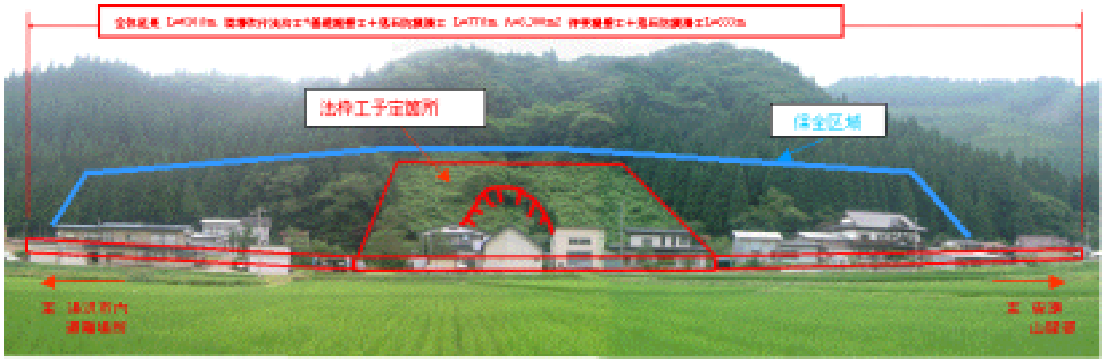
湯沢市戸沢地区に位置する当該箇所は、民家１３戸及び県道稲庭関口線を保全対象に含む急傾斜地です。

平成１６年７月に発生した集中豪雨により、人家裏の斜面が崩落し、今後も引き続き斜面崩落の恐れがあることから、早急な対策が必要になっています。また、保全区域内の県道は、避難路として指定されており、通勤通学時の主要な交通ルートであることから、安全性の確保が求められています。そのため、周辺斜面も含めた対策工事を実施し、土砂災害による被害を未然に防止する必要があります。

「事業の概要」

○全体延長　L=410.0m　　現場吹付法枠工＋基礎擁壁工＋落石防護柵工　L=77.0m　A=3,500m2
待受擁壁工＋落石防護柵工　L=333.0m

対策斜面全景

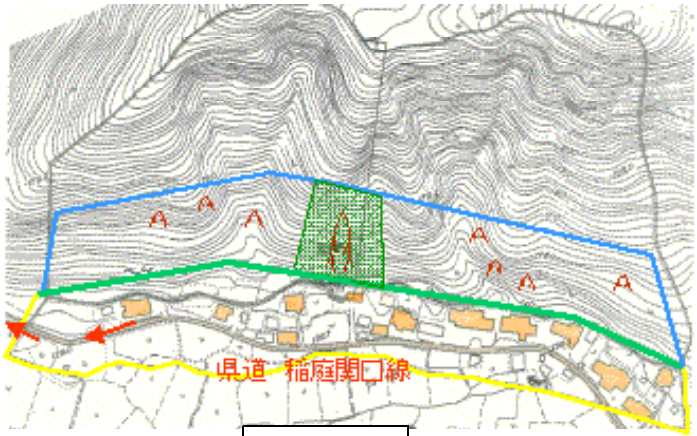




←区域内の斜面崩壊の状況



←不安定土砂の堆積状況（平成１６年７月災害）



平　面　図

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、擁壁工を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

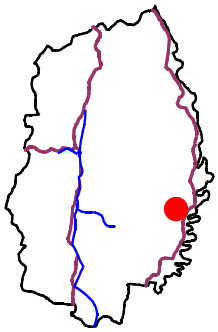
○民家１３戸、県道を土砂災害から守ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	箱崎東の沢通常砂防事業（補助：事業主体　岩手県） （岩手県釜石市）
事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

箱崎東の沢は、岩手県釜石市に位置し、保全対象として民家72戸、郵便局、児童館、箱崎東部漁協、市道、避難路等を抱えており、平成17年3月に土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定された土石流危険渓流です。

釜石市では、平成14年の台風6号により死者を出すなど甚大な被害を被っていることから、地域の土砂災害に対する意識が高く、特に保全人家の多い渓流において早急に砂防施設を整備することにより、土砂災害に対する安全の確保を図る必要があります。

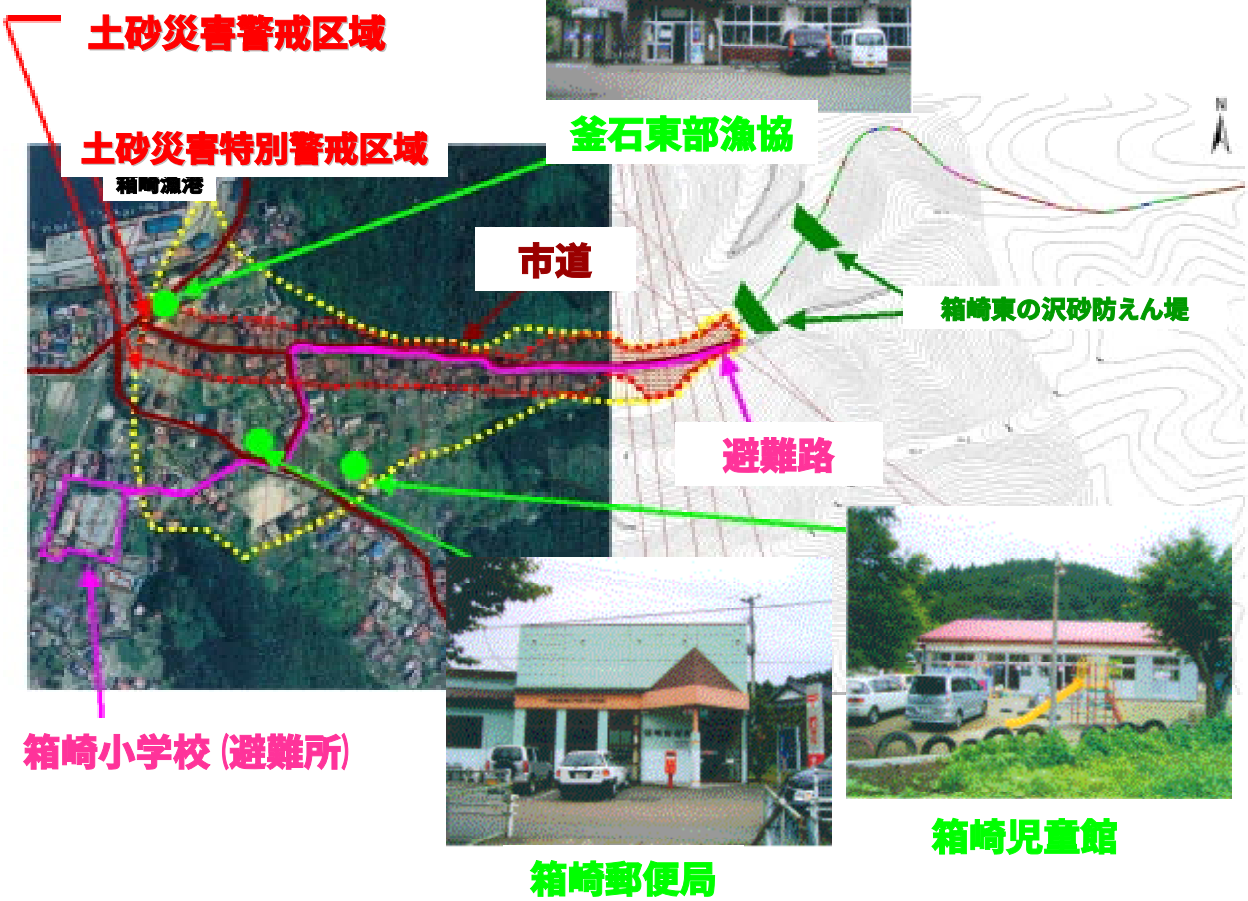
「事業の概要」

○全体事業内容

えん堤工2基



釜石東部漁協



箱崎児童館

箱崎郵便局

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、本体工を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○民家72戸、郵便局、児童館、箱崎東部漁協、市道、避難路を土砂災害より防御します。

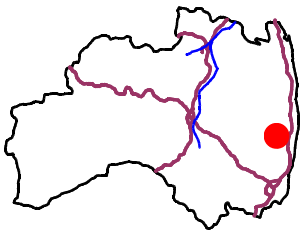
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	木戸ダム建設事業（補助：事業主体　福島県） （福島県双葉郡楢葉町）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

木戸ダムは、木戸川水系木戸川に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水、工業用水の供給を目的とした多目的ダムです。

木戸川流域では、台風や豪雨による出水によって度々洪水被害を受けている一方で、夏期においてしばしば深刻な水不足に見舞われています。

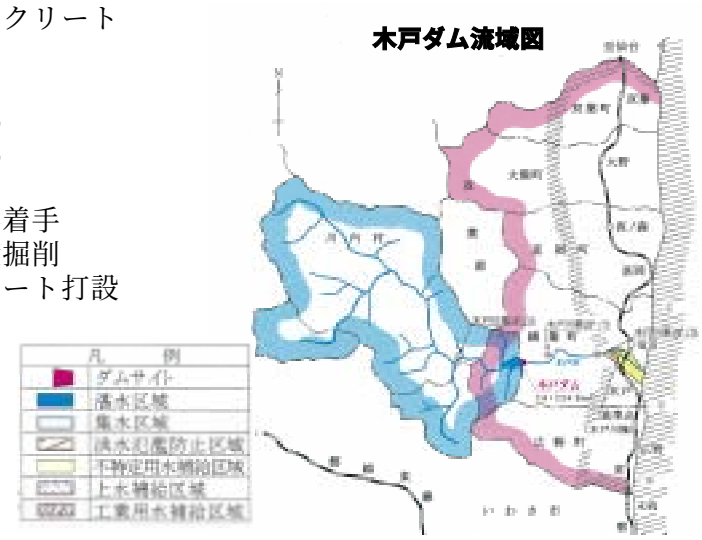
木戸ダムによって洪水被害や、渇水等の心配のない安全で安心できる地域づくりが可能となります。

「事業の概要」

全体計画　ダム形式　：　重力式コンクリート
ダム高　：　93.5 m
堤頂長　：　350.0 m
堤体積　：　50.4 万m3
総貯水容量：1,847.0 万m3

進捗状況　平成12年度　本体工事着手
平成12～14年度　本体基礎掘削
平成14年度～　コンクリート打設

木戸ダム流域図



平成元年8月洪水(楢葉町上小塙中川原地区)



木戸ダム(左岸側より、平成18年7月)



平成19年度の予定

○平成19年度は、試験湛水を完了させるとともに、法面保護工等を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○洪水の際、ダムに流入する1,850m³/秒のうち800m³/秒をダムに貯めて木戸川沿川地域の水害を防ぎます。
○1日あたり最大21,500m³の水を上水道へ供給します。
○1日あたり最大32,300m³の水を工業用水として供給します。

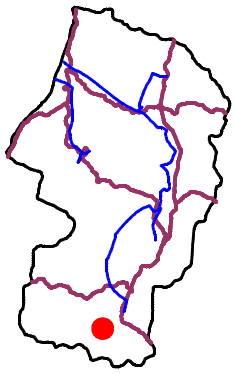
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	綱木川（つなきがわ）ダム建設事業（補助：事業主体　山形県） （山形県米沢（よねざわ）市）

事業着手：昭和６３年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

綱木川ダムは、最上川水系綱木川に建設中の、洪水調節、渇水時における正常な機能の維持、水道用水の供給を目的とした多目的ダムです。

綱木川流域では、昭和４２年８月の羽越豪雨、昭和５６年の台風１５号をはじめとした出水によって洪水被害を受けている一方で、米沢市において水道水源の多くを地下水に依存しているため、地盤沈下が深刻な問題となっており、新たな水源の確保が必要とされています。

綱木川ダムの建設によって洪水被害を防ぎ、用水の確保を行うことで安全で安心できる地域作りを行います。

「事業の概要」

全体計画　ダム形式　：　中央コア型ロックフィルダム
ダ ム 高　：　７４．０ｍ
堤 頂 長　：　３６７．５ｍ
堤 体 積　：　２１５．４万ｍ３
総貯水容量　：　９，５５０千ｍ３

進捗状況　平成6年度　本体工事着手
平成10～16年度　堤体盛立工事
平成16～18年度　取水放流設備・管理設備工事



綱木川ダム（下流側より、平成17年5月）

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、試験湛水を完了させるとともに、周辺整備等を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○　洪水の際、ダムに流入する350m³/秒の洪水のうち235m³/秒をダムに貯めて鬼面川流域の水害を防ぎます。
○　１日あたり最大36,500m3の水を上水道へ供給します。

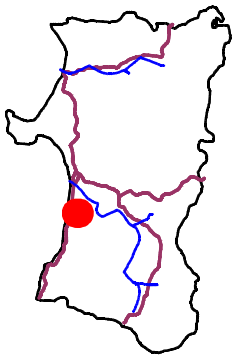
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道7号　本荘地区橋梁架替（直轄） （秋田県由利本荘市）

事業着手：平成１０年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度新衣川橋完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道7号に架かる小屋川橋・親川橋・芦川橋・新衣川橋・勝手橋の５橋は、日本海沿岸部の主要都市を結ぶ幹線道路に架かり、日本海沿岸に接しています。このため、常に潮風の影響を受け、特に冬季の海からの強い季節風などにより、塩分が飛来して橋梁が塩害によって損傷を受けています。塩害による鉄筋等の腐食により、落橋の危険性が高まることから幹線道路としての安全性、信頼性の確保のために早急な架替が必要となっています。

「事業の概要」

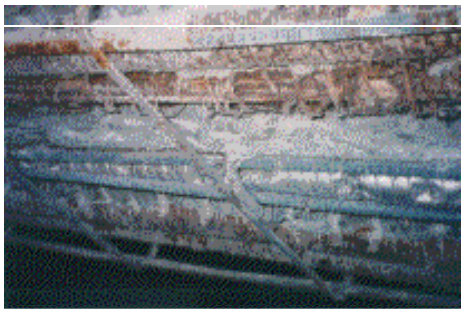
本荘地区橋梁架替事業は塩害によって損傷を受けた橋梁の架替を目的として行っており、５橋の内、小屋川橋・親川橋は平成１３年に完成、芦川橋は平成１４年に完成し供用済みです。残る２橋のうち、平成１５年に工事着手した新衣川橋は、塩害防止対策を施し、平成１９年度の完成を目指し整備を行っています。



▲　位　置　図



▲新衣川橋の橋梁架替状況



▲塩害による鉄筋等の腐食状況



▲橋脚補強の実施状況



▲落橋時の交通への支障

平成１９年度の予定

○新衣川橋の舗装及び仮橋撤去を実施し、供用を図る予定です。

事　業　効　果

○秋田県沿岸部の主要幹線道路の安全性、信頼性の確保が図られます。

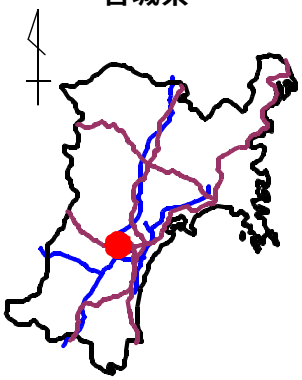
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	一般国道４８号　仲の瀬橋震災対策（直轄） （宮城県仙台市）

事業着手：平成１７年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

一般国道４８号仲の瀬橋は、一級河川広瀬川に架橋された橋長239mの長大橋であり、宮城県沿岸地域を南北に縦貫する区間にあり、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、近年、大規模地震の逼迫性が指摘されていること等を踏まえ、地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な対応が求められています。

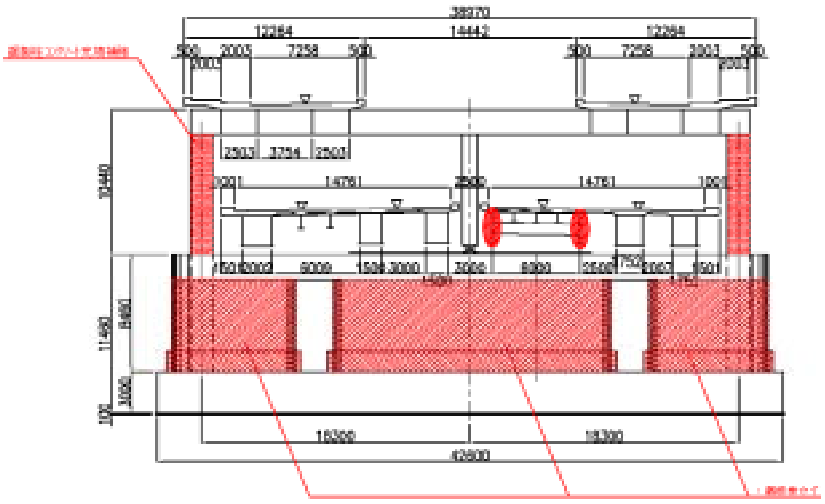
「事業の概要」

耐震補強3箇年プログラム(H17～19)に基づき、地震による落橋防止構造の設置及び巻き立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るものです。

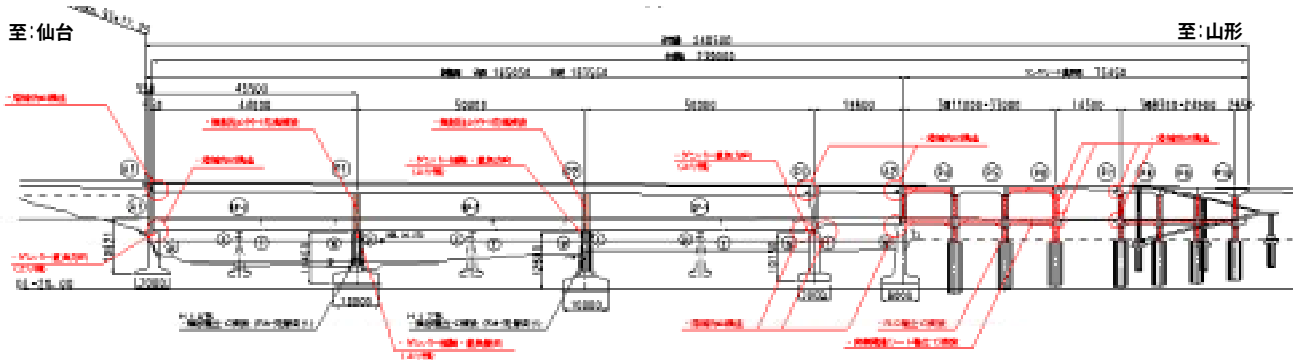
▼仲の瀬橋全景



▼補強の概要（断面図）



▼補強の概要（側面図）



平成１９年度の予定

○落橋防止装置及び橋脚補強の工事を実施し、仲の瀬橋の震災対策の完了を図る予定です。

事　業　効　果

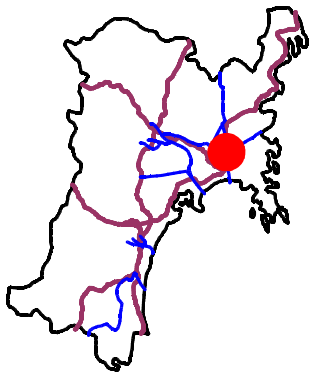
○橋梁の耐震性能の向上によって、緊急輸送道路ネットワークの確保を図ります。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道４５号　鳴瀬大橋震災対策（直轄） （宮城県東松島市）
事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

一般国道４５号鳴瀬大橋は、一級河川鳴瀬川に架橋された橋長４35mの長大橋であり、宮城県沿岸地域を南北に縦貫する区間にあり、緊急輸送道路に指定されています。

当該橋梁は、今後高い確率で発生するとされている宮城県沖地震の影響地域に属しており、地震で被災した場合、緊急輸送道路の分断が予想されるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたす恐れがあるため、早急な対応が求められています。

「事業の概要」

耐震補強３箇年プログラム(H17～19)に基づき、地震による落橋防止構造の設置及び巻き立てによる橋脚の補強を行い、橋梁の耐震性の向上を図るものです。

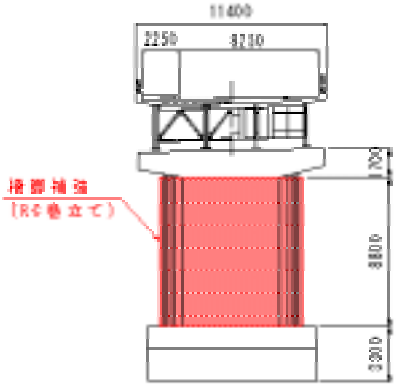
▼震災により被災した橋脚



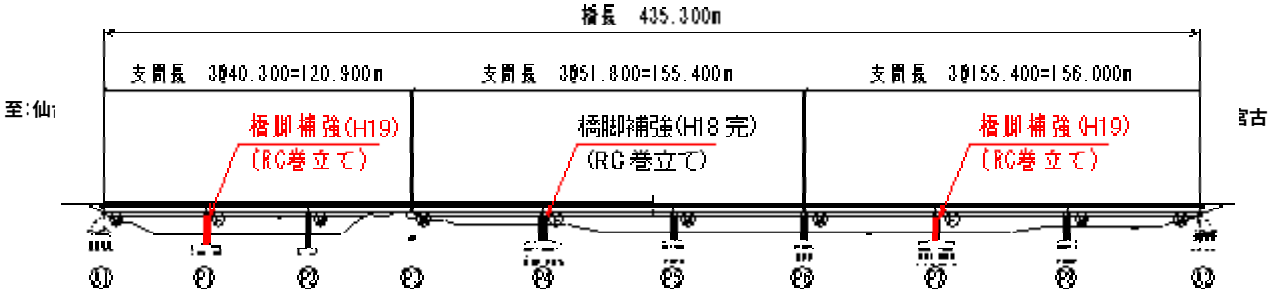
▼鳴瀬大橋全景



▼補強の概要（断面図）



▼補強の概要（側面図）





【橋梁震災対策のイメージ】

◀橋脚補強の実施例

落橋防止構造の実施例▶



平成１９年度の予定

○落橋防止装置及び橋脚補強の工事を実施し、鳴瀬大橋の震災対策の完了を図る予定です。

事　業　効　果

○橋梁の耐震性能の向上によって、緊急輸送道路ネットワークの確保を図ります。

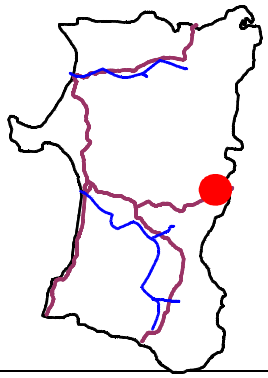
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	一般国道４６号　仙岩道路電気設備更新（直轄） （秋田県仙北市）

事業着手：平成１７年度

事業の必要性・事業の概要

秋田県



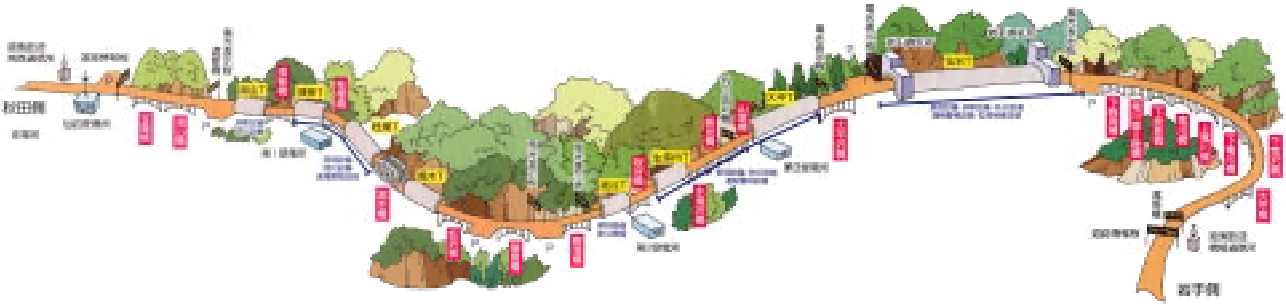
「事業の必要性」

一般国道４６号仙岩道路は、昭和５１年１０月に供用開始してから３０年が経過し、トンネル内のスプリンクラー非常警報装置などの防災設備、設備制御のための通信施設等の老朽化が著しく、更新が必要となってます。また、仙岩道路は秋田・岩手県境に位置し、厳しい難所をトンネル・橋梁の連続で、近隣には迂回路となる路線がない状況であり、防災機能の向上が求められています。

「事業の概要」

特に老朽化の著しい非常警報設備、電源制御ケーブル配管設備、機械室器機について更新を実施し、当該路線の安全性の向上を図るものです。

▼仙岩道路概要図



▼仙岩トンネル坑口全景



▼老朽化が著しい施設



平成１９年度の予定

○非常警報設備、電源制御ケーブル配管設備、機械室器機について更新を実施し、早期完成を目指します。

事　業　効　果

○老朽化の著しい非常警報設備、電源制御ケーブル配管設備、機械室器機について更新を実施し、トンネル内事故等の非常時における安全管理を確実なものとします。

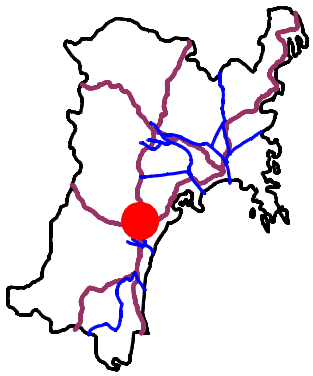
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道45号　仙台東部共同溝（直轄） （宮城県仙台市）

事業着手：平成14年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

一般国道４５号は、仙台市を起点とし、岩手県沿岸を経由して青森市に至る総延長約５５０ｋｍの主要幹線道路であり、仙台圏と青森県・岩手県沿岸部の物流を担う重要な路線です。

当該事業の仙台市東部地区は大規模な土地区画整理事業が計画され、経済活動の増加や人口増加等により、電力・通信・水道の需要が高まることが予想される地区です。

仙台市東部地区を東西に通過している一般国道４５号は、将来も交通量の増加が予想され、道路掘り返しに伴う道路交通への影響は計り知れません。

また、沿道利用の殆どは住居・商業系で占められており、防災性向上の観点からも整備を望まれているところです。

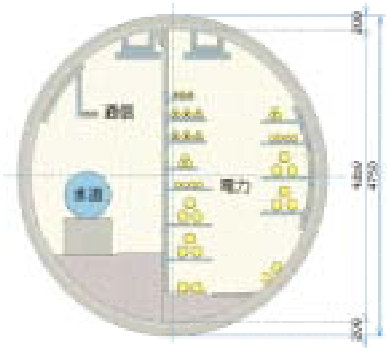
「事業の概要」

仙台東部共同溝は、災害時のライフラインの確保を図るとともに、道路の掘り返しに伴う道路交通への影響を解消することを目的とした延長１，４００ｍの共同溝事業です。

▼位置図



▼断面図



▼完成図



平成19年度の予定

○附帯設備工事を実施し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

○災害時のライフラインの確保
○路上工事の減少によるスムーズな交通の確保

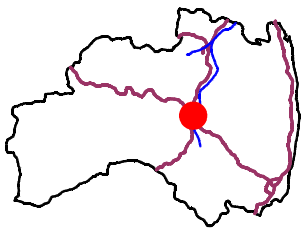
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	一般国道4号　図景地区電線共同溝（直轄） （福島県郡山市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

一般国道４号は、東京都を起点とし福島県郡山市内を経由して青森市に至る総延長約８６０ｋｍの主要幹線道路です。

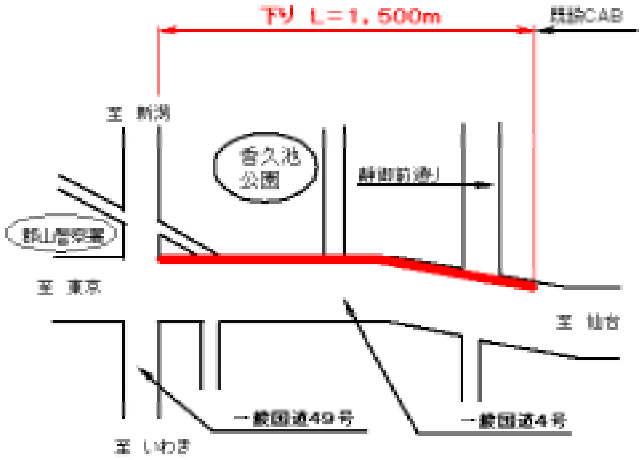
当該事業によって、電線・電柱類が地下に収められるため、都市景観が向上し、また、災害時におけるライフラインの確保ができます。

さらに、当該箇所近隣には郡山市の避難場所に指定されている「香久池公園」が存在し、大規模災害時に必要な飲料水の貯水槽が設置されているため、避難場所への安全な通路の確保も重要な地区となっています。

「事業の概要」

図景地区電線共同溝は、安全で快適な通行空間の確保や災害時のライフラインの確保をはかることを目的とした延長１，５００ｍの電線共同溝事業です。

▼位置図



▼現況写真



平成19年度の予定

○Ｈ１８年度に引き続き本体工事を実施し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

○都市景観の向上
○安全で快適な通行空間の確保
○情報通信ネットワークの信頼性確保
○災害時等の安定したライフラインの実現

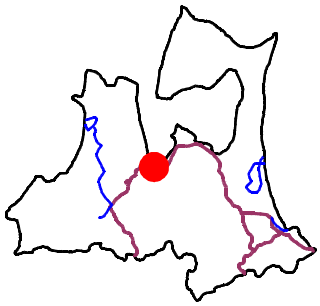
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	一般国道4号　造道地区電線共同溝（直轄） （青森県青森市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

一般国道4号は、東京都を起点として、北関東や東北地方の主要都市を経て、青森市に至る総延長約860kmの主要幹線道路です。

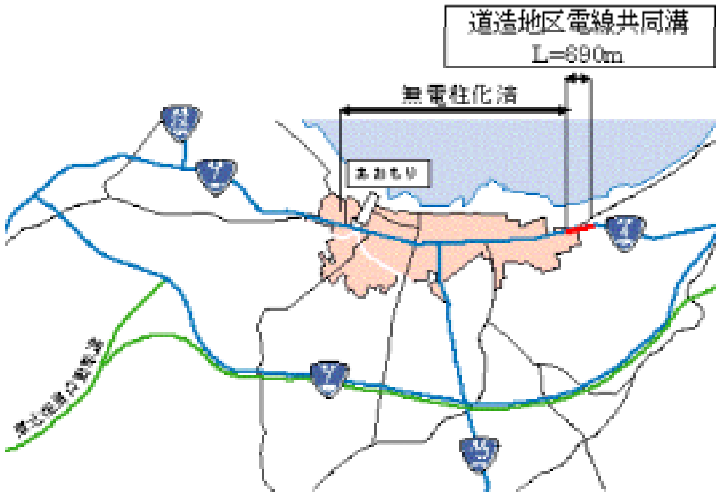
当該事業によって、電線・電柱類が地下に収められるため、都市景観が向上し、また、歩道が広く使えるため、安全で快適な通行空間が確保できます。

さらに、周辺の無電柱化整備済み区間と合わせて、災害時の救援・救急活動や緊急物資の運搬を最優先する緊急輸送路としての道路ネットワークの構成を支援するもので、無電柱化の必要性の高い地区になっています。

「事業の概要」

造道地区電線共同溝は、安全で快適な通行空間の確保や災害時のライフラインの確保を図ることを目的とした延長690mの電線共同溝整備事業です。

▼位置図



▼現況写真



平成19年度の予定

○平成18年度に引き続き本体工事（440m）を実施し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

○都市景観の向上
○安全で快適な通行空間の確保
○情報通信ネットワークの信頼性向上
○災害時等の安定したライフラインの実現

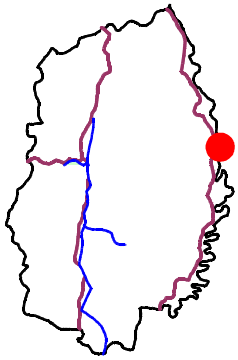
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道４５号　道の駅「たろう」防災拠点化整備事業（直轄） （岩手県宮古（みやこ）市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

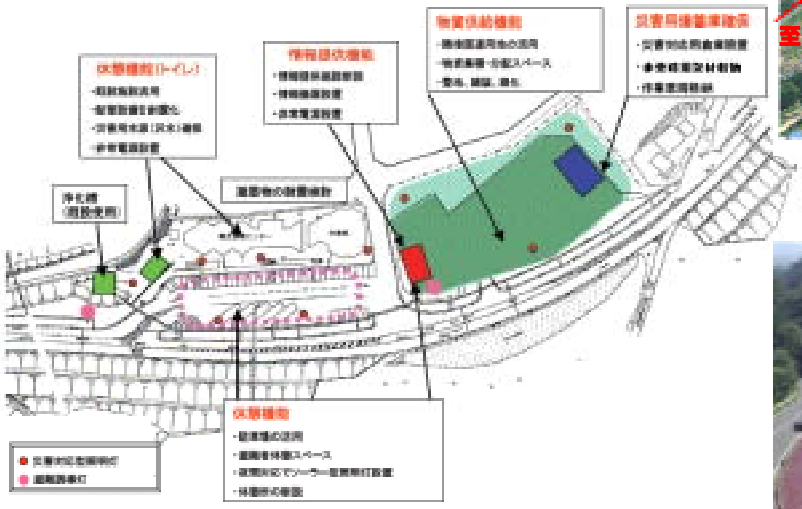
三陸沿岸地域は、今後高い確率で宮城県沖地震の発生が予想されており、これに伴う津波災害等への対応が喫緊の課題になっています。

一方、道の駅は、「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」を併せ持つ施設ですが、新潟県中越地震では「防災拠点」として重要な役割を果たしています。

これらの状況を踏まえ、被災時に避難場所等として活用するため、「道の駅」の防災拠点化が必要です。

「事業の概要」

平成18年度より、情報提供施設や休憩施設等の整備を実施しており、道の駅が持つ「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」を防災上の観点から充実させることで、地域における防災拠点としての機能強化を図ります。



▲整備イメージ図



▲津波被災想定状況



▲道の駅「たろう」全景

平成１９年度の予定

○災害用資材倉庫等の整備を実施し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

○ドライバーや地域住民の一時的な避難・休憩場所を確保します。
○道路状況・交通状況・被災状況等の情報発信拠点を確保します。
○食料や飲料水及び救援物資等の供給拠点を確保します。
○災害対応用の資機材の備蓄を確保します。

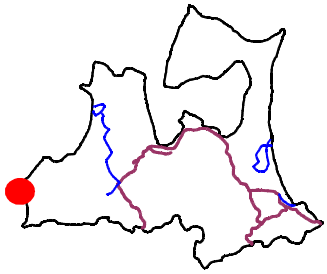
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道１０１号　千畳敷橋外架替事業（補助：事業主体　青森県） （青森県西津軽郡鰺ヶ沢町～深浦町）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

一般国道１０１号は緊急輸送道路に位置づけられた重要な路線ですが、日本海に面している区間の橋梁の大部分が塩害による影響を受けており、特に宇名原橋、千畳敷橋、入良川橋の３橋は損傷が急激に進んでおり、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

宇名原橋、千畳敷橋、入良川橋の３橋はいずれも補修が困難な状況にあることから、安全で円滑な交通を確保するため架け替え事業を行うものです。

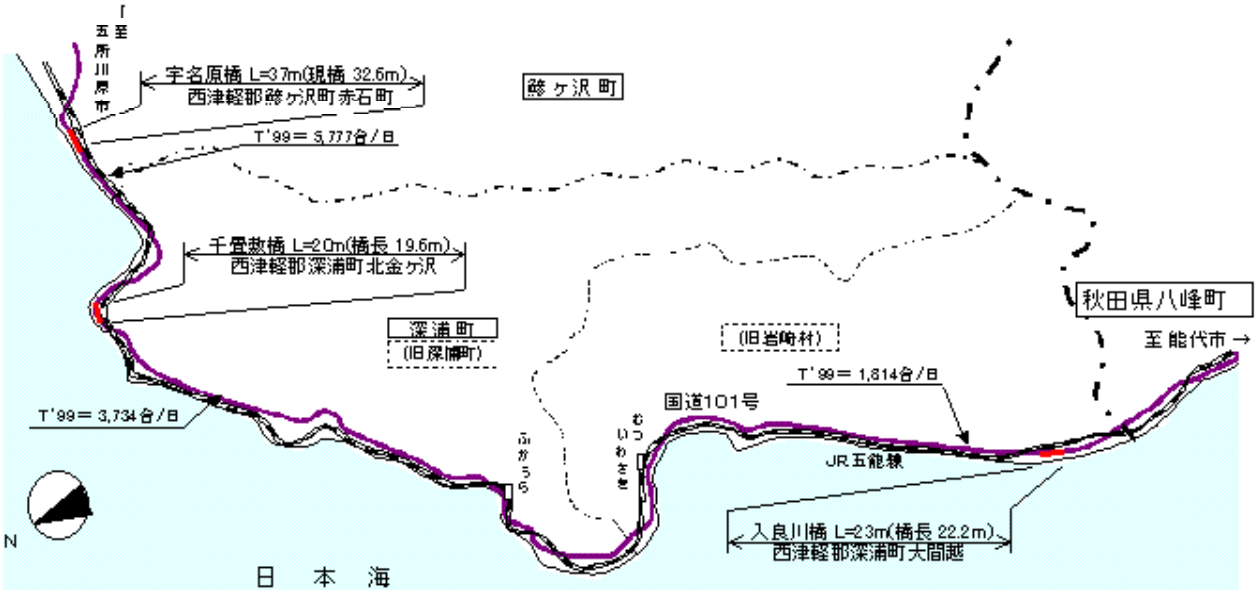
▼宇名原橋の損傷状況



▼千畳敷橋の損傷状況



▼事業箇所図



平成１９年度の予定

○千畳敷橋、入良川橋の橋梁上部工を実施し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

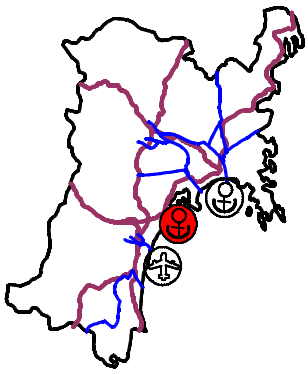
○緊急輸送道路における安全で円滑な交通が確保されます。

安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	仙台塩釜港（せんだいしおがま）仙台港区中野地区岸壁改良事業（耐震強化）（直轄） （宮城県仙台市）
事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

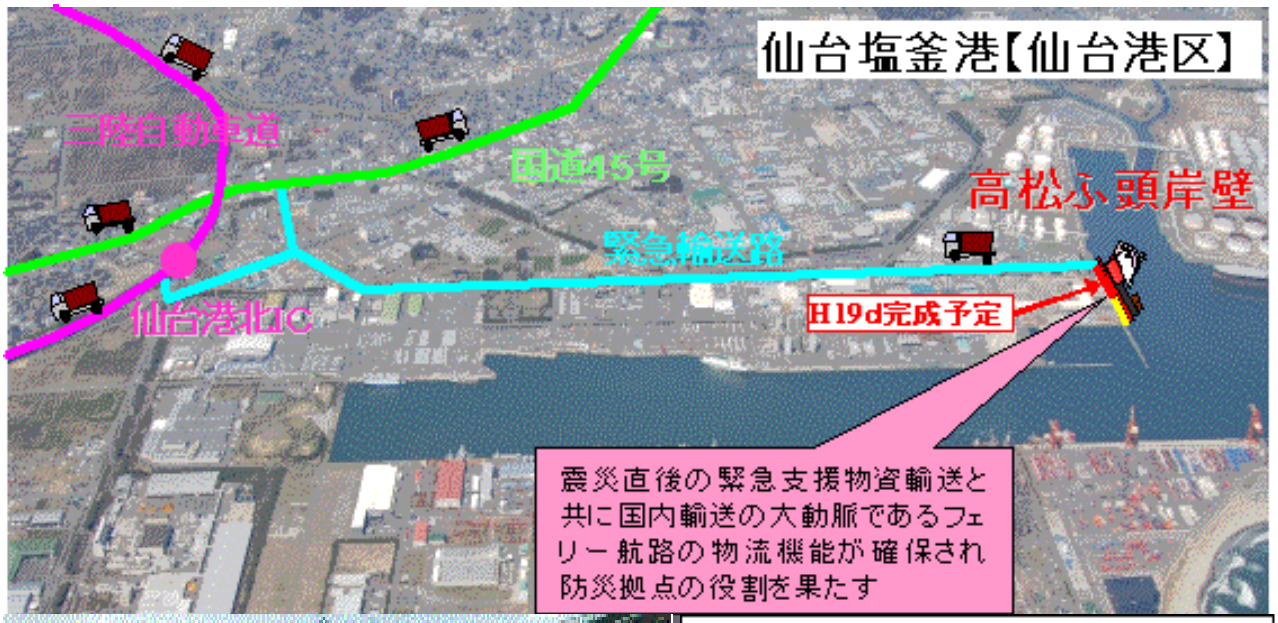


「事業の必要性」

仙台塩釜港に甚大な被害を及ぼすことが予想される宮城県沖地震は、今後10年以内に約50%、30年以内で99%という高い確率で発生すると予想されており、大規模震災時に背後の防災ネットワークと一体となった被災地の復旧・支援を行う防災拠点機能が求められているため、これらへの対策が必要となっています。

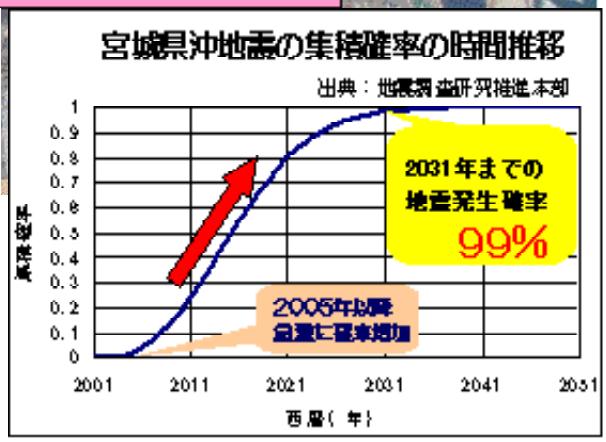
「事業の概要」

本事業は、震災直後の緊急支援物資輸送および復旧期間における物流機能を確保するため、既存の高松ふ頭岸壁（延長240m、水深12m）を耐震強化するものです。





▲地震による岸壁の液状化現象
（秋田港　昭和58年　日本海中部地震）



※前回の地震発生から評価時点までに地震が発生しているはずの確率。

平成19年度の予定

○平成19年度は、地盤改良を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○岸壁の耐震強化により、震災直後には仙台港区から港湾背後の被災地へ緊急支援物資（医療品、食料、住宅建材等）の運搬が可能となります。

事業名	ＧＰＳ波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網の整備　（直轄）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

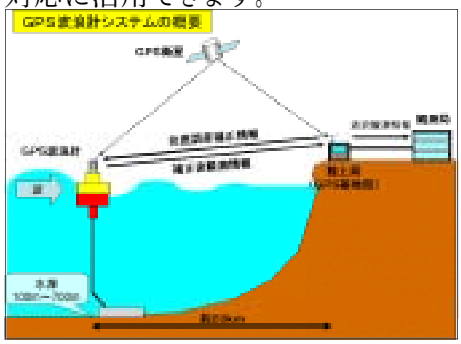
港湾整備に必要な波浪条件の精度を高め、設計、施工の更なる効率化を推進するためには、沖合での、より正確な波浪観測が必要となっています。

一方、東北地方は過去に幾度となく津波の被害に見舞われ、尊い人命・財産が失われており、津波情報の早期把握や情報伝達などが地域の課題となっています。人口や産業が集積する臨海部においては、非常時の物流機能と背後地域の安全と安心を確保する必要があります。特に、切迫する宮城県沖地震や、過去に大災害をもたらしている三陸沖を震源とする地震による津波に対しては、湾口防波堤や防潮堤等の整備のみならず、津波観測情報の高度化が求められています。

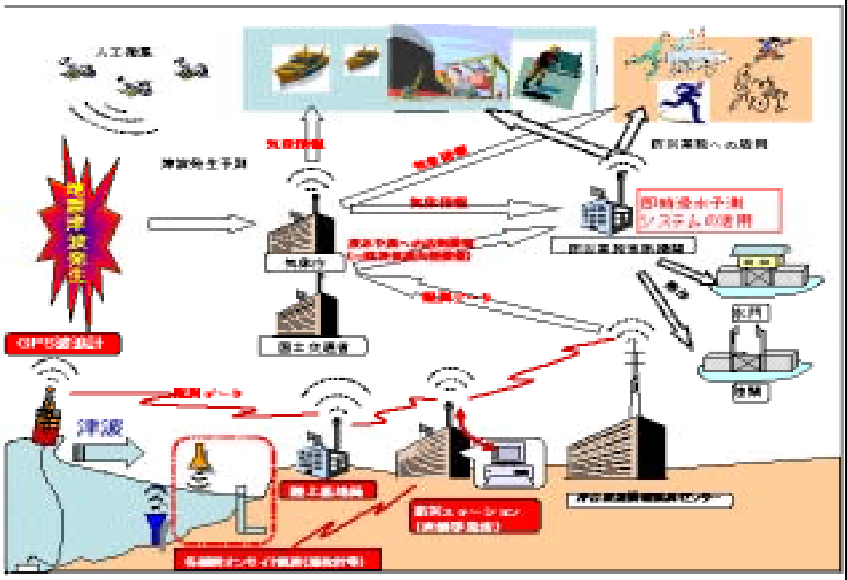
「事業の概要」

ＧＰＳ波浪計を用いた沖合波浪情報の収集・分析・提供を実施し、港湾整備に必要な海象情報を取得します。

ＧＰＳ波浪計を沖合に整備することで、地震発生時には、津波情報を港湾への津波到達の数分から１０分程度前に観測して、関係機関等と連携することにより、港湾を含む沿岸域での津波防災における迅速な対応に活用できます。



▲波浪（津波）観測のイメージ



▲ＧＰＳ波浪計を活用した津波警戒システムのイメージ





▲宮城県津波被害状況(昭和３５年　チリ地震津波)

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、観測網の整備促進を図ると共に、平成２０年度からの運用を目指し関係機関への情報伝達方法等について検討を進めます。

事　業　効　果

○波浪観測データの精度を高めることにより、効率的な設計、施工が可能となります。
○ＧＰＳ波浪計を用いた沖合波浪（津波）観測網の整備により、地域の津波防災力向上を図ることが可能となります。

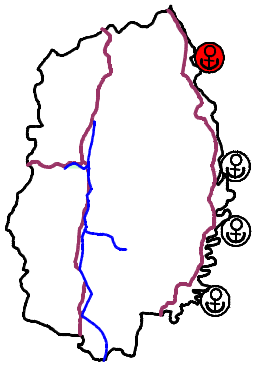
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	久慈港湾口地区防波堤整備事業（直轄海岸事業との合併事業）（直轄） （岩手県久慈市）

事業着手：平成２年度	完成・供用の目標年度：平成４０年度頃完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

久慈沿岸は地理的・地形的に津波被害を受けやすい状況にあり、過去に幾度となく多くの人命、財産が失われていることから、背後地域を津波から防護する湾口防波堤の整備が求められています。

「事業の概要」

本事業は、津波災害からの生命・財産等の防護および静穏度向上によって避難船が停泊する水域と安全な荷役作業の確保を図るため、延長３，８００ｍ（北堤２，７００ｍ、南堤１，１００ｍ）の湾口防波堤を整備するものです。

過去の大津波による被害状況（久慈以外の地域を含む）

発生年	明治２９年	昭和８年	昭和３５年
災害名	明治三陸 地震津波	昭和三陸 地震津波	チリ地震 津波
人的被害（人）	21,101	3,536	263
家屋被害（戸）	5,527	10,370	7,750
船舶被害（隻）	6,631	8,123	641





▲湾口防波堤未整備時の津波浸水区域（明治三陸地震津波）

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、防波堤本体製作および据付を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

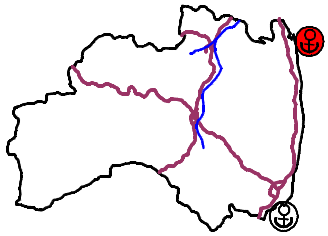
○防波堤整備による津波に対する被害の軽減
　津波による浸水被害面積　３７０ｈａ（未整備）　→　５８ｈａ（防波堤完成）〔対象：明治三陸地震津波〕
○港内の静穏度が向上し避泊水域の確保と物流の効率化が図られます。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	相馬(そうま)港3号ふ頭地区岸壁整備事業（耐震強化）（直轄） （福島県相馬(そうま)市）
事業着手：平成8年度	完成・供用の目標年度：平成23年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県

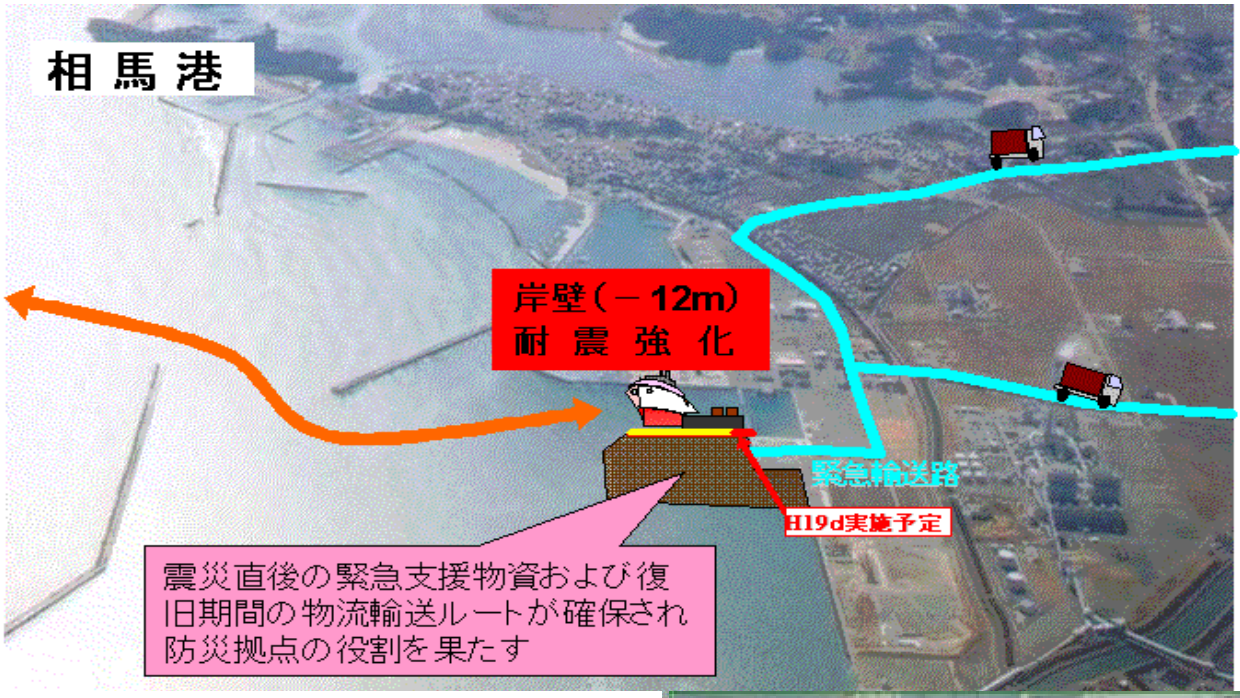


「事業の必要性」

相馬港に甚大な被害を及ぼすことが予想される宮城県沖地震は、今後10年以内に約50%、30年以内で99%という高い確率で発生すると予想されており、大規模震災時に背後の防災ネットワークと一体となった被災地の復旧・支援を行う防災拠点機能が求められているため、これらへの対策が必要となっています。

「事業の概要」

本事業は、震災直後の緊急支援物資輸送及び復旧期間における物流機能を確保するため、3号ふ頭地区に耐震強化岸壁（延長240m、水深12m）を整備するものです。







▲地震によって陥没した野積場
(相馬港　昭和53年　宮城県沖地震)

平成19年度の予定

○平成19年度は、岸壁本体据付を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○耐震強化岸壁の整備により、震災直後には相馬港から港湾背後の被災地へ緊急支援物資（医療品、食料、住宅建材等）の運搬が可能となります。

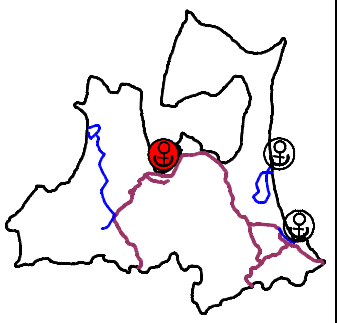
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	青森港沖館（おきだて）地区複合一貫輸送ターミナル改良事業（耐震強化）　（直轄） 青森港沖館（おきだて）地区橋梁改良事業（耐震強化）　（補助：実施主体　青森県） （青森県青森市）

事業着手：(直轄)平成１５年度
　　：(補助)平成１２年度

完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

青森県



事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

青森港と北海道を結ぶ航路は、本州と北海道のフェリー輸送の約３割にあたる年間約２，３００万トンの取扱貨物量があり、本州－北海道間の複合一貫輸送※の大動脈の機能を果たしている航路です。

大規模震災時においても、本州－北海道の物流の混乱を回避するため、一定の物流機能を確保が必要となっています。

※複合一貫輸送：特定の貨物が船舶、鉄道、自動車、航空機など種類の異なる２つ以上の輸送手段により相次いで輸送される形態をいう。

「事業の概要」

本事業は、震災直後の緊急支援物資輸送および復旧期間における一定の幹線貨物（フェリー）輸送機能を確保するため、青森港沖館地区において、既存の岸壁（水深６m）を耐震強化（延長１８５m、水深７.５m）すると共に、国道７号に至る橋梁（橋長３７７m、アプローチ部２６７m）も耐震強化するものです。



平成１９年度の予定

○（直轄）平成１９年度は、岸壁上部、泊地浚渫を実施し、事業の完成を目指します。
○（補助）平成１９年度は、主桁補強、落橋防止を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○岸壁の耐震強化と、背後の臨港道路橋梁耐震強化を併せて整備することにより、大規模震災時において緊急支援物資（医療品、食料、住宅建材等）の運搬が可能となる他、フェリー等の物流機能を確保することが可能となります。

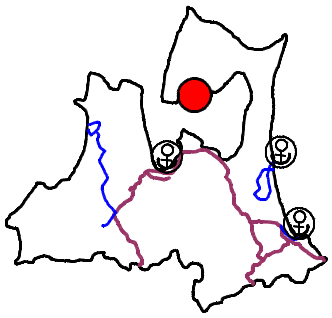
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	川内(かわうち)港海岸葛沢(くずさわ)地区侵食対策事業　(補助:実施主体　青森県) (青森県むつ市)

事業着手:昭和６１年度	完成・供用の目標年度:平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

当海岸は、昭和４０年代に侵食対策として整備されましたが、老朽化が著しいことや親水性の改善をを図るための対策が急務になっています。また、川内川河口部においては既存護岸の天端が低く、老朽化も著しく背後に密集している人家の安全を図るために護岸整備が必要です。

「事業の概要」

本事業は、国土保全、人命・財産等の被害を軽減するため、護岸(L=158m)、護岸(改良)(L=1,328m)、離岸堤(L=762m)を整備するものです。




護岸整備前の越波状況


護岸整備前の越波状況

平成１９年度の予定

○平成19年度は、護岸の整備を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○波浪等による被害が解消されます。
　防護面積　‥‥　約7ha

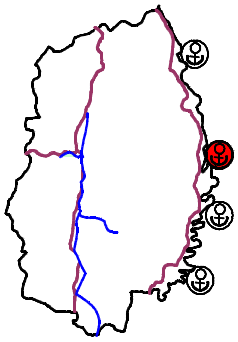
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	宮古港海岸高浜地区　高潮対策事業（補助：実施主体　岩手県） （岩手県宮古市）

事業着手：平成６年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

当海岸は、明治三陸津波をはじめ、昭和三陸津波、チリ地震津波と度重なる津波により、多くの死者、行方不明者、家屋倒壊、流出、浸水等の甚大な被害を受けており、地元住民は津波に対する不安を抱え、恒久的な津波対策の早期完成が強く望まれています。また、高い確率で発生が予測されている宮城県沖地震に対する被害軽減にむけた早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

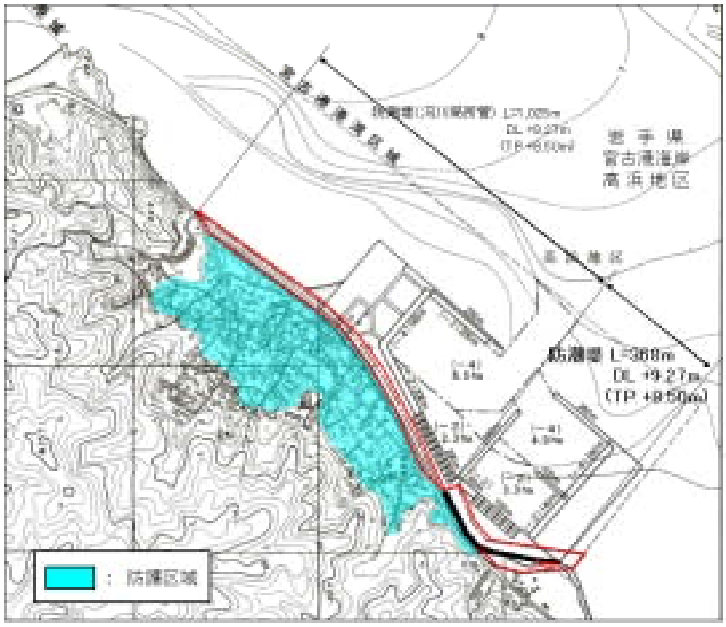
本事業は津波発生時に、人命の最優先防護、財産の流出を軽減するため、防潮堤(L=368m)、陸閘(1基)を整備するものです。

※陸閘：陸上に設置された防潮扉





宮古津波被害状況（Ｓ３５チリ地震津波）



平成１９年度の予定

○防潮堤および陸閘を整備し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○明治２９年の三陸沖地震津波と同規模の津波に対して浸水被害が解消されます。
　浸水面積　（着工前）２２ｈａ　→　（完成後）０ｈａ

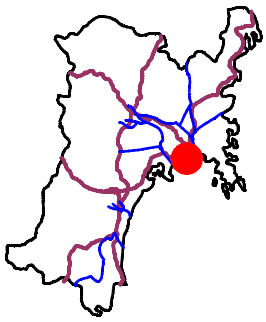
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	大曲海岸侵食対策事業（補助：事業主体　宮城県） （宮城県東松島市）

事業着手：平成2年度	完成・供用の目標年度：平成27年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

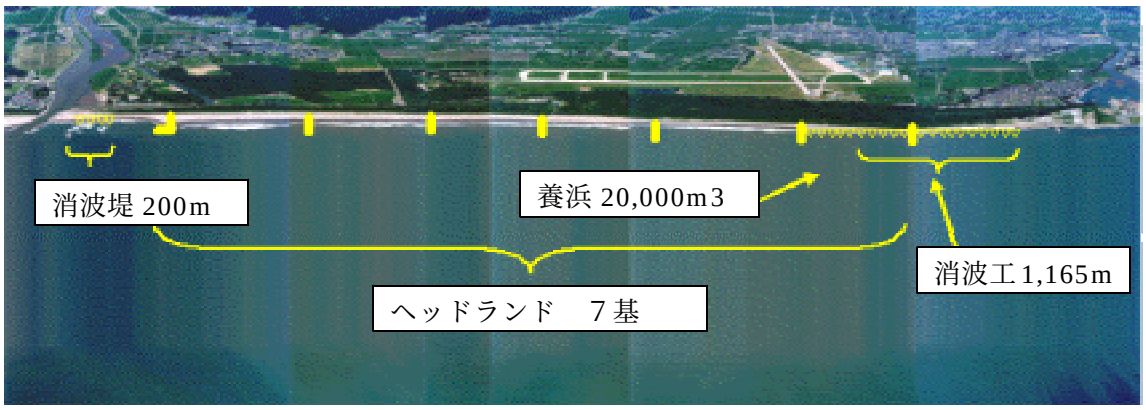


「事業の必要性」

大曲海岸は旧来より汀線の後退が著しい状況にあり、また冬季風浪や台風等により堤防の決壊等の被災をたびたび受けています。背後には航空自衛隊松島基地、山音海浜緑地公園、市街地が形成されており、漂砂を抑えるとともに前浜の回復を図り、越波を防止し背後地の安全を図る必要があります。

「事業の概要」

越波被害を軽減するため、ヘッドランド・養浜・消波工・消波堤離岸堤の整備を実施します。







平成19年度の予定

○平成19年度は、消波工を実施し、事業の促進を図ります。

事　業　効　果

○土地の侵食や海岸背後の約640戸の人家（人口約1，700人）や海浜公園、臨空道路等の約200haに及ぶエリアを浸水被害を防護します。

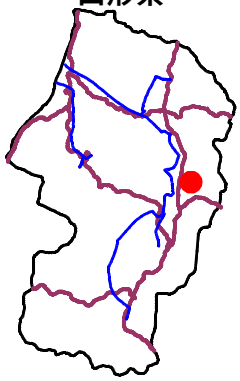
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	一本木（いっぽんぎ）土地区画整理事業　（補助：事業主体　東根市） （山形県東根市）

事業着手：平成5年度	完成・供用の目標年度：平成19年度　補助完了予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

本地区は、山形新幹線延伸に伴い新設されたさくらんぼ東根駅（H11.12開業）に隣接する地区であり、陸の玄関口として防災上安全で商業・業務の中枢として機能するための面的整備が必要となっています。

「事業の概要」

土地区画整理事業として約53.8haの地区内において、駅前広場および都市計画道路6路線等の公共施設整備を行います。



整備前の一本木地区



快適な住居環境、沿道環境整備が進む一本木地区



早急な安全歩行空間の確保が必要
（都市計画道路若木本郷線）



JR駅前
整備後



都計道
整備後

平成19年度の予定

○平成19年度は、都市計画道路若木本郷線、一本木駅前通り線の整備を実施し、地区内の都市計画道路の完成を目指します。

事　業　効　果

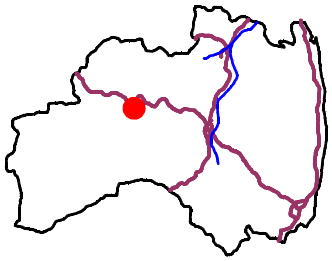
○平成11年12月に開業したJRさくらんぼ東根駅前に、新たな陸の玄関口として防災上安全な市街地を形成。
○公益文化拠点・高アメニティ中心商業拠点の形成。

安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	扇町（おうぎまち）土地区画整理事業　（補助：事業主体　会津若松市） （福島県会津若松市）
事業着手：昭和６３年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度 補助完了予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

本地区は、市北部における工業施設の立地を受け入れる地区として位置付けられていますが、住宅地等用途の混在化が現れているとともに不整形な農地等の低未利用地が介在しています。そのため、基盤整備により防災上安全で住宅需要に対応した宅地環境の供給と街区の再編が必要となっています。

「事業の概要」

土地区画整理事業として約107.3haの地区内において、都市計画道路の早期整備を進め、市の交通ネットワークを整備するとともに土地の高度利用と良好な市街地形成を促進します。



扇町地区全景（H16.4.30撮影）



整備前の藤室鍛治屋敷線(東)



整備後の藤室鍛治屋敷線(東)

平成１９年度の予定

○平成19年度は、都市計画道路亀賀山見線、亀賀鶴ヶ城線の整備を実施し、地区内の都市計画道路の完成を目指します。

事　業　効　果

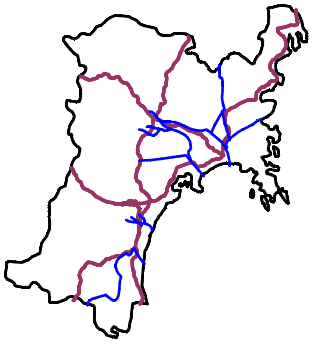
○都計道・区画道路の整備および街区の再編により緊急車両のアクセス等が確保され、また市の宅地需要にも対応した良好な市街地形成が図られます。
○都市計画道路等の整備により会津若松駅、中心市街地および鶴ヶ城を結ぶ南北の都心軸等、市の交通ネットワークが整備され、活力あるまちづくりが推進されます。

安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	住宅･建築物耐震改修等事業　（補助：事業主体　仙台市） （宮城県仙台市）
事業着手：平成１８年度	完成･供用の目標年度：平成１９年度完成予定（仙台市役所庁舎）

事業の必要性･事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

近い将来、高い確率で発生するといわれる宮城県沖地震等時の被害を軽減することにより、住民の安全確保と復旧費等の軽減を目指すため、各方面において緊急的に対策が進められています。特に密集住宅市街地における未耐震化の建築物や緊急輸送道路沿道の建築物は、万が一倒壊した場合に道路等を閉塞し、避難や救出活動等の支障となる危険性があります。

また、震災時の防災拠点施設や避難施設として位置づけられている建築物については、その目的を果たす性能を確保するため早急に耐震化を進める必要があります。

「事業の概要」

①住宅・建築物耐震改修等事業
旧耐震基準（昭和５６年建築基準法改正以前）で建築された住宅、マンション及び多数の者が利用する建築物等を対象に耐震診断・耐震改修に対する助成を行います。

②緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修等事業
地域防災計画において位置付けられた緊急輸送道路沿道の建築物のうち、旧耐震基準（昭和５６年建築基準法改正前）で建築されたものについて、耐震診断に基づき必要な耐震補強を行います。





【H15宮城県北部連続地震で被災した小学校と住宅】

木造住宅の耐震補強イメージ図
※耐震診断の結果補強が必要な住宅について、改修工事費を助成する。

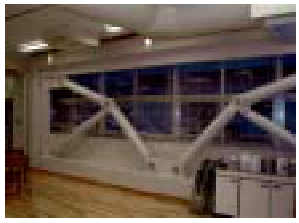




【耐震補強工事を実施する仙台市役所本庁舎】



地震によりビルが倒壊し、道路が完全に閉塞。（神戸市の例）



建築物の耐震補強の一例（イメージ）
【制震ブレース】設置

平成１９年度の予定

○仙台市役所本庁舎は、平成１８年度に着手し、平成１９年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○住宅・建築物の地震による被害を減少させ、安全で安心なまちづくりへ寄与
○緊急輸送道路沿道の住宅・建築物の耐震性向上による道路閉塞の回避及び安全性の確保

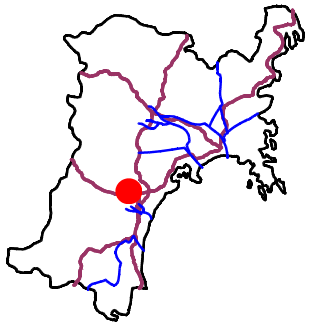
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	仙台市公共下水道（浸水被害緊急改善下水道事業等）（補助：事業主体　仙台市）（宮城県仙台市）

事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

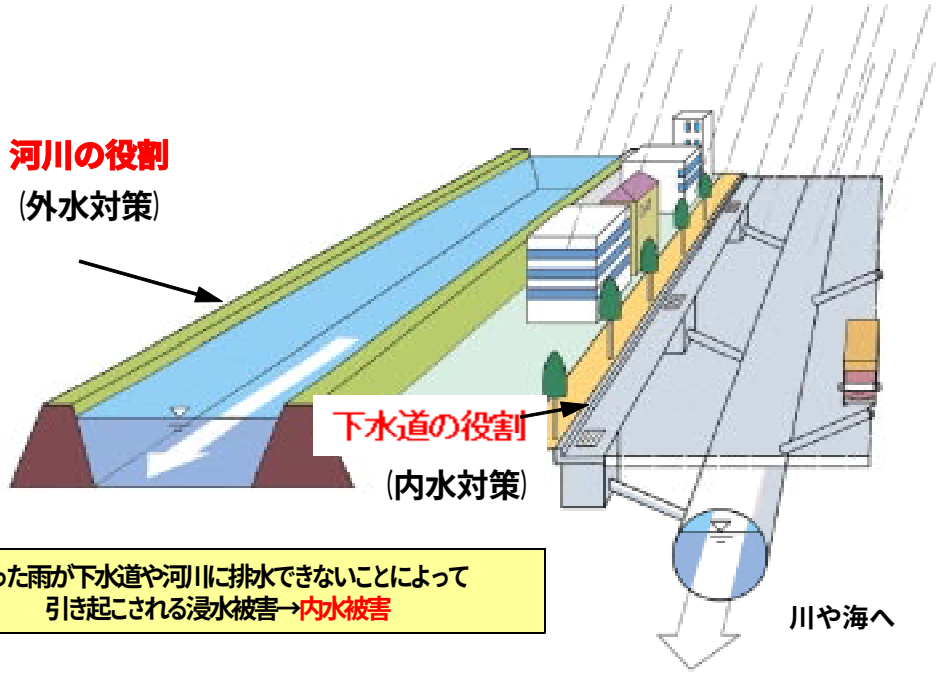


「事業の必要性」

仙台市では都市化の進展に併せ、大雨により浸水被害が生じており、下水道による雨水貯留・排水機能の強化が必要です。

「事業の概要」

大雨による市街地の浸水被害を防ぐため、雨水排水のための下水道管と排水ポンプ場施設、雨水を一時的に貯め排水量を調節するための貯留浸透施設を整備するなど総合的に事業を展開しています。





仙台市浸水状況
（平成１４年７月）



長町第一雨水幹線　内部
（仙台市下水道フェア2005より）

Ｈ 19 の 予 定

○長町第一雨水幹線への流入管渠等面整備、原町東部地区調整池・導水管、扇町雨水ポンプ場の整備の促進を図ります。

事　業　効　果

○雨水排水、貯留浸透施設の整備により、都市浸水被害を軽減します。

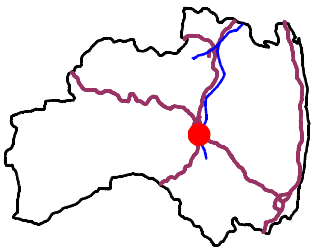
安全で安心できる地域づくり　**あらゆる災害に強い安全な地域づくり**

事業名	郡山市都市水環境整備事業（補助：事業主体　郡山市） （福島県郡山市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２５年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

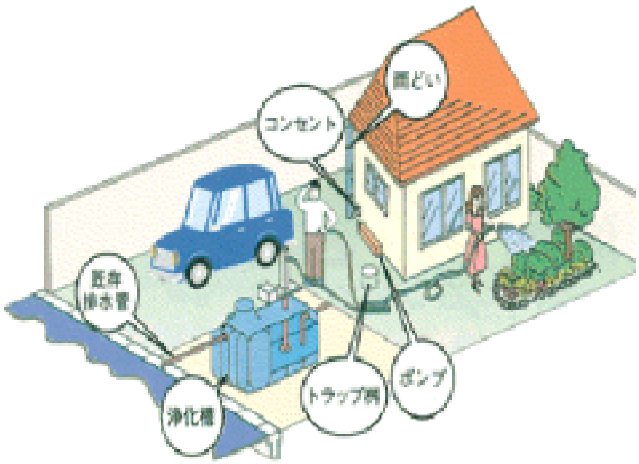
郡山市では都市化の進展と併せ、大雨により浸水被害が生じており、下水道による雨水貯留・排水機能の強化が必要です。

「事業の概要」

大雨による市街地の浸水被害を防ぐため、雨水排水のための下水道管と排水ポンプ場施設などの整備とあわせ、市民の協力を得て私有地内に雨水を一時的に貯め排水量を調節するための貯留浸透施設を整備します。



H10.8.27　豪雨時被害（郡山市内）



* 公共下水道接続工事に伴って、不要になった浄化槽を雨水貯留施設として転用します。

■利点として

1. 河川増水対策、降雨時の浸水対策
2. 水道料の軽減
3. 排水施設（水洗化）工事費の軽減）
4. 水資源の活用



水資源の活用

Ｈ 19 の 予 定

○平成19年度は、雨水貯留施設の設置を継続して実施します。

事　業　効　果

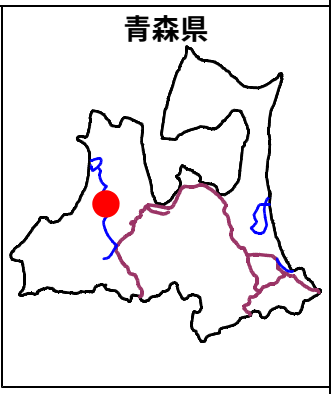
○　雨水貯留浸透施設の整備により雨水の流出を抑制し、都市浸水被害を軽減します。

安全で安心できる地域づくり　**雪に強く、安全で快適な地域づくり**

事業名	板柳(いたやなぎ)地区消流雪用水導入事業（直轄） （青森県北津軽郡板柳(きたつがるいたやなぎ)町）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

板柳地区は、最大積雪深が173cmを記録するなど、日本でも有数の豪雪地帯となっています。さらに大量の降雪の排雪先として小河川や歩道が利用されていました。しかし、小河川では冬期に水量が不足するため、河道閉塞による流水の阻害や道路交通への障害など、地域住民の生活に大きな支障をきたしていることから、積雪対策が重要な課題となっています。

「事業の概要」

小河川の流況改善（流量増）を目的として、水量の豊富な岩木川から消流雪用水を導入するための取水設備、導水路、管理設備等を整備するものです。


積雪により河道が閉塞した状況


積雪により通学が困難な状況


緊急車両の進入が困難な状況


導 入 前


導入後（イメージ）

平成19年度の予定

○平成19年度は、揚水機場及び管理施設の整備を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

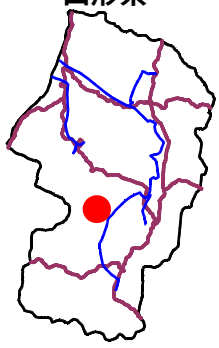
○除雪作業の軽減を図ると共に、雪害の防止や住民の生活環境の改善、安全な道路交通の確保が可能となります。

安全で安心できる地域づくり　雪に強く、安全で快適な地域づくり

事業名	今平雪崩対策事業（補助：事業主体　山形県） （山形県西村山郡朝日町）
事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



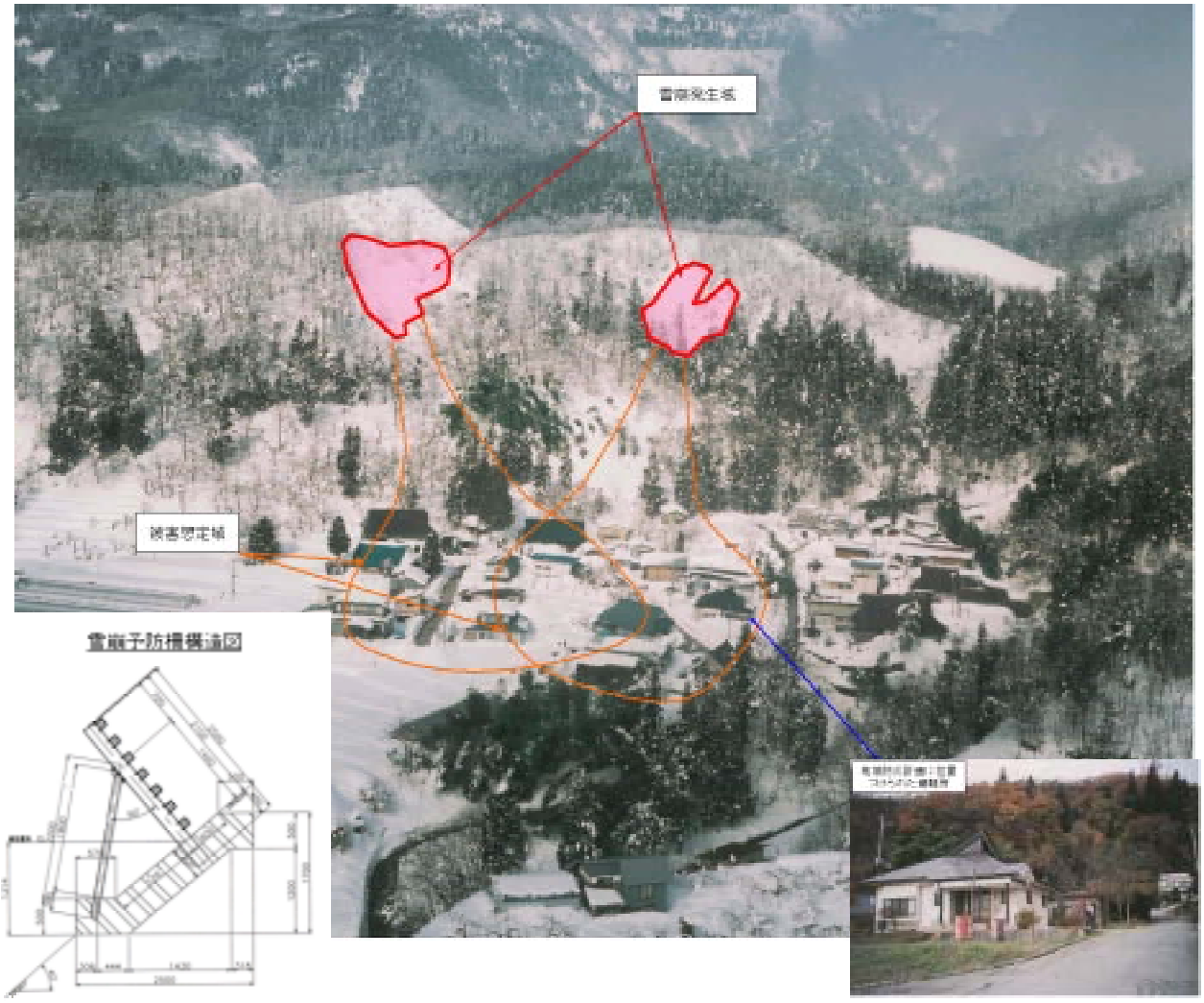
「事業の必要性」

今平地区は、西村山郡朝日町今平地区に位置しており、保全対象として民家14戸、町道、公民館及び地域防災計画に指定されている避難所を抱える雪崩危険箇所です。斜面の高さ約90m、勾配40度、既往最大積雪深2.7mを記録する豪雪地帯で、一部に植生が疎の部分があることから、雪崩による家屋等への被害が懸念されるため、雪崩防止施設の整備により雪崩災害に対する安全を確保し、民生の安全を図る必要があります。

「事業の概要」

○全体事業内容

雪崩予防柵工34基（λ型　H=2.1m）



平成19年度の予定

○平成19年度は、雪崩予防柵工を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　民家14戸、町道、公民館、地域防災計画に位置づけられている避難所を雪崩被害から保全します。

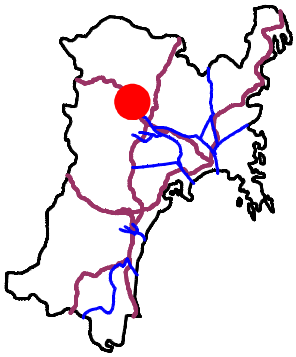
安全で安心できる地域づくり　雪に強く、安心で快適な地域づくり

事業名　一般国道47号　下野目（しものめ）地区防雪対策（直轄）
（宮城県大崎（おおさき）市）

事業着手：平成18年度　**完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定**

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

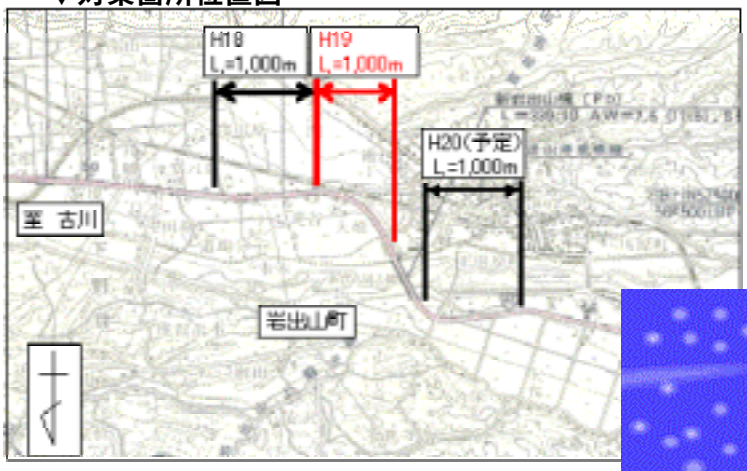
一般国道47号は、宮城県（みやぎ）仙台（せんだい）市を起点とし、山形県（やまがた）酒田（さかた）市に至る延長約180kmの主要幹線道路です。

当該箇所周辺の一般国道47号は、平坦な地形上に2m程度の盛土で構築されており、冬期間は盛土法面から吹き上がる地吹雪により視程障害が生じる箇所である。そのため、早急な対策が求められています。

「事業の概要」

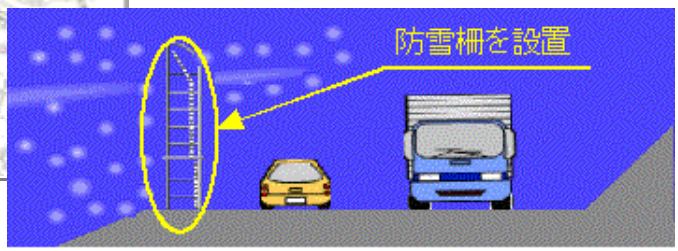
防雪対策としては防雪柵の設置を行い、冬期間の安全で円滑な交通の確保を図るものです。

▼対策箇所位置図



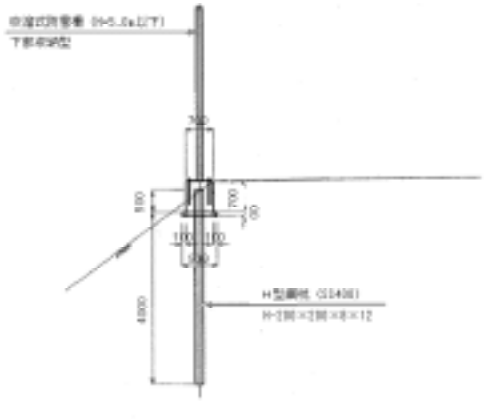


▲地吹雪の状況

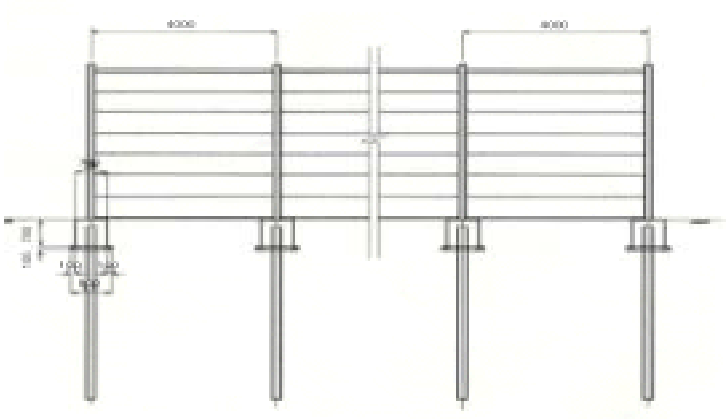


▲防雪柵が設置されている場所では
視界が良く、吹雪でも安全が確保される

▼防雪柵断面図



▼防雪柵側面図



平成19年度の予定

○防護柵設置工事（L=1，000m）を推進し、平成20年度の完成を目指します。

事　業　効　果

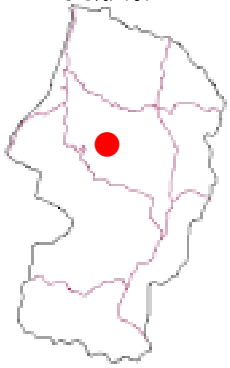
○防雪柵の設置を行い、冬期間の安全で円滑な交通の確保を図ります。

安全で安心できる地域づくり　雪に強く、安全で快適な地域づくり

事業名	一般国道４５８号　雪寒道路事業　日陰倉（ひかげくら）工区　（補助：事業主体　山形県） （山形県最上郡（もがみぐん）大蔵村（おおくらむら））
事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県

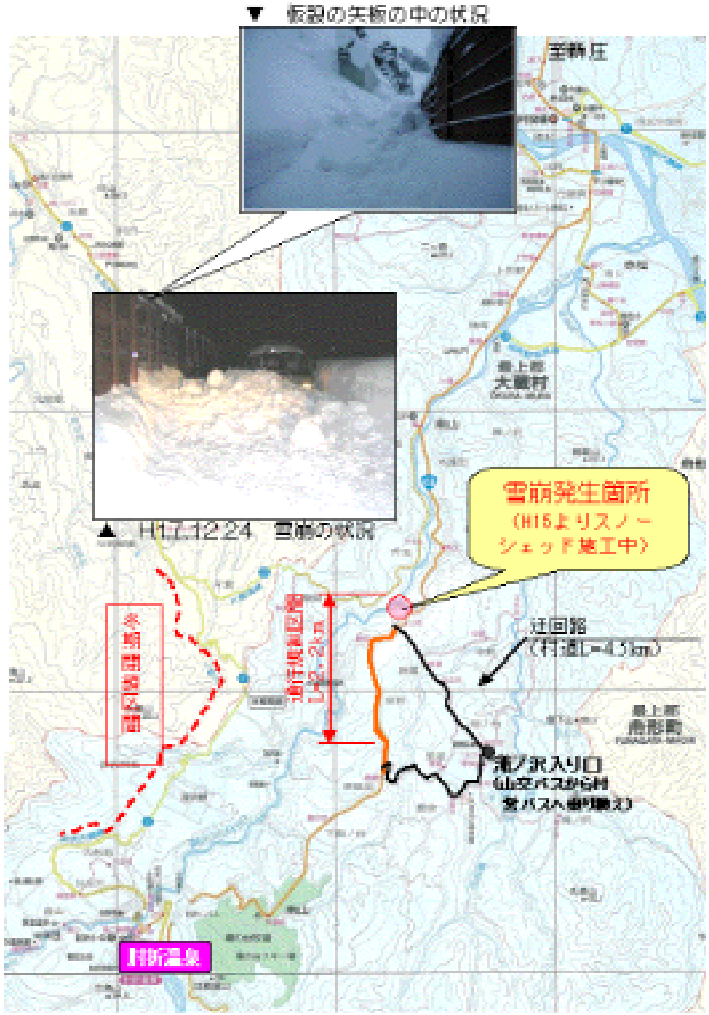


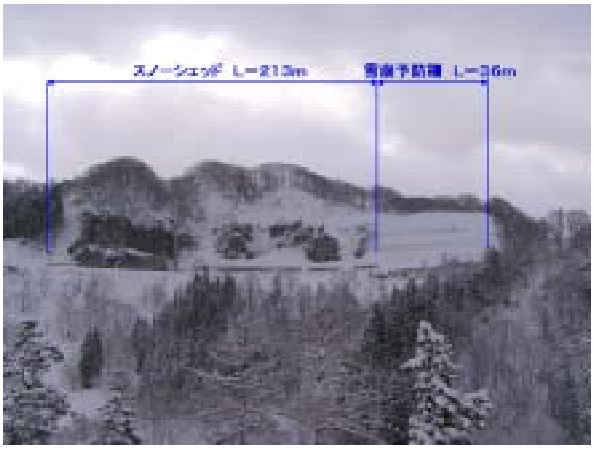
「事業の必要性」

一般国道４５８号における当該地区は、山間を縫う路線となっており、高さ約７０ｍの急峻な斜面と深い谷に挟まれ、特に、冬期間は、安全確保のため、仮設防護壁を設置し、片側通行規制を行っています。また、雪崩危険により、夜間は、全面通行止めとなっており、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

スノーシェッド工（２１３ｍ）、雪崩予防柵（３６ｍ）を施工することにより、大雪等における雪崩災害や、大雨、融雪による落石災害を防止し、肘折温泉への重要なアクセス道路として、安全な通行の確保を図ります。







平成１９年度の予定

○雪崩予防柵を完成させ、当該区間の供用を図る予定です。

事　業　効　果

○防災点検による要対策箇所の対策が完了し、大雪等による雪崩災害や、大雨、融雪による落石災害を防止します。

○肘折（ひじおり）温泉への重要な観光アクセス道路としての、信頼性が確保され、地域の観光支援的効果が期待されます。

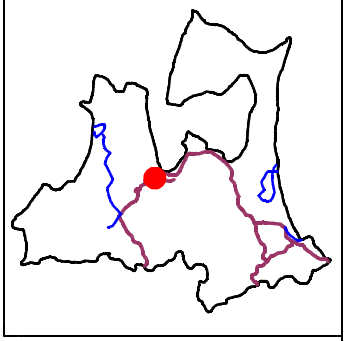
安全で安心できる地域づくり　**雪に強く、安全で快適な地域づくり**

事業名	青森市公共下水道　(補助:事業主体　青森市) (青森県青森市)

事業着手:　平成17年度	完成・供用の目標年度:平成23年度完成予定 (投雪口設置)

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

下水道事業は、生活環境、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等に資するための事業です。東北の冬は、豪雪地域では雪対策に苦労しています。そこで、下水道の各種施設または、処理水等を利活用し、雪に強く、安全で快適な地域づくりを行います。

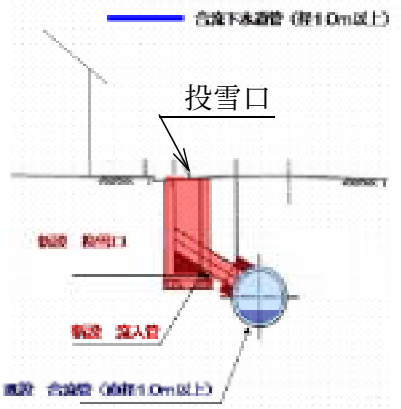
「事業の概要」

汚水管(合流管)に、投雪口を設置し、雪を投入することにより、管内の水温により融雪するものです。

市内の排雪を直接投雪口に投入することができ、住民の除雪の労力も少なく、冬期間の安全で快適な地域を目指すことができます。



投雪口





合流管内部



整備前

雪が両脇に積み上げられ歩行スペースがない



整備後

排雪が容易となり地域住民の協力により、歩行スペースを確保

H 19 の 予 定

○平成19年度も引き続き投雪口の設置を行い雪対策の促進を図ります。

事　業　効　果

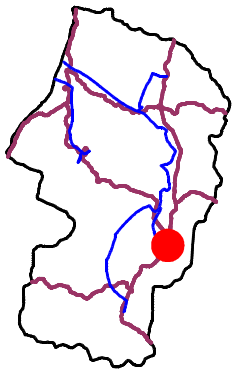
○下水道施設の有効活用により、冬期の生活環境の向上が図られます。

事業名　一般国道１３号　蔵王成沢交差点改良（直轄）
（山形県山形市）

事業着手：平成１６年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



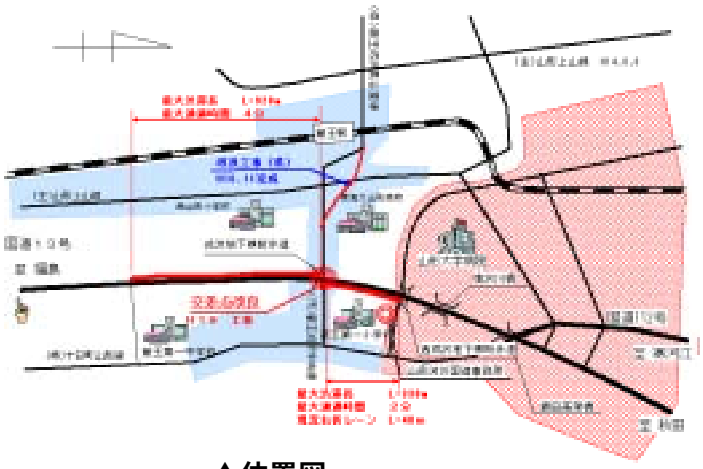
「事業の必要性」

本事業箇所は、山形県山形市の市街地南部に位置する一般国道１３号と（県）蔵王成沢長谷堂線と（市）蔵王成沢中央線の交差点で、死傷事故が山形県平均の約５倍の確率で発生しており、早急な対策が必要とされています。

また、本交差点は朝夕の渋滞が著しく、山形県の主要渋滞ポイント（最大渋滞長９２０m・最大通過時間４分）にも位置づけられています。

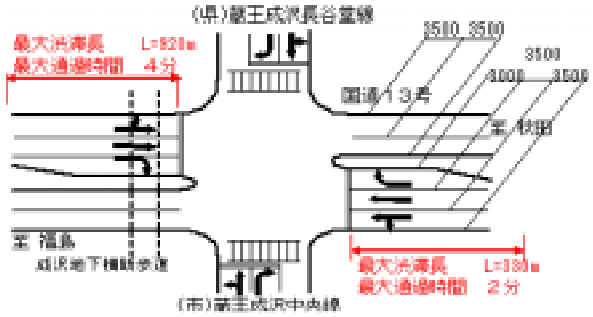
「事業の概要」

本事業は、当該交差点の交通事故を削減するため、発生する交通事故の約９割を占める追突事故や右折事故の対策として、右折レーンの延伸及び左折レーンの設置の交差点改良を行うものです。

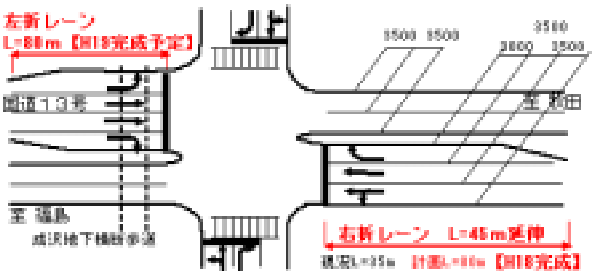


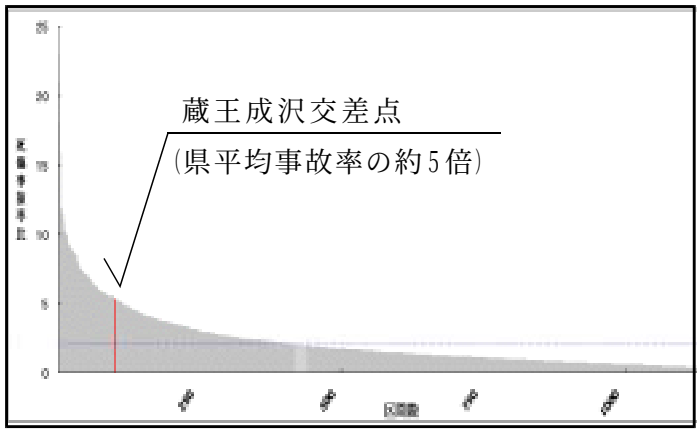
▲位置図

▼現況平面図



▼計画平面図





▲優先度明示方式による死傷事故率比

渋滞状況写真



平成１９年度の予定

○左折レーンの新設工事を推進し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

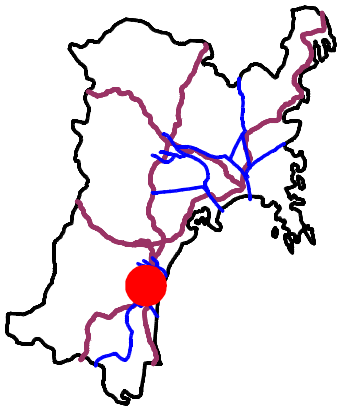
○安全で円滑な交通を確保し、死傷事故の削減及び渋滞の緩和を図ります。

安全で安心できる地域づくり　高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

事業名	一般国道4号　末広地下横断歩道　　整備事業（直轄） （宮城県岩沼市）
事業着手：平成15年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



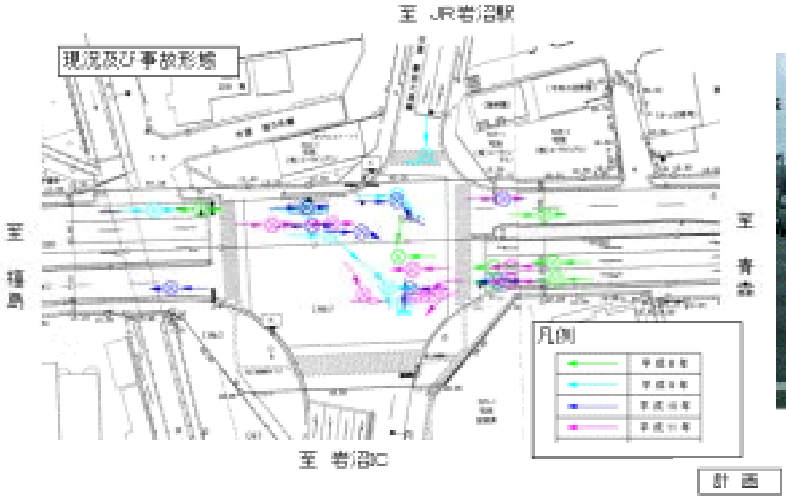
「事業の必要性」

当該箇所を含む岩沼市末広地区は、岩沼市の中心部に位置する住居系・商業系混在地区であり、地区内及び周辺道路では死傷事故が多発しているため、「あんしん歩行エリア」に指定されています。

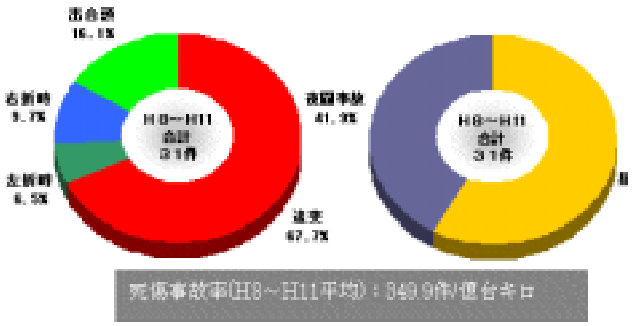
特に一般国道4号と(都)駅前大通線並びに(県)岩沼海浜緑地線の交差部である当該箇所は、JR岩沼駅及び岩沼市役所と、岩沼ビックアリーナ、岩沼市民会館及び総合病院を結ぶ交差点であるため横断歩行者が多く、右・左折車と横断歩行者との接触事故並びに追突事故が多発し、「事故危険箇所」にも指定されています。よって、当該箇所では横断歩行者の安全確保と交通の円滑化を図る必要があります。

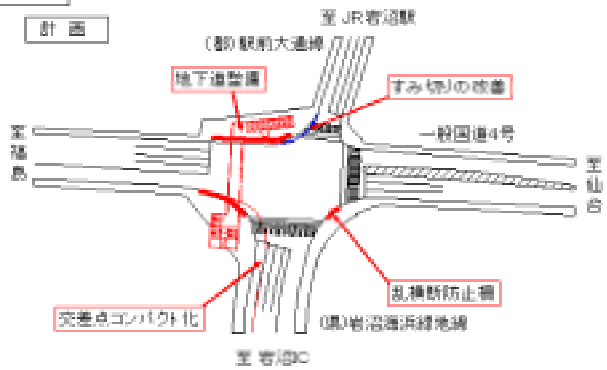
「事業の概要」

本事業は、地下横断歩道の設置並びに交差点のコンパクト化により、安全で快適な歩行空間を形成し、死傷事故の削減を図ります。









平成19年度の予定

○地下横断歩道上屋その他設備工事及び交差点改良工事を実施し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

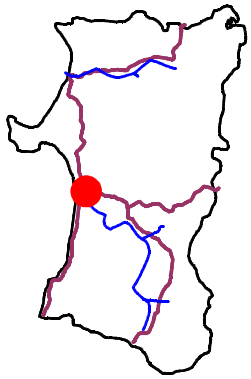
○歩行者・自転車の安全性向上により、死傷事故の削減を図ります。

事業名	一般国道7号　土崎(つちざき)自転車歩行者道整備事業（直轄） （秋田県秋田(あきた)市）

事業着手：平成17年度	完成・供用の目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

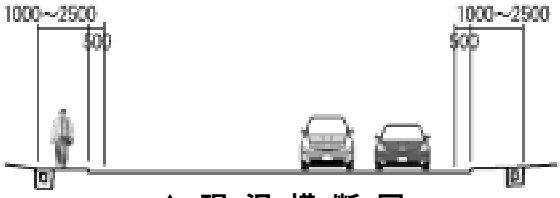
本事業箇所は、秋田市街地北部のDID地区(人口集中地区)にあり、近隣にJR奥羽本線土崎駅(利用者約5千人/日)、学校、市役所支所、郵便局、図書館等公共施設が多数存在し、秋田市交通バリアフリー基本構想における重点整備地区(土崎地区)の特定経路に指定されている区間です。しかし、自転車や車いすのすれ違いが困難な狭幅員区間や段差・傾斜等が多数存在し、バリアフリー化が必要な区間です。

「事業の概要」

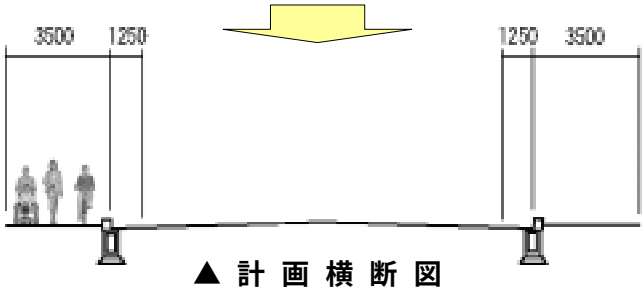
本事業は、広幅員歩道の整備、段差・アップダウンの改善、視覚障害者誘導ブロックの整備等のバリアフリー化により、誰もが安全かつ快適に通行可能な歩行空間の確保を図るものです。



▲ 歩 道 現 況



▲ 現 況 横 断 図



▲ 計 画 横 断 図



◀ 整 備 箇 所 図

〔重点整備地区〕
交通バリアフリー法に基づき策定された「交通バリアフリー基本構想」において、優先的にバリアフリー化を推進することとされている区域。

〔特定経路〕
重点整備地区内の特定旅客施設から高齢者・障害者等が利用する官公庁・福祉施設等までを結ぶ主たる経路。2010年までに「道路のバリアフリー基準」に適合した歩道等を整備する経路。

〔準特定経路〕
重点整備地区内の回遊性・滞在性を高めるための特定経路の補完経路。特定経路に準じてバリアフリー化を推進する経路。

平成19年度の予定

○用地買収の推進を図る予定です。

事　業　効　果

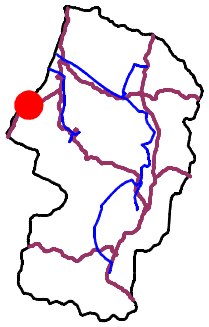
○高齢者・身体障害者をはじめとする全ての人々が安全で快適に利用できる歩行空間が形成されます。

安全で安心できる地域づくり　高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

事業名	一般国道7号　小波渡(こばと)自転車歩行者道整備事業（直轄） （山形県鶴岡(つるおか)市）
事業着手：平成15年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

当該箇所は、豊浦中学校及び三瀬小学校の通学路となっており、鰺ヶ崎トンネル内の歩道を利用しているのが現状です。しかし、トンネル内歩道は、1．2mと狭小であり、歩行者同士のすれ違いも困難な状況にあります。

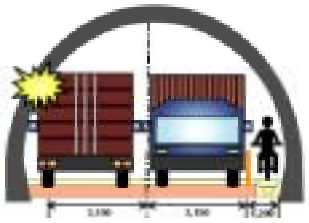
よって、トンネル内の歩道整備を行い、歩行者の安全を確保するものです。

「事業の概要」

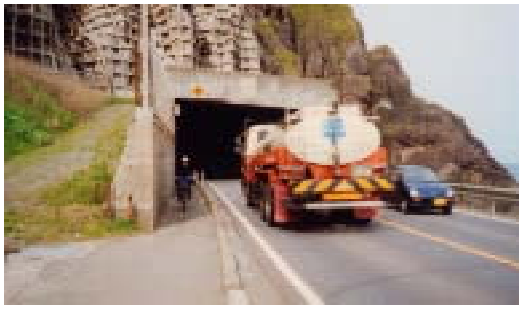
歩道整備　L＝519m(内、トンネル部L＝316m)



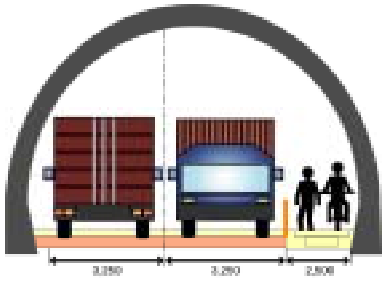
▼現況横断図



▼現況写真



▼計画横断図





（荘内日報：H2.9.5）

平成19年度の予定

○本体工事に着手し、事業の進捗を図る予定です。

事　業　効　果

○通学路指定区間における安全な歩行空間を確保します。

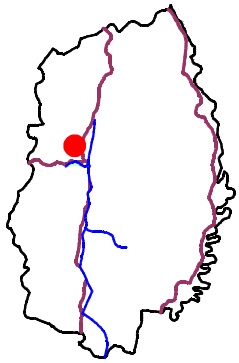
安全で安心できる地域づくり　**高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり**

事業名	住宅市街地総合整備事業　「月が丘地区」　(補助：事業主体　盛岡市) (岩手県盛岡市)

事業着手：平成１６年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

当地区は、盛岡市中心部から北に約5kmに位置し、昭和30～40年代に建設された公営住宅・戸建て住宅が建ち並び、周辺には、幼稚園や小学校、郵便局等の公共施設の他、大型商業施設もあり、利便性の高い住宅地を形成しています。

しかし、昭和40年代に建設された公営住宅は老朽化しており、地区の防災性向上の観点から、耐震及び耐火対策が課題となっており、あわせて高齢者、障害者及び若年世代等への多様なニーズに対応した、公営住宅供給が必要となっています。

「事業の概要」

老朽化した公営住宅について建て替えを行い、耐震及び耐火建物にすることにより、地区の防災性向上を図ります。また、高齢者等の多様なニーズに対応した住宅とし、活力ある住環境の形成に寄与する計画とします。その他、「シルバーハウジング・プロジェクト」の実施により、高齢者世帯を支える地域的な拠点づくりを目指します。



整備済の公営住宅

【シルバーハウジング・プロジェクト】

福祉施策と住宅施策の密接な連携の下に、高齢者の安全や利便に配慮した設備、設計を行うとともに、福祉サービスが適切に受けられるよう十分に配慮された住宅供給を推進するプロジェクト。具体的には、公営住宅において高齢者に配慮した設備・仕様としたり、デイサービスセンター等福祉施設の併設が実施されている。



専用インターホン
緊急通話電話機



呼出にぎりボタン



・1階にﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰを併設。生活援助員勤務。
・通報表示盤には、在・不在と警報が表示され、専用ｲﾝﾀｰﾎﾝの親機を設置。

デイサービスセンター

平成１９年度の予定

○平成19年度は、公営住宅及び駐車場の整備を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○市営住宅にシルバーハウジングを導入することにより、高齢者の安全で安心な居住の確保が図られ、住環境が向上します。

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	格子状骨格道路ネットワーク事業 （東北6県）

事業の必要性・事業の概要

「事業の概要」

都市間距離と峠と雪を克服し、広域的な交流・連携を促進するとともに、都市と周辺市町村との連携による新しい地域間のつながりを支援するため、高規格幹線道路と地域高規格道路による4本の南北軸、7本の東西軸で構成される格子状骨格道路ネットワークについて、投資効果を最大限に発揮できるよう重点的かつ効率的に整備を進めます。また、新直轄方式の高速自動車国道（3路線8区間）について、引き続き事業・調査を進めます。

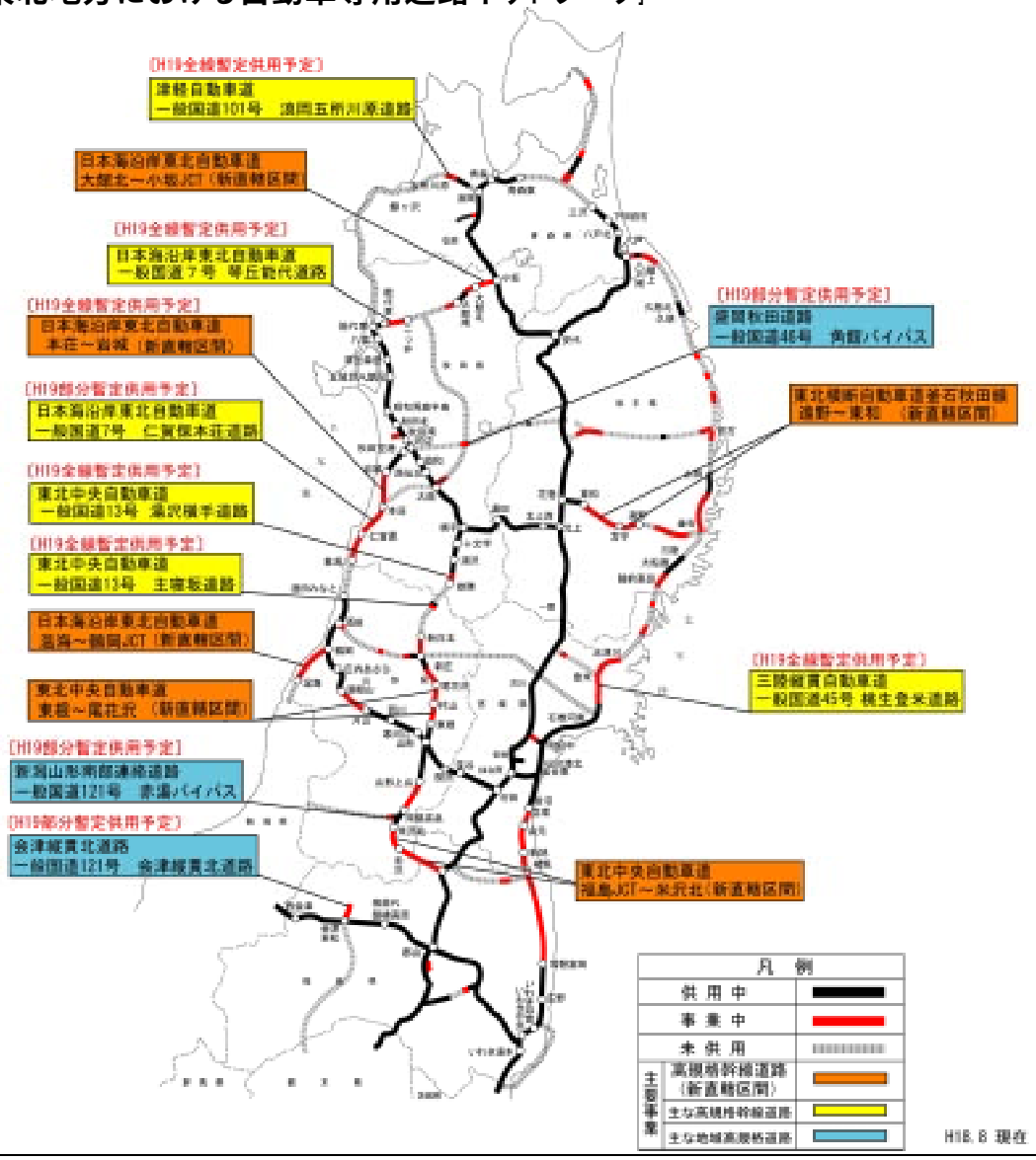
【延長（km）】

		全体計画	H17末まで	H18末まで	H19末まで
高規格幹線道路	全国	14，000	8，851	ー	ー
	東北	2，204	1，394	1，446	1，512
地域高規格道路	全国	6，950	1，620	ー	ー
	東北	660	85	91	100

成果目標	H17末	H18末（目標）	5年後（H19末）	長期
規格の高い道路を使う割合	8．7％ （速報値）	8．9％	約9％	15％

※目標年次は、「社会資本整備重点計画」(H15～19)に即し、H14年度末を現在とし、5年後の目標値を設定。

［東北地方における自動車専用道路ネットワーク］



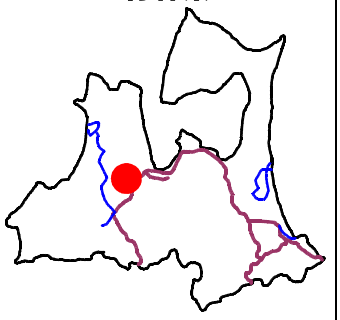
強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	津軽自動車道　一般国道101号　浪岡五所川原道路（直轄） （青森県青森市～五所川原市）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



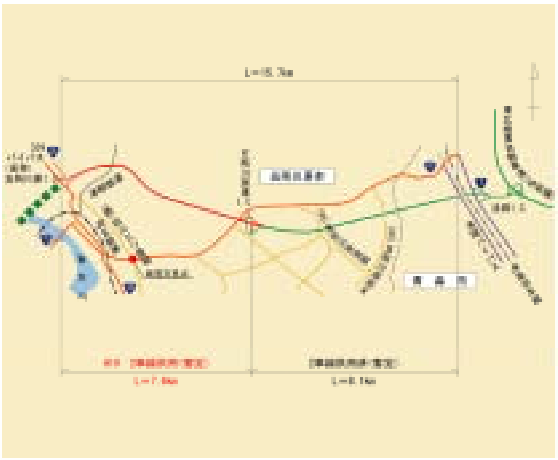
「事業の必要性」

五所川原市中心部は、国道101号や339号が通過するなど周辺地域の主要幹線道路が集中し、市内の内々交通と通過交通が交錯しているため交通混雑が著しく、渋滞が発生してます。

特に、国道101号は、交通量の増加に伴い、交通事故も多く、沿道環境の悪化や渋滞ポイントに挙げられている「姥萢交差点」「田町交差点」を中心に交通混雑が著しい状況にあります。このため、五所川原市も含めた以西の西北五地域と青森市や弘前市方面との交流促進の弊害となっています。

「事業の概要」

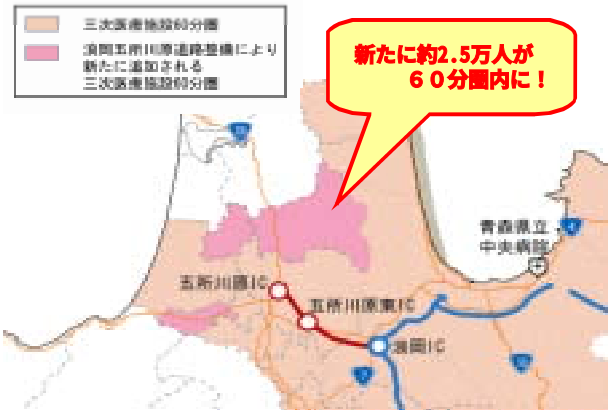
浪岡五所川原道路は、主要渋滞ポイント「姥萢交差点」「田町交差点」の渋滞緩和と三次救急医療施設60分カバー圏の拡大や所要時間の短縮、青森市(青森空港や青森駅)の交流条件向上等を目的とした延長15．7kmの自動車専用道路で、五所川原東ICまでの8．1kmについては供用済み、残る7．6kmについて事業を行っています。



▲位　置　図



▲ 姥萢交差点における渋滞状況



▲三次医療施設60分圏域の拡大



▲ 五所川原東ICより終点側を望む

平成19年度の予定

○五所川原東I.C～五所川原I.C（仮）間のL＝7．6kmについて舗装工事を推進し、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

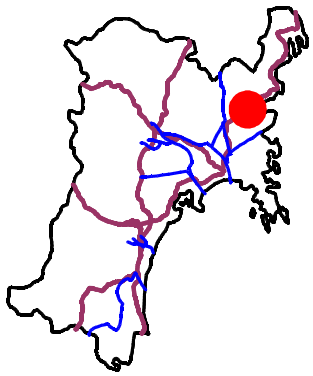
○国道101号の渋滞緩和(主要渋滞ポイント:姥萢交差点渋滞長350mが整備後130m未満に)
○三次救急医療施設60分圏域の拡大(カバー圏域に約2．5万人が加わります)
○緊急輸送道路ネットワークの形成

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	三陸縦貫自動車道　一般国道45号　桃生登米道路（直轄） （宮城県石巻市～登米市）
事業着手：平成5年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



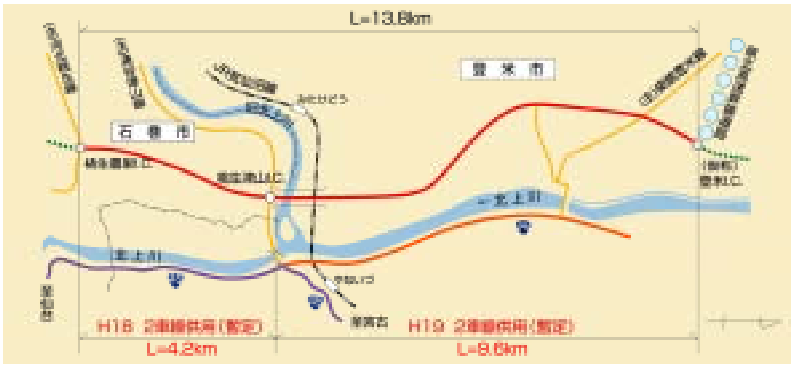
「事業の必要性」

桃生登米道路は、南三陸沿岸地域を結ぶ道路であり、交流促進や地域の活性化のため必要となっています。

また、第3次救急医療施設へ60分で到達できない地域が存在し、一刻も早い救命救急活動を支援する道路整備が求められています。

「事業の概要」

桃生登米道路は、地域間の広域交流連携に寄与することを目的とした、宮城県石巻市桃生町から宮城県登米市中田町に至る延長13.8kmの道路です。



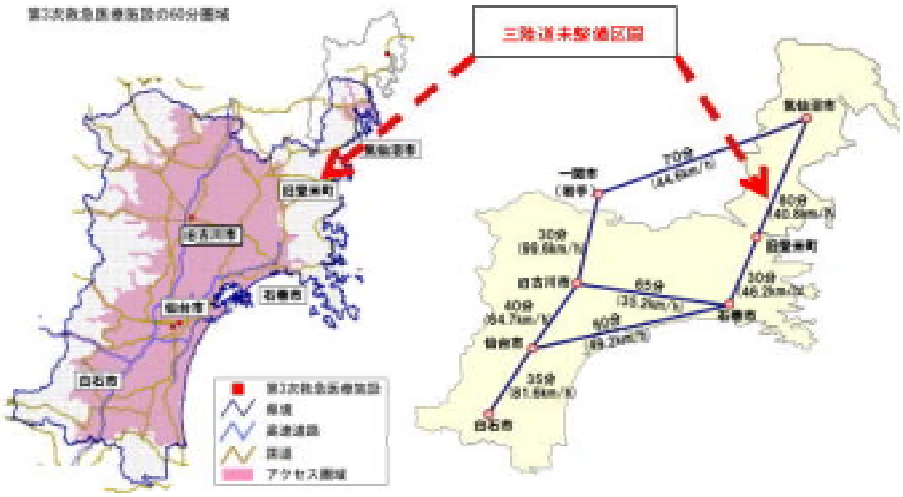
▲　位　置　図



▲現在施工中の桃生登米道路

三陸自動車道が未整備なために、第3次医療施設へ60分で到達できない地域が存在！

▶第3次救急医療施設へ60分でアクセスできない地域が存在



◀主要都市間の所要時間が長い

平成19年度の予定

○桃生津山IC～登米IC（仮称）までの区間L=9.6kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

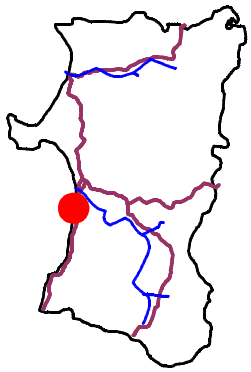
○高速道路ICアクセス性の向上（広域交流促進の支援）
○第3次救急医療施設へのアクセス性の向上（救急医療活動の支援）
○旧登米町役場から仙台市役所までの時間短縮　90分（整備前）→65分（全線暫定供用後）25分短縮

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	日本海沿岸東北自動車道　本荘～岩城（新直轄） （秋田県由利本荘市）
事業着手：平成9年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道7号は、日本海沿岸の主要都市部を結ぶ主要幹線道路ですが、平行路線・迂回路がないことから、通勤交通等が集中し、著しい渋滞が発生しており、円滑な交通環境が求められています。また、秋田市に集中する三次救急医療施設への搬送時間1時間圏域のカバー率増加や緊急時の代替路線としての整備が強く求められています。日本海沿岸東北自動車道の骨格を形成する本荘～岩城は、これらの問題を緩和解消する高規格道路として、その整備が強く期待されています。

「事業の概要」

日本海沿岸東北自動車道の一部である本荘～岩城は、地域間交流の促進、一般国道7号の交通混雑解消、三次救急医療施設への1時間圏域カバー率増加、緊急時の代替路線確保などを目的として整備を進められています。平成19年度は、本荘IC(仮)～岩城IC間のL=21kmの全線暫定供用を目指し整備を行っています。



▲　位　置　図



▲日本海沿岸東北自動車道
本荘～岩城間の整備状況



▲三次救急医療施設60分圏域の拡大



▲代替路確保による信頼性の確保と渋滞の緩和

平成19年度の予定

○本荘IC（仮）～岩城IC間のL=21kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

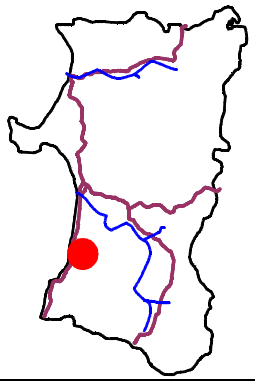
○国道7号の渋滞の緩和
○安心出来る生活の確保（三次救急医療施設1時間圏域の拡大）
○緊急時の代替路線の確保

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	日本海沿岸東北自動車道　一般国道7号　仁賀保本荘道路（直轄） （秋田県にかほ市～由利本荘市）
事業着手：平成12年度	完成・供用の目標年度：平成19年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道7号は、日本海沿岸の主要都市部を結ぶ主要幹線道路で大動脈の役割を果たしているものの、平行路線・迂回路がないことから、通勤交通等が集中し、著しい渋滞が発生しています。また、秋田市に集中する三次医療施設への搬送時間1時間圏域の増加や緊急時の代替路線確保など、一般国道7号と平行する自動車専用道路の整備が強く期待され、早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

仁賀保本荘道路事業は、日本海沿岸東北自動車道の一部を形成するとともに、地域間交流の促進、一般国道7号の交通混雑の解消、三次救急医療施設への1時間圏域カバー率増加、緊急時の代替路線確保などを目的として整備を進めています。平成19年度は、にかほ市の両前寺交差点（国道7号ワンタッチ）から本荘IC（仮）までの延長11．3kmの部分暫定供用を目指し整備を行っています。

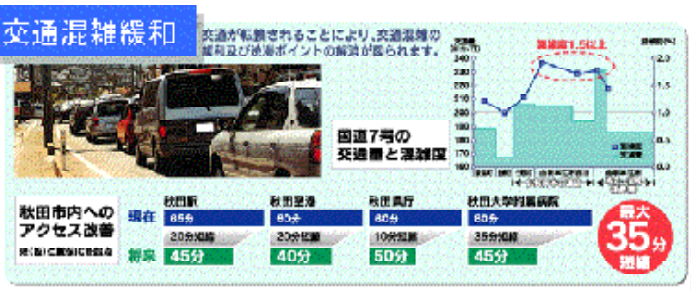


▲　位　置　図



▲仁賀保本荘道路の整備状況







西目出戸交差点の渋滞状況▶

平成19年度の予定

○にかほ市両前寺交差点（国道ワンタッチ）～本荘IC（仮）間L=11．3kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

○国道7号の渋滞の緩和
○安心出来る生活の確保（三次救急医療施設60分圏域の拡大）
○代替路による交通の信頼性確保

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	日本海沿岸東北自動車道　一般国道7号　琴丘能代道路（直轄） （秋田県山本郡三種町～能代市）
事業着手：昭和58年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

国道7号では市街部等で交通混雑が発生しています。また、三次救急医療施設の60分カバー圏が秋田県北地域では72%にとどまっており、圏域の拡大が早急に求められています。さらに、人口減少、地場産業低迷等が顕著である秋田県北地域では、域内・域外、秋田市(秋田港)、大館能代空港等との交流活発化のための交流条件向上が求められています。

「事業の概要」

琴丘能代道路は、主要渋滞ポイント能代高校前交差点の渋滞緩和、三次救急医療施設60分カバー圏の拡大及び秋田市(秋田港)との交流条件向上等を目的とした延長33．8kmの自動車専用道路で、これまでに能代東ICまでの23．8kmについては供用済み(能代南IC～能代東IC間6.7kmはH18.7.29供用)、残る10．0km区間については、平成19年度を開通目標として事業を進めています。









※市町村合併前の境界で表現しております

平成19年度の予定

○残区間となる能代東I.C～二ッ井I.C（仮）間のL＝10．0kmについては、舗装及び付属施設工事を実施し、平成19年度の暫定供用(琴丘能代道路として全線暫定供用)を図る予定です。

事　業　効　果

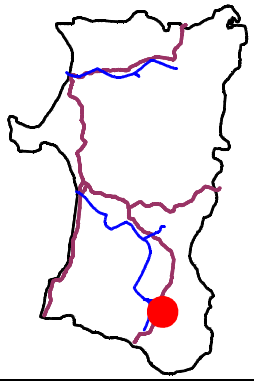
○圏域内外の交流条件向上
○三次救急医療施設60分圏域の拡大(カバー圏域に新たに旧二ッ井町(約1.2万人)が加わります)
○緊急輸送道路ネットワークの形成

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	東北中央自動車道　湯沢横手道路（直轄） （秋田県湯沢市～横手市）
事業着手：昭和５９年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

一般国道１３号における当該区間は、交通量の増加と車輌の大型化による交通混雑、特に冬期間の交通渋滞が著しく、沿道の生活環境の悪化等を引き起こしており、早急な対策が必要となっています。

「事業の概要」

湯沢横手道路は、当該区間における一般国道１３号の交通混雑の解消及び沿道環境の改善を図るとともに、地域間の交流・連携に寄与することを目的とした延長２９．０kmの道路事業です。

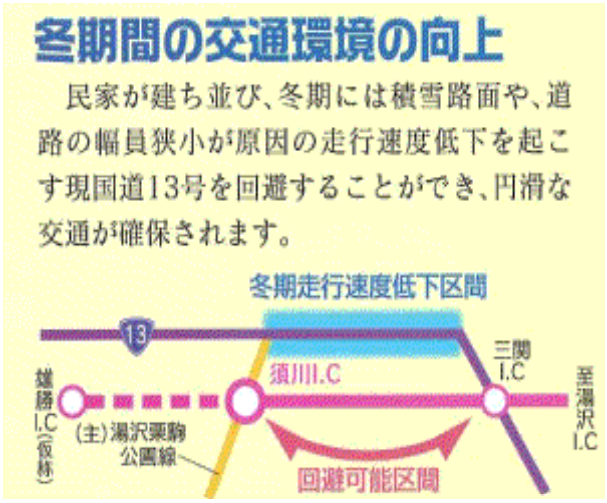


▲　位　置　図



▲一般国道１３号湯沢市上関地内の冬期交通状況





平成１９年度の予定

○残区間となる雄勝（おがち）Ｉ．Ｃ～須川（すかわ）Ｉ．Ｃ区間Ｌ＝３．６ｋｍについて、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

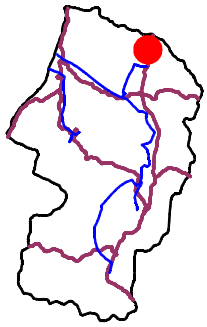
○地域産業への支援
　湯沢市周辺地域へのアクセス性を向上させ、観光産業の活性化を促進します。
○冬期交通環境の向上
　民家が建ち並び、冬期には道路の幅員狭小が原因の走行速度低下を起こす現国道１３号を回避することができます。

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	東北中央自動車道　一般国道13号　主寝坂道路（直轄） （山形県最上郡金山町～真室川町）
事業着手：平成8年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

国道13号の金山町主寝坂峠付近は、幅員狭小（Wmin=6.0m）、急カーブ（Rmin=30m）、急勾配（Imax=6.2%）の連続している状況となっています。また、大型車のすれ違いが困難で老朽化の著しい主寝坂トンネルや通行規制（連続雨量150mm）の指定区間があるなど、国道13号最大の隘路区間となっていることから、国道としての機能低下が著しく、早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

主寝坂道路は、一般通行規制区間による大幅な迂回の解消、狭小トンネルや隘路区間の解消等を目的とした延長9.9kmの自動車専用道路です。金山町大字中田～真室川町大字及位間5kmについては、平成17年度に部分暫定供用済み、残る4.9kmについて事業を行っています。



▲　位　置　図



▲整備が進む主寝坂道路（金山町飛ノ森付近より終点方向を望む）



▲通行止めによる大幅な迂回ルート



▲現道のヘアピンカーブ（金山町飛ノ森付近）

平成19年度の予定

○金山町大字飛ノ森～金山町大字中田間L=4.9kmにおいて、舗装工事を実施し、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

○一般通行規制区間（連続雨量150mm）を避け、災害時における大幅な迂回の解消
○冬期をはじめとする走行時の安全性・快適性向上
○国道13号の物流効率化の支援

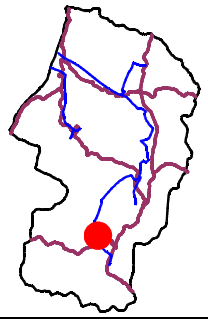
強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	新潟山形南部連絡道路　一般国道113号　赤湯バイパス（直轄） （山形県南陽市～東置賜郡高畠町）

事業着手：平成7年度	完成・供用の目標年度：平成19年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

山形県

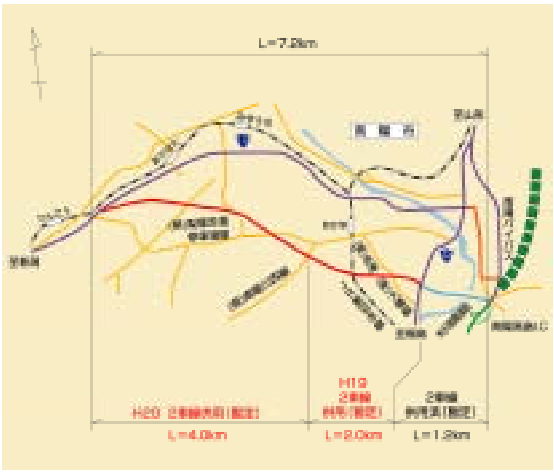


「事業の必要性」

国道113号南陽市赤湯の市街地区間は、幅員が狭く、直角曲がりが2箇所あり、大型通行規制区間があるなど幹線道路としてふさわしくない状況になっています。また、豪雪地帯にも関わらず、堆雪余裕がなく、運搬排雪を余儀なくされ、歩道が確保されず、安全性の面からも問題が指摘されています。

「事業の概要」

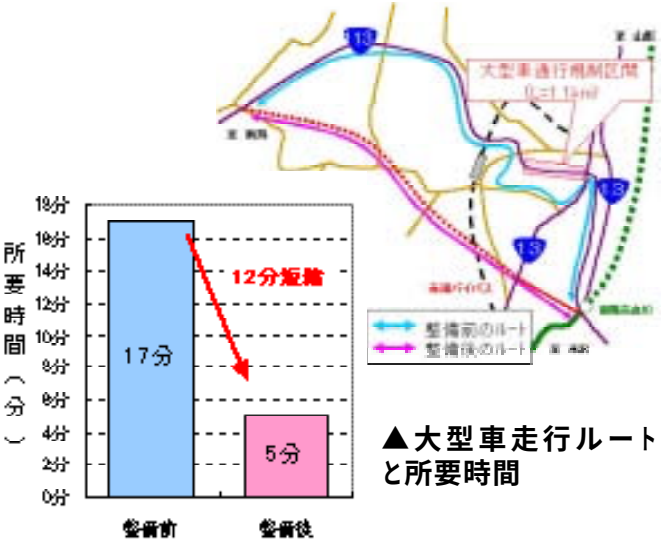
赤湯バイパスは、劣悪な現道状況による交通混雑や旅行速度の低下を解消することを目的とした延長7.2kmの自動車専用道路です。南陽市大字鍋田～高畠町大字深沼間1.2kmについては、平成15年に暫定供用済み、残る6.0km区間について事業を行っています。



▲　位　置　図



▲南陽市赤湯の混雑状況



▲大型車走行ルートと所要時間



▲整備が進む赤湯バイパス
（南陽市島貫付近より終点方向を望む）

平成19年度の予定

○南陽市大字島貫～南陽市大字鍋田間L=2.0kmにおいて、土工・舗装工事を実施し、部分暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

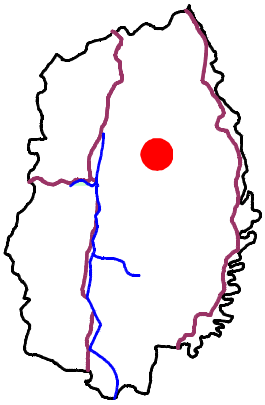
○大型車通行規制区間の回避
○南陽市赤湯市街地の現道交通量が減少し、住民の安全と生活環境が改善
○公立置賜総合病院へのアクセス向上（高畠町の5千人が30分圏内に）

強い東北の創造　「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

事業名	一般国道455号　早坂道路（補助：事業主体　岩手県） （岩手県盛岡市～下閉伊郡岩泉町）
事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



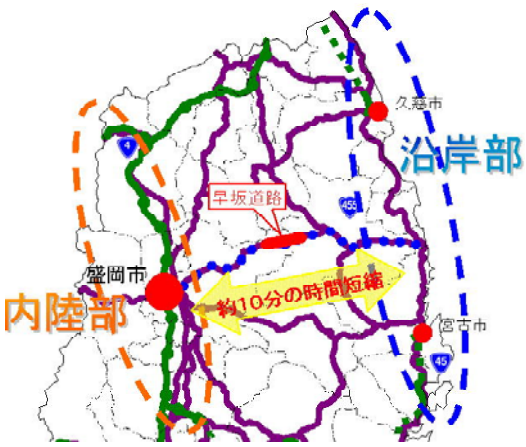
「事業の必要性」

一般国道455号は、岩手県盛岡市を起点とし、岩泉町に至る延長約104kmの幹線道路です。

早坂峠付近の約10km区間は、線形不良(Rmin＝10m)、急勾配(Imax＝9%)が連続する隘路区間となっており、交通事故が多発し、特殊通行規制区間(雪崩)が存在するなど、通行車両の安全で円滑な通行の支障となっています。また、平成8年度の道路防災点検において、要対策箇所が4箇所存在し、早急な安全対策が必要となっています。

「事業の概要」

早坂道路は、早坂峠付近の線形不良、急勾配などの交通隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長約4．2kmのバイパス整備事業です。早坂道路の完成により、県都盛岡市と沿岸北部地域の所要時間が約10分短縮されるほか、特殊通行規制区間(雪崩)及び防災点検要対策箇所の回避により、安全で円滑な交通機能を確保します。



【早坂峠の状況】

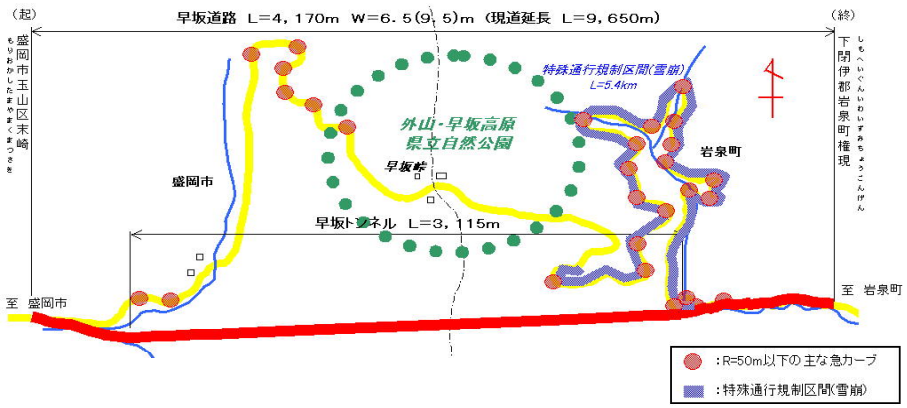




【事故発生の状況】







【完成予想図】



平成19年度の予定

○トンネル設備工事、改良工事等を実施し、事業の完成を図る予定です。

事　業　効　果

○県都盛岡市と沿岸北部地域のアクセス向上が図られます(約10分の時間短縮)。
○線形不良、急勾配などの隘路区間の解消、及び特殊通行規制区間(雪崩)、平成8年度の防災点検要対策箇所の回避により、通行車両の安全性が向上します。

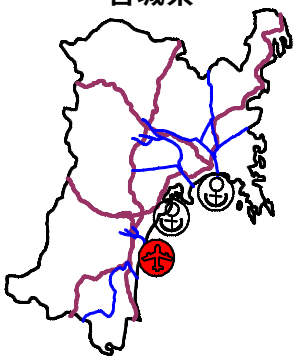
強い東北の創造　**グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

事業名	仙台空港Ｂ滑走路改良事業（直轄） （宮城県名取（なとり）市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

仙台空港は、全国主要都市間に10路線・42往復/日、国際線はグアム、東南アジア方面に6路線・23往復/週の定期便が就航する東北地方の拠点空港として地域の発展・国際化に大きく寄与しております。

主要滑走路（B滑走路）は、前回の改良(切削・嵩上げ)から約10年が経過し、舗装の劣化による凹凸や亀裂が発生し、施設機能維持のため改良が必要となっています。

「事業の概要」

本事業は、B滑走路（延長3,000m）の改良(切削・嵩上げ)を行い、安全かつ安定した航空輸送サービスの確保を行うものです。

なお、供用中の空港であることから、工事は夜間作業となり翌日の航空機の運航に支障のないよう、日々計画的に工事が進められます。



B滑走路改良計画図


亀裂の発生状況


B滑走路【3,000m×45m】

平成１９年度の予定

○平成19年度は、滑走路改良（切削・嵩上げ）を行い、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○　空港施設機能の維持
○　安定した航空輸送サービスの確保

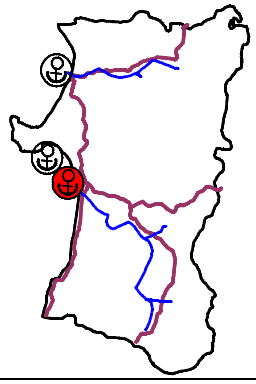
強い東北の創造　**グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

事業名	秋田港外港地区防波堤整備事業（直轄） （秋田県秋田市）

事業着手：平成3年度	完成・供用の目標年度：平成30年度頃完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

秋田港外港地区の多目的国際ターミナルでは、コンテナ貨物や鉱産品等が取扱われていますが、冬季風浪によって港内が擾乱し、貨物の荷役に障害が発生しています。

また、長距離フェリーの安全性や定時性が確保されていない等の問題もあるため、防波堤の整備によって港内の静穏度を向上させることが求められています。

「事業の概要」

本事業は、港内の擾乱を抑え、多目的国際ターミナルの静穏度向上と航行船舶の安全性の向上を図るため、防波堤（延長1,400m）を整備するものです。



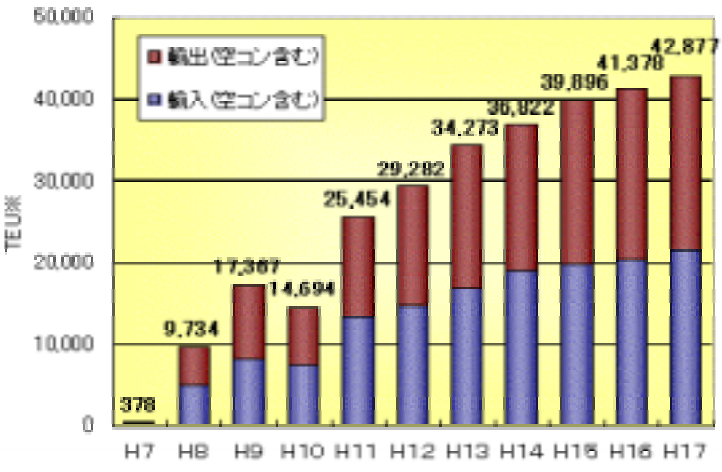
▲秋田港の状況



▲港内擾乱状況



▲多目的国際ターミナルコンテナ荷役状況



▲秋田港外貿コンテナ取扱量



▲長距離フェリー接岸状況

※TEU（Twenty－foot Equivalent Unit）ｺﾝﾃﾅの個数を数える単位（20ﾌｨｰﾄ･ｺﾝﾃﾅに換算したｺﾝﾃﾅ個数）

平成19年度の予定

○平成19年度は、防波堤本体製作および据付を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○多目的国際ターミナルの静穏度が向上し、物流の効率化が図られます。
○港内静穏度向上により、航行船舶の安全性の向上が図られます。

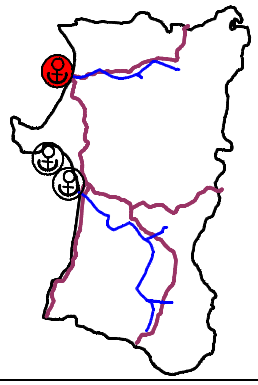
強い東北の創造　**グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備**

事業名	能代港大森地区　航路整備事業（直轄） （秋田県能代市）

事業着手：平成１５年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

能代港では東北北部の電力需要を支える東北電力能代火力発電所が稼働しており、発電燃料として年間約３００万トンの石炭を海外から輸入しています。

この他、県北内陸部のリサイクル産業の国際競争力向上のため、中国・韓国等の東アジア地域から重金属や貴金属を含んだリサイクル原料を輸入し、背後地域の精錬所で金属を回収する計画が動き出すなどリサイクル品の増加が見込まれます。

この様に、能代港の重要性は益々高まっていますが、同港では、波で巻き上げられた土砂が海浜流により港内に運ばれる漂砂現象によって、航路に砂が堆積して浅くなり、石炭運搬船等の安全航行に支障となっていることから、恒久的な航路水深の確保が求められています。

「事業の概要」

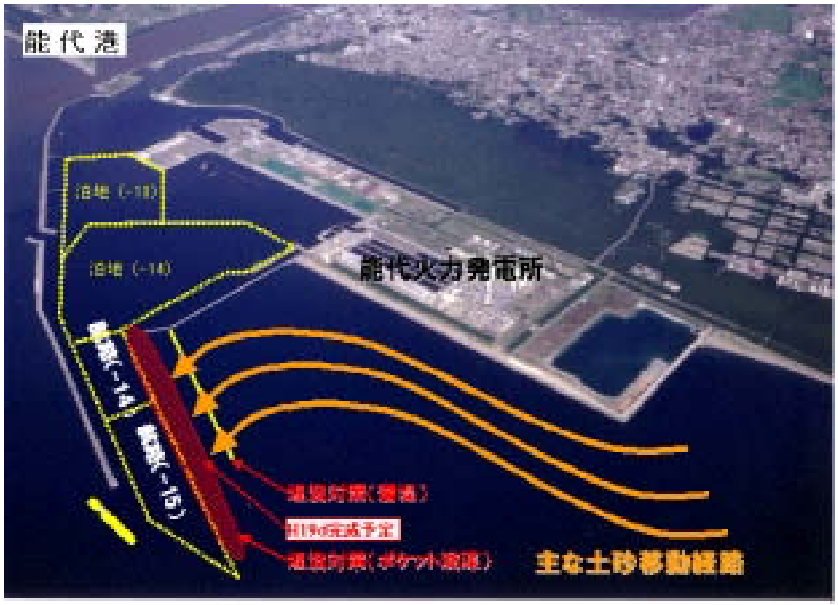
浅くなった航路は、浚渫して原状回復を図ることが一般的ですが、その都度、高い費用を要すると共に、海上交通の安全性・信頼性が損なわれかねません。この対策として、能代港では潜堤※1を設置して、航路への漂砂移動量を減少させると共に、ポケット※2を造り、長期にわたって航路の計画水深を維持することが有効とのシミュレーション結果を得て、整備を進めています。

なお、本事業はエネルギーの安定供給を目的とした公共性の高い事業であることから、エネルギー港湾事業※3として、受益者の応分の負担により整備しています。

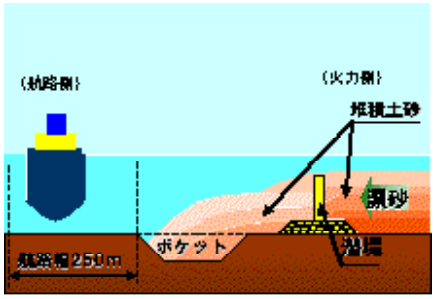
※1　潜堤：水中に設置する壁状の構造物

※2　ポケット：事前に計画水深より深く浚渫し堆積砂をため込む溝

※3　エネルギー港湾事業：企業合理化促進法に基づき、企業者から申請され重要港湾等における事業で、国と港湾管理者の協議の整ったもので、①大規模な石油精製工場の生産拡大に対応した水域、外かく施設の整備事業。②エネルギーの多様化への対応及び安定供給に必要とされる国家的要請に基づく石油備蓄、電力立地等に対応した水域、外かく施設の整備事業などがあります。



▲ 能代港の漂砂現象



▲ 潜堤等による漂砂の防護



▲ 石炭運搬船“能代丸”

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、航路ポケット浚渫を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

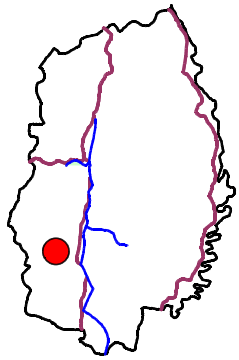
○今後、長期（概ね２０年と推定）にわたって航路計画水深が維持され、大型船が安全に航行できるようになります。

事業名	湯田ダム湖活用環境整備事業（直轄） （岩手県和賀郡西和賀町）

事業着手：平成１７年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

湯田ダムは平成9年度に「地域に開かれたダム」に指定され、湯田ダム水源地ビジョンの中でも、ダム湖周辺の環境整備が求められていることから、貯水池の保全及び管理を目的とした施設を設置するとともに、貯水池周辺の親水性を向上させていくものです。

「事業の概要」

本事業は、湯田ダム貯水池周辺の2地区（大石地区、川尻地区）を整備するものであり、周辺の自然豊かな水辺空間を活かしながら、ダム上下流の地域住民の憩いの場として活用を図るため、親水護岸、遊歩道、多目的広場、駐車場を整備するものです。



銀河ホール裏親水護岸整備（川尻地区）



浸水レクリエーション広場整備（大石地区）



平成１９年度の予定

○平成19年度は、大石地区において、整地、多目的広場、遊歩道、親水護岸等の整備を実施します。

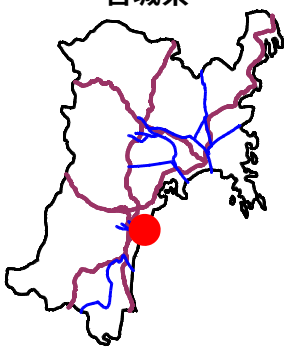
事　業　効　果

○湯田ダム・錦秋湖周辺利用の拠点機能向上を図り、湖面利用の促進を目指します。

事業名	名取川河川改修事業（藤塚（ふじつか）地区）（直轄） （宮城県仙台市）
事業着手：平成１４年度	完成・供用の目標年度：平成２０年代前半完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

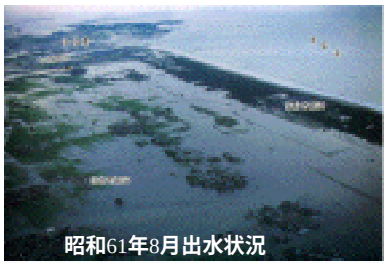
仙台東部に位置する藤塚地区は、名取川及び七北田川と海岸沿いを流れる貞山運河に囲まれた低平地であり、名取川の直轄管理区間において唯一の無堤区間となっていることから、早急な治水対策が必要となっています。しかし、当地区には貴重な自然環境が残る井土浦及び貞山運河があり、これら自然環境を考慮した堤防計画並びに整備が求められています。

「事業の概要」

当該地区の河川改修計画は、干潟を締め切る直線の堤防計画でしたが、貴重な井土浦の干潟を保全するため、築堤計画の見直しを行いました。

さらに、この地区は慶長時代に開削された貞山運河が存在し、歴史的景観が形成されているため、自然環境及び景観に配慮した施工を行います。




昭和61年8月出水状況


環境省レッドデータブックの絶滅危惧種に指定されているヒヌマイトトンボ


貞山運河の自然景観

平成１９年度の予定

○築堤用地の取得を図り、工事着手を目指した事業進捗を推進します。

事　業　効　果

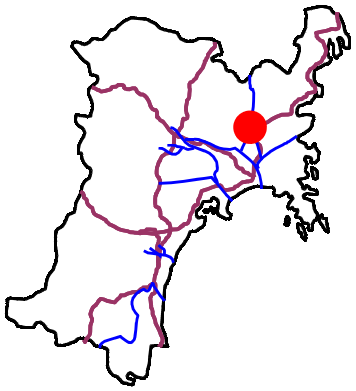
○洪水時の住宅地等への浸水被害を軽減するとともに、豊かな自然環境を保全します。

事業名	北上川水系直轄総合水系環境整備事業（歴史公園整備）（直轄） （宮城県登米市、石巻市）

事業着手：平成１８年度	完成目標年度：平成２１年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



位置図

「事業の必要性」

当該地区は歴史的背景から河川との結びつきが深く、古くは川村孫兵衛や明治政府による河川改修が行われ、藩政時代には廻米の舟運と相まって地域の交流拠点でした。また、輸送手段の変化で舟運は衰退した現代ですが、近年、舟による地域間の交流が活発になってきております。このような背景を受け、当該地区では北上川を軸とした水辺の交流拠点の整備とあわせて、歴史的土木構造物の保存と河川改修の歴史を見て、学ぶことのできる公園の整備が望まれています。

「事業の概要」

本事業は、北上川の河川事業の歴史・文化を後世に継承する総合学習の場、地域の交流の場としての拠点整備を進めるものであり、地元自治体が実施する公園整備とあわせて、国が基盤整備、船着場、緩傾斜堤等の整備を実施します。また、整備にあたっては、地域住民がまとめた基本構想「学ぶ、体験する、交流する」をコンセプトをもとに、地域住民と一体となった『かわまちづくり』に取組んでいます。

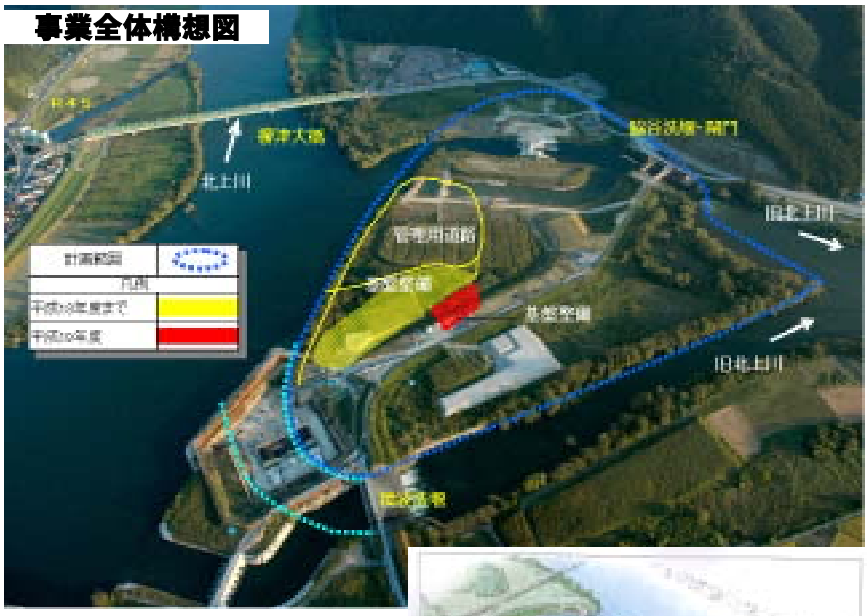
船着場・管理用道路（イメージ）



展望広場（イメージ）



事業全体構想図





完成イメージ（上空）

鴇波洗堰



脇谷洗堰・閘門



平成１９年度の予定

○平成19年度は、基盤整備を実施し事業の推進を目指します。

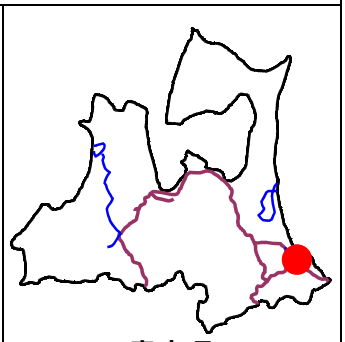
事　業　効　果

○歴史的土木構造物（脇谷洗堰・閘門、鴇波洗堰）の保存と次世代への歴史・文化の継承
○舟運や交流拠点整備による水辺利用者の増加
○周辺関連事業（桃生ＩＣ）と連携を図った整備による水辺への観光客の誘客

事業名	馬淵川水系直轄総合水系環境整備事業（魚がすみやすい川づくり）（直轄） （青森県八戸市）

事業着手：平成１８年度	完成目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

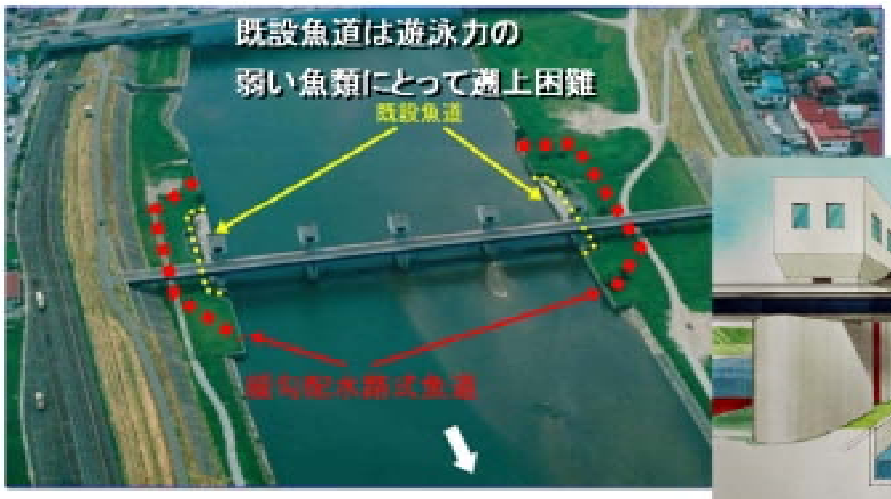
馬淵川は、以前には魚類の生息環境が良好な河川であったと言われています。しかし、八戸市の新産業都市指定並びに流域資産の増大、流域開発の著しい進展に鑑み治水安全度の向上を目指した河川改修、水源として利用するための取水施設の建設を進めた結果、魚類の生息や遡上環境を悪化させています。そのような背景をうけ、魚がすみやすい環境を再生・復元し、川の連続性を確保する環境整備を水系一貫となって実施していく必要があります。

「事業の概要」





馬淵大堰　（2．6k）







平成１９年度の予定

○平成19年度は、魚道設置工事の推進を図ります。

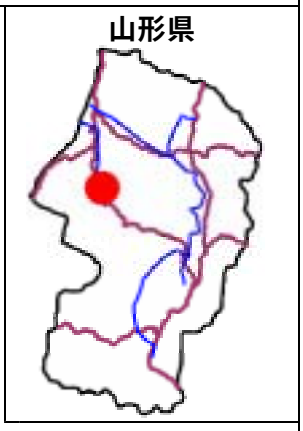
事　業　効　果

○河川の連続性確保と魚の遡上環境が改善されます。
○流域全体における健全な水域・生態系ネットワークを構築します。

事業名	赤川水系直轄総合水系環境整備事業（自然再生事業）（直轄） （山形県鶴岡市）

事業着手：平成１７年度	完成目標年度：平成２１年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

赤川はこれまでの河川水利用増加に伴う取水堰等の建設により、魚の移動性が阻害されているとともに、流れの多様性（瀬・淵の減少）が失われ、魚類生態系の変化（主に山形県魚：サクラマスの減少）や外来種（ハリエンジュ）による樹林化が進行しているなどと、河川が本来持つ自然環境が失われつつあります。

これら背景を受け、漁協、専門家、地元市民団体等からは赤川における「ハリエンジュ伐採」や「魚道の設置」、「淵の再生」等の河川環境の改善に対して、提案や要請も多く寄せられており、地元住民の関心が高い河川となっています。

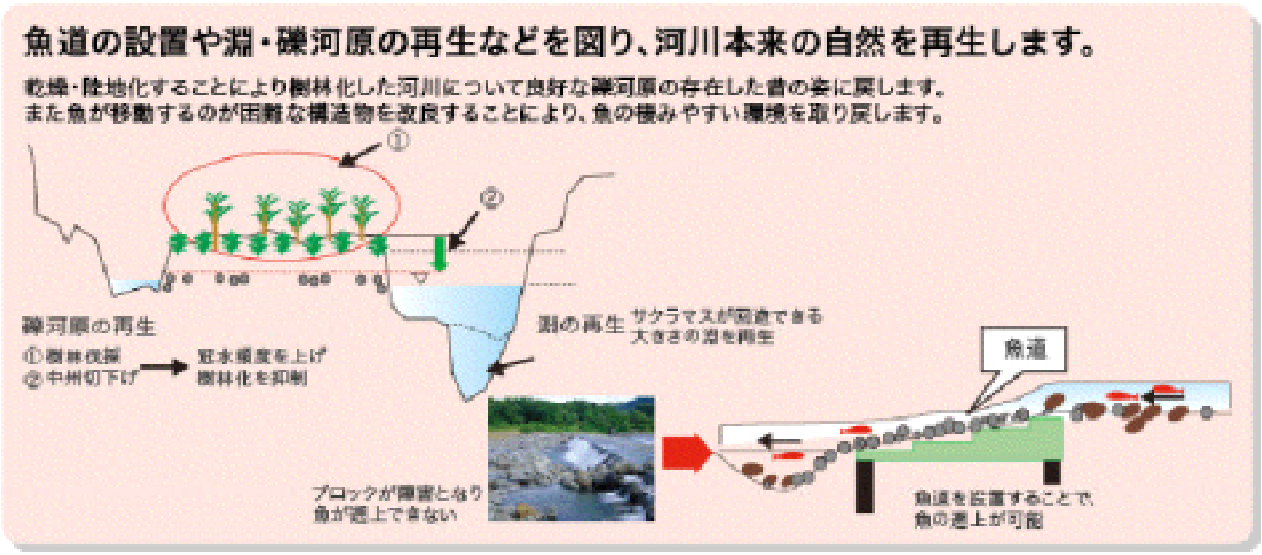
「事業の概要」

本事業では有識者や地元関係者で構成される「赤川自然再生計画検討会」を開催し、地元住民の協力を得ながら事業を実施しています。

＜事業内容＞

①礫河原再生（ハリエンジュ伐採）、　②魚道設置、　③瀬・淵の再生





平成１９年度の予定

○平成１９年度は、魚道設置のための工事を実施し、事業の推進を図ります。

事　業　効　果

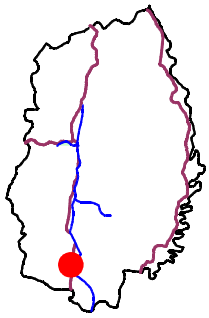
○河川の連続性確保により魚の遡上環境が改善されます。
○流域全体における健全な水域・生態系ネットワークを構築します。

美しい東北の実現　東北らしい自然環境との共生

事業名	一般国道4号　平泉バイパス（直轄） （岩手県西磐井郡平泉町）
事業着手：昭和56年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

平泉町は、中尊寺をはじめとする多くの史跡・名所が点在し、平成20年度には「平泉の文化遺産」の世界遺産登録を目指しており、国、県、町が一体となり歴史・文化を活かせる各種事業を展開しています。その中で平泉町のまちづくりの一翼を担う一般国道4号は、近年の自動車交通の増大と車両の大型化により交通混雑や沿道環境の悪化が著しく、早急な改善が望まれています。

「事業の概要」

平泉バイパスは、安全で快適な道路交通の確保を図るため事業に着手し、平成11年度には延長2．4kmが暫定2車線で供用しており、残り3．4kmの事業を展開中です。また、堤防とバイパスの一体整備の中で法面への直裁を実施し、周辺環境との調和を図っています。さらに柳之御所からの眺望にバイパスを通る車両がその視界に入らぬよう修景盛土を実施し、平泉の歴史的景観に配慮して事業を進めています。



▲　位　置　図



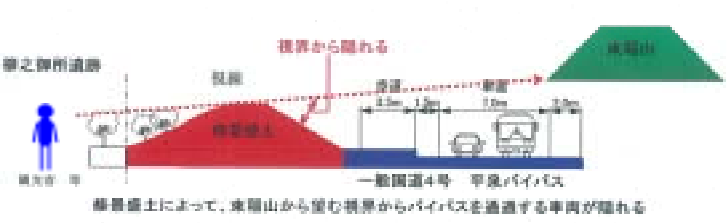
▲春の藤原祭り時の国道4号の渋滞



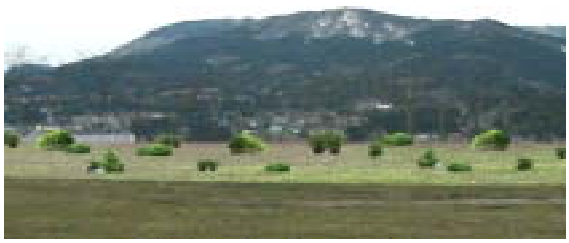
▲平泉バイパスを上空から望む



▲堤防とバイパスの一体整備イメージ



修景盛土によって、束稲山から望む視界からバイパスを通過する車両が隠れる



▲柳之御所からの眺望（修景盛土有り）

平成19年度の予定

○平泉町平泉地内L=3.4kmにおいて、舗装工事等を実施し、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

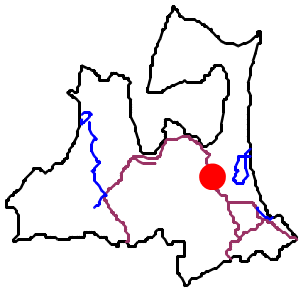
○現道の交通量がバイパスに転換し、交通混雑の緩和、沿道環境の改善が図られ、世界遺産登録を目指す平泉町のまちづくりを支援します。

事業名	一般国道4号　七戸(しちのへ)バイパス（直轄） （青森県十和田(とわだ)市～上北郡(かみきたぐん)七戸町(しちのへまち)）

事業着手：平成元年度	完成・供用の目標年度：平成19年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



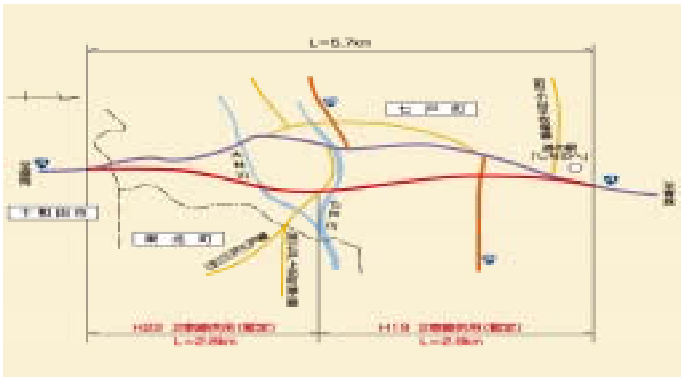
「事業の必要性」

本路線は、七戸町内の交通混雑の緩和や隘路区間の解消、沿道環境の改善を図るとともに周辺市町村間の連携を強化し、地域活性化の支援を目的に、平成元年に事業着手しました。バイパス終点部には、平成22年度開業予定の東北新幹線七戸駅(仮称)の設置が計画されており、新駅と県内各地を結ぶアクセス道路として、一体的な整備による利便性向上や整備効果の早期発現が望まれています。

また、平成7年度には、歴史的・文化的価値を有する歴史上重要な幹線道路として「歴史国道　奥州街道」に選定されていることから、奥州松並木（七戸地区）の保全や景観などを検討し、松並木を含めた地域総合環境整備により地域産業経済の活性化や地域振興に寄与する重要路線です。

「事業の概要」

七戸バイパスは、交通混雑の解消や隘路区間の解消、冬期間の安全で円滑な通行の確保及び東北新幹線七戸駅（仮称）へのアクセス向上による広域的な連携強化等を目的とした延長5.7kmのバイパスです。





▲ 七戸町内の交通混雑



▲ 松並木整備後の遊歩道(イメージパース)



▲ 終点側（東北新幹線交差部）から起点方向を望む

平成19年度の予定

○終点側の区間のL＝2．9kmについて、用地買収の促進をするとともに、橋梁や改良舗装工事を推進し、部分暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

○バイパス整備により、七戸町内の交通混雑が解消され、良好な沿道環境を実現します。
○輸送時間が短縮し、物流コストの低減が図られることで、七戸町工業団地やその周辺の企業活動の活性化に寄与します。
○平成22年度開業予定の東北新幹線七戸駅（仮称）へのアクセス向上を図り、観光面での広域的な連携強化を支援します。

施策名	日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン） （東北管内全域）

施策着手：平成１８年度～

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性・概要」

「日本風景街道」は、地域固有の景観、自然等の資源を有効に活用し、訪れる人と迎える地域の交流による地域コミュニティの形成に資する美しい道路空間形成を実施するための取り組みであり、地域（官民）が主体となって活動するものです。

東北地方においては、豊かな自然と歴史、文化、風景が数多く残存しており、これらを活用した観光振興を図るため、地域固有の魅力を引き出した活動計画を策定し進めていくこととしております。



▲東北における「日本風景街道」取り組みイメージ

【東北の応募ルート】



平成１９年度の予定

○実際に道空間づくりに取組む地域への支援のあり方、地域が主導となった取組を行う上での課題等をもとに新たな仕組みや制度の検討を行い、行動戦略に基づいて全応募ルートの支援を進めていきます。

事業名	みなとオアシス制度の推進 （山形県酒田（さかた）市　他　認定箇所）

事業着手：平成１７年度

事業の必要性・施策の概要

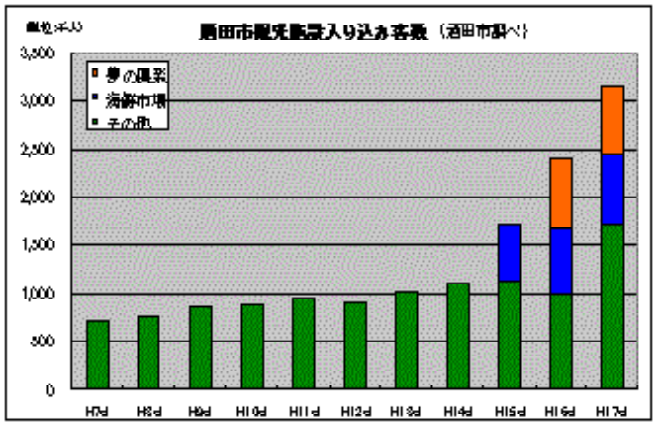
「事業の必要性」

みなとは古くから「ひと」や「もの」が行き交う交流の拠点として生活・産業を支え賑わってきましたが、近年に至り経済活動の拠点としての色合いが強くなり、人々が近寄りがたい空間となっていることが少なくありません。そのような「みなと」において地域住民の声を反映した、人々が憩い、賑わい、潤える空間が今、必要とされています。

「事業の概要」

「みなとオアシス制度」は、交流施設、旅客ターミナル、緑地、マリーナ等のみなとの施設や地域と、住民参加による地域振興につながる取り組みを「みなとオアシス」として認定することで、みなとに「憩い」、「安らぎ」、「交流」、「潤い」、「賑わい」を創出し、みなとを核とした住民主体の地域づくりを、ホームページや広報誌への掲載、各種イベント等で積極的にＰＲする等の支援を行います。

平成１７年度に認定された「みなとオアシス酒田」においては、海の博物館「海洋センター」、スケートボード広場等の子供の遊び場として「船場町緑地・日和山公園」が一体となり市民の憩いの場となっています。また、「みなとオアシス酒田」の中心施設であり新鮮な魚貝類を安く提供する「さかた海鮮市場」と山居倉庫を改装し観光・物販機能を備えた「酒田夢の倶楽」のオープンによって、酒田市の観光客数は大幅な伸びとなっており、観光振興拠点として賑わいが広がっています。



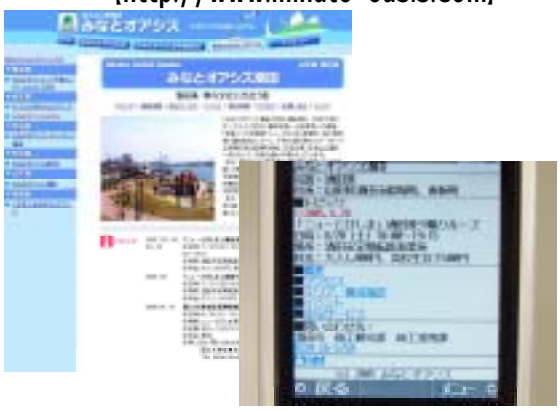
※H17dその他の伸びは市町村合併による対象施設の増による。

▼みなとオアシス酒田認定エリアおよび周辺施設





▼パソコン、携帯電話対応ＨＰによるＰＲ
（季節毎のイベント開催等タイムリーな情報提供）
［http://www.minato-oasis.com］



平成１９年度の予定

○平成１９年度も、新たなエリアを募ると共に、認定エリアの支援を推進します。

事　業　効　果

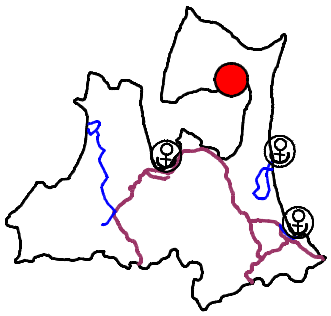
○人々が憩い、賑わい、潤える空間を十分に活用することによって、地域の活性化が図られます。

事業名	大湊(おおみなと)港海岸大湊(おおみなと)地区　侵食対策事業（補助：実施主体　青森県） （青森県むつ市）

事業着手：平成１２年度	完成・供用の目標年度：平成２３年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

既設の直立護岸は昭和４３～４８年度に建設され、基礎部の洗掘、ひび割れ等の老朽化が著しい状況にあります。現在、背後に人家が密集しており防災対策上から老朽化対策が急務となっています。さらに近年、地域住民から海と親しめる豊かな生活空間の復活も求められています。また、天然記念物のコクガンの越冬地でもあることから海岸防護と併せて、「エコ・コースト事業」の導入により生態系など自然環境にも配慮した整備が必要となっています。

「事業の概要」

本事業は、国土保全、人命・財産等の保護とあわせて、海域環境保全を行うため緩傾斜護岸（Ｌ＝９００ｍ）を整備するもので、基礎部分に捨石による浅瀬を形成し、自然石による緩傾斜護岸部分を設け、コクガンの餌となるアマモ・アサオなどの海草の「藻場」としての再生を図ります。



「コクガン」飛来状況

平成１９年度の予定

○緩傾斜護岸の整備を実施し、事業促進を図ります。

事　業　効　果

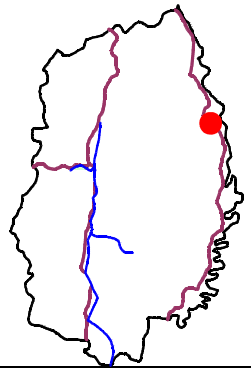
○自然に親しみやすい海辺が創造されます。
○波浪等による侵食被害が解消されます。
　防護面積　・・・・　約１５ha

事業名　田野畑村特定環境保全公共下水道（補助：事業主体　田野畑村（たのはたむら））
（岩手県下閉伊郡（しもへいぐん）田野畑村（たのはたむら））

事業着手：平成１１年度　　**完成・供用の目標年度：平成１９年度供用予定**

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

下水道事業は、生活環境、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等に資するための事業ですが、東北地方における処理人口普及率は55.2%（平成１７年度末）と全国平均（69.3%）を大きく下回っています。

特に人口5万人未満の市町村の普及率は41.1%と低く、未だ下水道を使用していない町村もあるため、早期供用開始に向け効率的・効果的な整備促進が必要となっています。

処理人口普及率(平成17年度末)

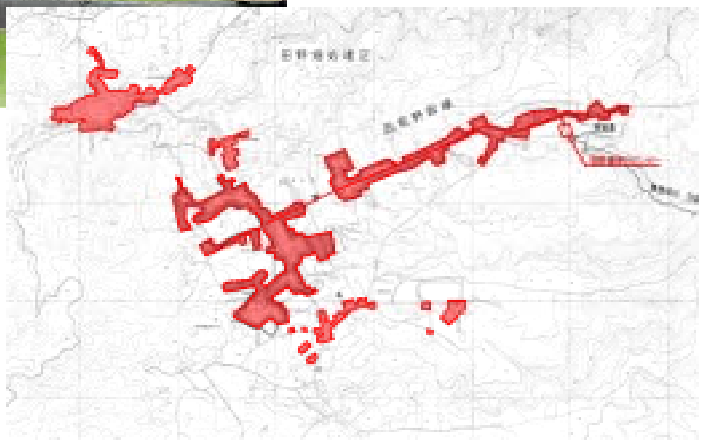
県名	処理人口（万人）	普及率
青森県	71	48.7%
岩手県	64	46.2%
宮城県	171	73.1%
秋田県	59	50.9%
山形県	78	64.4%
福島県	90	42.6%
東北合計	533	55.2%
全国合計	8,802	69.3%

「事業の概要」

田野畑村特定環境保全公共下水道は、事業計画人口は1，０００人、事業計画面積は４５haの事業となっており、汚水処理の普及促進を図ります。



＜（仮称）田野畑浄化センターイメージ＞



＜田野畑下水道処理区域平面図＞

平成１９年度の予定

○平成１９年度供用にむけ、管渠や処理場の整備促進を図ります。

事　業　効　果

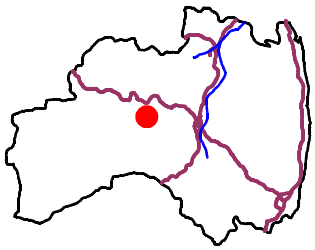
○新たに下水道を使用できる人口が増加し、生活環境の向上や公共用水域の水質改善が図られます。

事業名	猪苗代町公共下水道他　(補助:事業主体　猪苗代町他) (福島県耶麻郡猪苗代町)

事業着手 ： 平成14年度	完成・供用の目標年度:平成18年度完成予定(高度処理施設整備)

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

下水道事業は、生活環境、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全等に資するための事業です。

東北地方は、山や海、川、湖等自然に恵まれた地域です。福島県にある猪苗代湖や裏磐梯の湖や沼は、県のシンボルでもあり、同時に貴重な水や観光資源となっています。現在、下水道整備の整備を図っておりますが湖沼等へ生活排水が流入しています。一度水質悪化が起これば回復が難しいとされています。そこで、通常の下水処理に加え、水質悪化の原因であるチッ素、リンを取り除く高度処理施設を整備してきています。

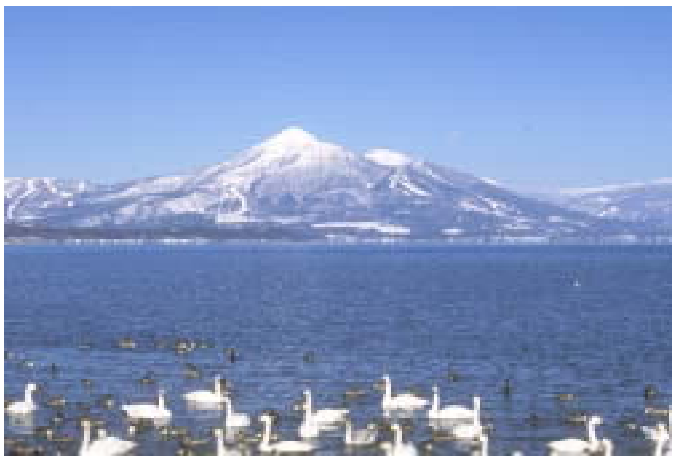
「事業の概要」

湖沼水質高度処理施設整備事業として、平成14年度から着手、平成18年度で高度処理施設整備が終了、平成19年度以降は、引き続き面整備(管渠等)を実施します。



猪苗代湖と磐梯山





冬の猪苗代湖



中ノ沢浄化センター(猪苗代町)

平成19年度の予定

○平成18年度処理場の高度処理が事業完了予定であり、平成19年度は引き続き各処理区内の面整備(管渠等)の促進を図ります。

事　業　効　果

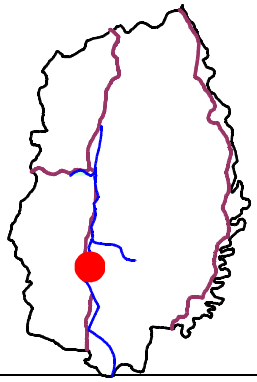
○湖沼等の閉鎖された公共用水域の水質改善が図られます。

事業名	都市計画道路　毛越寺線（補助：事業主体　岩手県） （岩手県平泉町）

事業着手：平成元年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

当該路線は、ＪＲ平泉駅と奥州藤原文化を象徴する遺跡でもある毛越寺を結ぶ幹線道路です。当該地区は、通年にわたり観光客で賑わっているとともに小中学校等文教施設が隣接しており、安心して通行できる歩行者空間の確保が必要とされています。

「事業の概要」

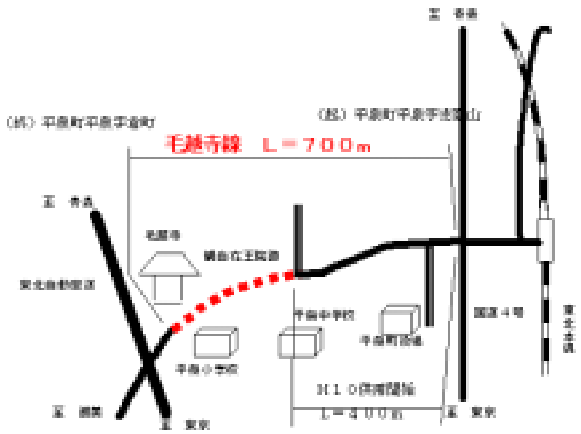
本事業は、国道４号から毛越寺までを結ぶ全長700m（２車線）の街路事業です。当該地区周辺は、世界文化遺産登録にむけ順次環境整備が進められており、当該路線も古都のイメージを残しながら周辺環境に配慮した街路整備を進めています。



＜完成予想図：遠景＞



＜完成予想図：近景＞



＜概略図＞



＜毛越寺大路の喧騒イメージ＞

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、舗装工事等を実施し、事業の完成を目指します。

事　業　効　果

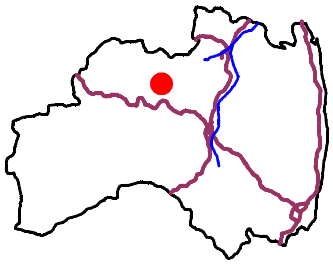
○通学児童、観光客等の歩行者に対し、安全で快適な歩行空間の提供が可能となります。
○魅力的で活力のある市街地の活性化を支援します。

事業名	都市公園整備事業　亀ヶ城公園（補助：事業主体　猪苗代町） （福島県猪苗代町）

事業着手：平成９年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度概成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

猪苗代町は磐梯山や猪苗代湖に代表されるすばらしい自然環境を有し、「猪苗代町の町民憲章」が求める「住みよい町」「美しい豊かな町」「歴史を尊重し文化を育てる町」の実現のため、地域住民の交流拠点となりうる「スポーツ・レクリエーション、自然・歴史・文化体験学習の場」等を形成する公園整備が必要とされています。

「事業の概要」

本公園は、町の中心市街地西部に位置し、スポーツ・レクリエーションの拠点として既に整備されている総合体育館に接続して、自然・歴史・文化を体験する拠点となる「体験学習施設」の整備を行います。

なお、体験学習施設は平成２１年２月に開催される「フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会」のメイン会場としても位置付けられています。フリースタイルスキー世界選手権は、オリンピックに次ぐ規模と権威を持つ２年に一度開催される世界大会で、日本で開催されるのは１９９７年の長野大会以来２度目となります。

全体整備計画図



平成１９年度の予定

○平成１９年度は、「体験学習施設」の整備に着手し、平成２０年１０月の完成を目指します。
○体験学習施設周辺の駐車場、せせらぎ広場等の整備を行います。
【公園全体面積：１７.３ｈａ ，　平成２０年度末供用予定面積：１２.１ｈａ】

事　業　効　果

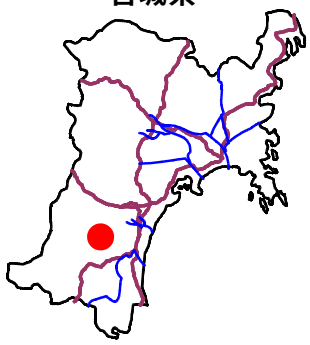
○自然・歴史・文化の体験学習活動が可能となり、新たな地域交流拠点を形成します。
○平成２１年２月に開催される「フリースタイルスキー世界選手権」のメイン会場として利用するとともに、平成２１年以降は、インターハイ等全国の主要大会のメイン会場として利用することとしています。

事業名	国営みちのく杜の湖畔公園整備事業（II期地区草原エリア（直轄）） （宮城県柴田郡川崎町）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県



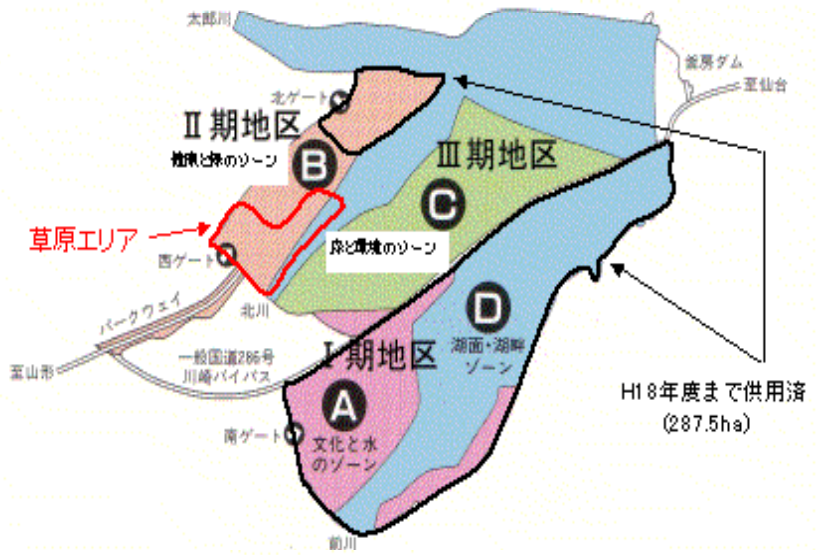
「事業の必要性」

本公園は宮城県柴田郡川崎町に位置する東北地方で唯一の国営公園です。平成17年度の来園者数は過去最高の62.3万人を記録しましたが、現在の来園者の年齢構成は20～30歳代が中心であり、今後中高齢層の利用促進を図っていく観点から、広大な自然環境の中で多様な層の利用者が、健康づくりや体験活動を行うことができる草原エリアの整備を推進し、平成19年度の完成を目指します。

「事業の概要」

健康づくりのための多様なレクリエーション活動（ドッグラン、グランドゴルフ、散策等）が行える草原、水辺の良好な景観を生かした自然体験やボート・カヌー利用の拠点となる河畔広場、身障者スポーツ等が行える多目的グラウンド等からなる草原エリアの整備を実施します。

＜国営みちのく杜の湖畔公園概要図＞



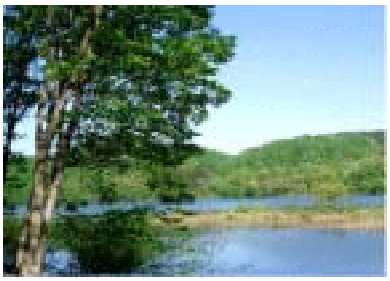
＜草原エリアの利活用イメージ＞



▲ドッグラン



▲グラウンドゴルフ



自然体験



カヌー体験



身障者スポーツ

平成19年度の予定

○平成19年度は、園路広場や休憩所等の整備を実施し、草原エリアの完成を目指します。

事　業　効　果

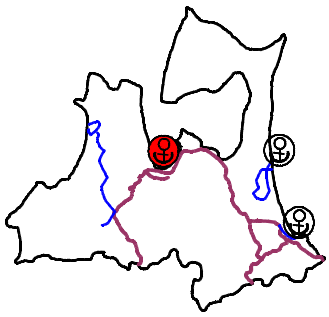
○自然を生かした様々なレクリエーション活動が体験できる場が形成されるとともに、観光振興・地域間の交流・連携等の場として地域活性化に貢献します。

事業名	青森港本港地区橋梁改良事業　（補助：実施主体　青森県） （青森県青森市）

事業着手：平成１４年度	完成・供用の目標年度：平成２５年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



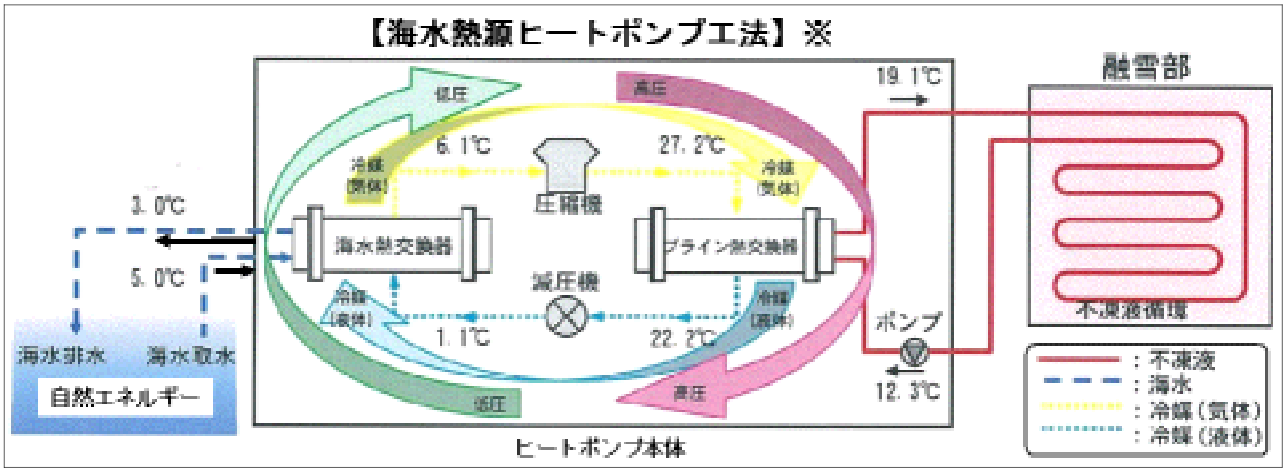
「事業の必要性」

青森市は、全国の県庁所在地の中で唯一、国の特別豪雪地帯に指定される国内外でも有数の豪雪都市であり、冬期間における交通の安全確保が求められています。青森ベイブリッジは、海に面しており路面が凍結し易いため、冬期のスリップ事故防止対策が求められています。

「事業の概要」

本事業はエネルギー資源を効率的に活用し、冬期間のスリップ事故を減少させるため、青森ベイブリッジに海水熱を利用した消融雪施設（L=1，７２１m）を整備し、地球に優しいクリーンエネルギーの活用を推進しています。





※冬期間外気よりも暖かい海水熱を活用し、融雪する仕組みである。これまでの海水散水による消雪対策では、塩害が問題となっていたが、同システムは、取水した海水の熱だけを回収しその熱で温めた不凍液をパイプに通して融雪する。海水は再び海へ戻すため塩害は発生しない上、エネルギー効率が電気熱を利用した融雪より3～5倍も高いクリーンエネルギーである。

平成１９年度の予定

○平成１９年度は、本町方面（下り）の供用を目指します。

事　業　効　果

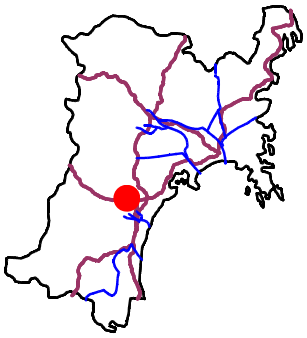
○自然エネルギーを有効活用する事により、経済的に消融雪を行うことが出来ます。
○路面凍結防止により、スリップ事故が解消されます。
　なお、一部供用している沖館方面では、毎年のように発生していた事故が解消されています。

美しい東北の実現　**循環型社会の構築**

事業名	合流式下水道緊急改善事業　（補助：事業主体　仙台市他） （宮城県仙台市他１１市）
事業着手：平成１６年度（仙台市）	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定（仙台市）

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

合流式下水道では、大雨時において未処理の汚水が雨水とともに公共用水域に排出され、水質汚濁や悪臭の発生、公衆衛生上の観点から大きな問題となっており、合流式下水道の改善対策を緊急的に実施することが必要となっております。

「事業の概要」

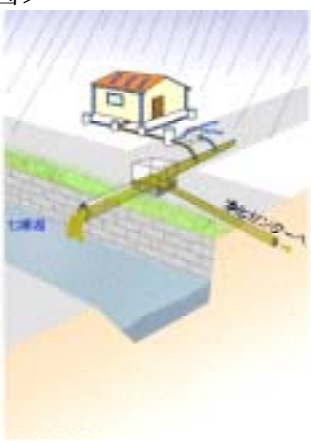
大雨時の越流水による夾雑物（汚水の中に混入しているゴミ等）・水質改善対策として、雨水吐にスクリーンを設置したり、越流水量の抑制対策として雨水滞水池・雨水貯留管・雨水浸透桝などを整備します。

〔東北における実施市名〕
青森県（弘前市、八戸市）、岩手県（盛岡市、釜石市）、宮城県（仙台市）、秋田県（秋田市、能代市）、山形県（酒田市）、 福島県（福島市、郡山市、いわき市、南相馬市）

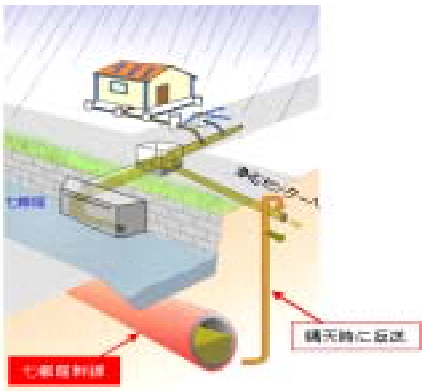
＜仙台市七号堀イメージ図＞



（雨天時流出状況）



七郷堀幹線は，七郷堀の真下に大きな下水管をつくり，雨天時に七郷堀に流れる下水を貯留するものです。降雨初期の高濃度下水が流れ出なくなり，七郷堀の環境を改善します。貯留した下水は晴天時に浄化センターへ返送し，処理します。



古くから下水道が整備された仙台市中心部では，汚水と雨水を一つの管で流す合流式下水道が採用されています。合流式下水道では，雨天時に浄化センターに送りきれない下水が七郷堀に流出する構造になっていますが，近年都市化が進み，汚水量や雨水流出量が増え，七郷堀に流れ出る下水の量や水質が問題となってきています。





浸透雨水ます

平成１９年度の予定

○七郷堀雨水幹線、雨水浸透桝設置等の整備を促進します。

事　業　効　果

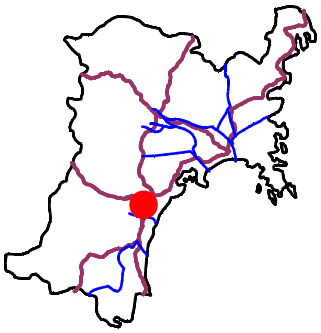
○合流式下水道緊急改善事業を実施し、汚濁負荷・夾雑物の削減を図り、東北地方の水環境保全に寄与します。

美しい東北の実現　**循環型社会の構築**

事業名	仙台市営西中田（にしなかだ）住宅ストック総合改善事業（補助：事業主体　仙台市）（宮城県仙台市）
事業着手：平成１６年度	完成・供用の目標年度：平成２１年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

仙台市は、コンパクトな市街地の形成を目標としており、鉄軌道を基軸としたまちづくりを推進しています。公的賃貸住宅においてもこの基本的方針により、中心部や鉄軌道沿線への整備を進めるとともに、市内に散在する市営住宅団地の再編も進めています。

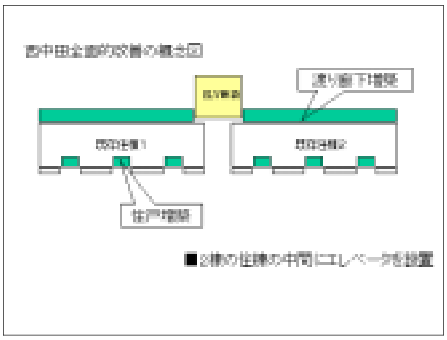
市営西中田住宅は、ＪＲ南仙台駅に近接する利便性の高い立地条件であることから、全面的改善により高齢者の単身・夫婦世帯など多様な世帯構成に的確に対応できる多様な間取りの公営住宅の供給を図ります。

「事業の概要」

西中田住宅団地内の全１３棟のうち、８棟について計画的に全面的改善事業を進めています。対象の８棟は、隣接する２棟を１ブロックとして中間にエレベータを設置し、各住戸へのアクセスは渡り廊下を設置することでバリアフリー化を図っています。また、既存ストックを有効に活用するという地球環境に配慮した事業計画です。



＜位置図＞





平成１９年度の予定

○平成21年度の完成を目指します。

事　業　効　果

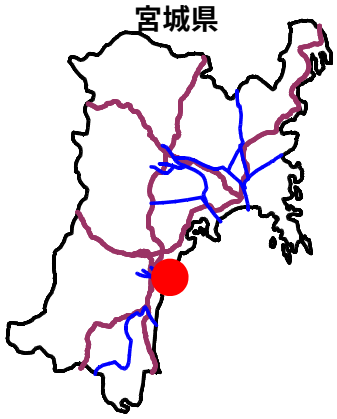
○既存ストックを有効活用し、コスト縮減を図ります。
○様々な間取りの市営住宅を供給することにより、多様な世帯構成に対応します。
○バリアフリー化、耐震化を促進し、安全安心な公営住宅を供給します。

魅力ある都市づくり

事業名	名取川水系直轄総合水系環境整備事業（広瀬川タウンモビリティ）（直轄） （宮城県仙台市）

事業着手：平成17年度	完成目標年度：平成21年度完成予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

河川利用の中心部に位置する広瀬橋・長町地区周辺の道路及び歩道では、バリアフリー整備が施されており、河川への接続も含めてバリアフリーのネットワークを広げるためのタウンモビリティ※構想が地元住民から要求されています。

「事業の概要」

本事業は、タウンモビリティが取り組まれている東北最大の市街地において、道路・まちのみならず広瀬川を含めたバリアフリーネットワークの拡充を図ることを目的に、親水性、利用環境向上のための施設整備を地域住民と一体となって進めるとともに、都市計画や道路事業との連携を図り『かわまちづくり』の推進を目指します。



平成19年度は、障がいを持つ方、高齢者でも気軽に水辺に近づき、水の流れを感じられるような施設整備を実施します。【低水護岸・親水スロープ】



【将来の整備目標】
・スロープのバリアフリー化
（勾配の緩和、通路の拡幅）
・階段の改善
（手摺の設置、勾配の緩和）
等





※【タウンモビリティとは】

高齢者や障がい者はもちろん、誰もが安心していつでも、どこへでも 出かけることができる「人にやさしいまちづくり」の実現に向けた取り組みです。

平成19年度の予定

○平成19年度は、低水護岸・親水スロープの整備を実施し事業の推進を目指します。

事　業　効　果

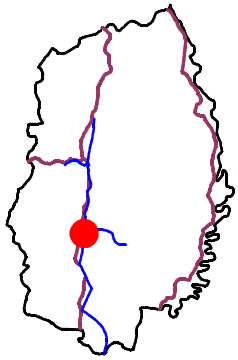
○バリアフリーによる施設整備を実施し親水性を高めることで、高齢者や障がい者でも水辺に近づくことができます。
○地域住民から整備のための意見を頂くなど一体となって整備を進めることで、川への関心を高めることができます。

魅力ある都市づくり

事業名	一般国道4号　花巻東（はなまきひがし）バイパス（直轄） （岩手県花巻市）
事業着手：昭和62年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



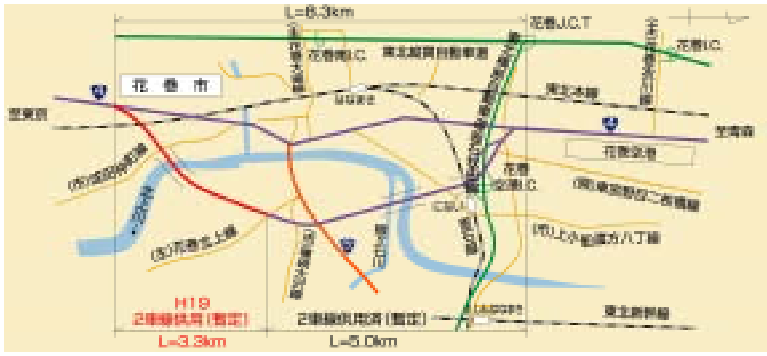
「事業の必要性」

花巻市を縦断する現国道4号は花巻市の市街地に位置し、近年の沿道開発や交通量の増加により速度低下や慢性的な交通渋滞が発生しています。

「事業の概要」

花巻東バイパスは、花巻市街地の交通の円滑を図るとともに、東北横断道釜石・秋田線や花巻空港アクセス道との直結及び東北新幹線新花巻駅へのアクセス性の向上により高速体系の一翼を担うことを目的とした延長8．3kmのバイパス事業です。

花巻東バイパスは、平成18年度までに延長5．0kmを暫定2車線部分供用しており、平成19年度の全線供用を目指し、残り3．3kmについて事業展開中です。花巻東バイパスの全線供用により、花巻市街地の交通分散を図ります。



▲　位　置　図



▲花巻市内の混雑状況



▲花巻東バイパスを上空から望む



▲花巻空港付近を上空から望む

平成19年度の予定

○花巻市山の神（やまのかみ）～高木（たかぎ）間L=3.3kmにおいて、舗装工事等を実施し、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

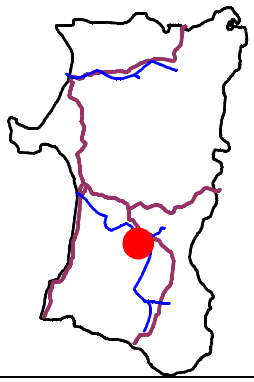
○現道の交通量がバイパスに転換し、交通混雑の緩和、沿道環境の改善が図られます。また花巻空港、東北（縦貫・横断）自動車道へのアクセス性が向上し、都市交通の円滑化が図られます。

魅力ある都市づくり

事業名	一般国道１３号　大曲（おおまが）バイパス　（直轄） （秋田県大仙（だいせん）市）
事業着手：平成１１年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度全線完成供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



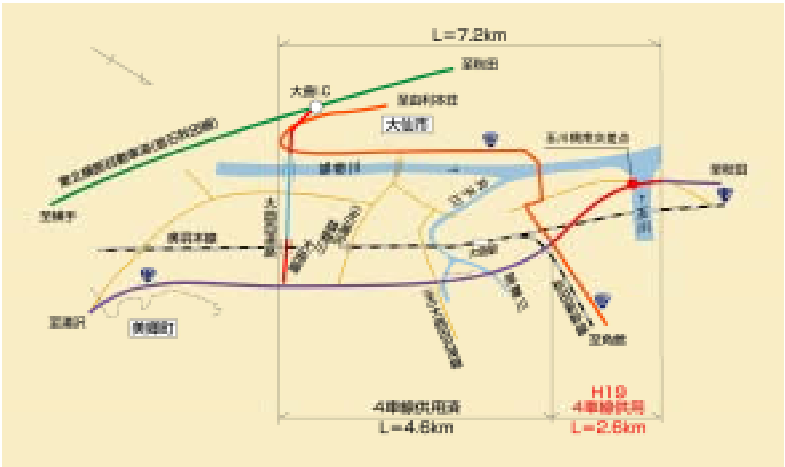
「事業の必要性」

一般国道１３号は、福島市を起点として山形市、新庄市、湯沢市、横手市、大仙市等の主要都市を経て秋田市に至る総延長３１４．６ｋｍの主要幹線道路として重要な役割を果たしています。

大仙市を通過する大曲バイパスは、中心市街地部の交通環境を改善する目的で計画され、平成５年に２車線暫定供用しました。しかしながら、郊外型ショッピングセンター等の出店、地域間交流の増大等により交通量が増し、速度の低下、渋滞の発生等幹線道路としての機能が低下しています。

「事業の概要」

大曲バイパスはこれらの問題を解消し、また、秋田県で整備中の「地域高規格道路　大曲西道路」と連携して「秋田自動車道　大曲IC」へのアクセス性の向上及び既設橋梁の耐震補強を図り、より一層の地域活性化の支援と地震時等による被災時の円滑な救急・救援活動や緊急物資の輸送、復旧活動の支援等を図る事などを目的とした延長７．２ｋｍの４車線化事業です。



▲位　置　図



▲整備が進む大曲バイパス



▲玉川橋南交差点渋滞状況

平成１９年度の予定

○玉川（たまがわ）橋の耐震補強を継続実施するとともに、舗装及び付属施設工事を実施し、全線完成供用を図る予定です。

事　業　効　果

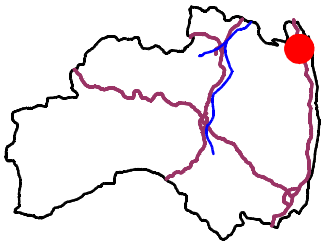
○地域高規格道路「大曲西道路」と一体になった整備を行うことにより、大曲ＩＣおよび大仙市街地とのアクセス性が向上します。

魅力ある都市づくり

事業名	一般国道6号　相馬バイパス　(直轄) (福島県相馬市～相馬郡新地町)
事業着手：昭和62年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

一般国道6号の相馬市街地部は、福島県相双地方生活圏で最も交通混雑が発生しているほか、沿道騒音が要請限度を超過しており、早急な対策が求められています。さらに常磐自動車道(仮)相馬ICから重要港湾相馬港及び相馬中核工業団地へのアクセス性向上が求められております。

「事業の概要」

相馬バイパスは、主要渋滞ポイントの塚ノ町交差点周辺等の渋滞緩和や交差点事故の減少、沿道騒音等の改善を図るとともに、物流及び観光の拠点の連携強化を目的とした延長9．9kmのバイパス事業です。昨年度末までに、主要地方道原町海老相馬線から一般国道113号までの5．2kmが供用済みで、残り4．7kmについて事業を行っています。



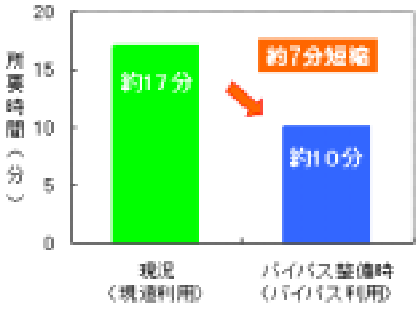
▲位　置　図



▲塚ノ町交差点の渋滞状況

相馬バイパス全線供用の効果

相馬市街地の通過時間が短縮されます



相馬市日下石～新地町小川間の所要時間

※現況はH18プローブデータ



▲駒ヶ嶺高架橋から現6号方向を望む

平成19年度の予定

○現国道6号～主要地方道原町海老相馬線及び国道113号から現国道6号について橋梁工事及び付属施設、舗装工事を実施し、全線暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

○相馬市街地の渋滞緩和や、より安全で信頼性の高い交通網の確保が図られます。
○相馬市街地の通過時間が短縮されます。(17分→10分　約7分短縮)

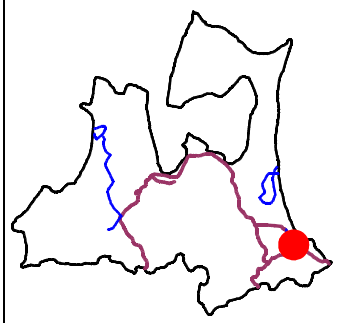
魅力ある都市づくり

事業名	一般国道45号　八戸(はちのへ)バイパス（直轄） （青森県八戸(はちのへし)市）

事業着手：昭和40年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線完成供用予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



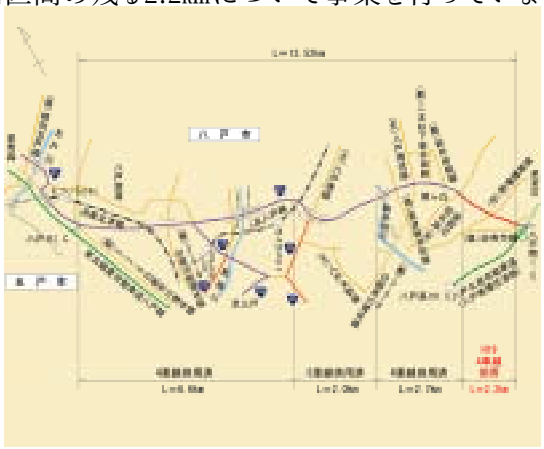
「事業の必要性」

本路線は、八戸市内の交通混雑の緩和や沿道環境の改善、周辺開発の支援を目的に、昭和40年に事業着手し、昭和59年度までに全線暫定2車線で供用しました。その後、八戸市街化の拡大に伴う交通量の増大や沿道開発の進展により主要幹線道路としての機能が低下したため、昭和49年度から多車線化事業に着手し、これまで、延長約11.3kmの多車線化を完了しています。

また、地域活性化促進道路事業として、21世紀活力圏創造事業や国際交流インフラ推進事業においても整備強化路線として位置づけられ、地域の産業経済の活性化や地域振興に寄与する重要路線です。

「事業の概要」

八戸バイパスは、主要渋滞ポイント「大開(おおびらき)交差点」の渋滞緩和や沿道環境の改善、三次救急医療施設「八戸市民病院」へのアクセス向上による救急医療体制の強化等を目的とした延長13.5kmのバイパスで、起点側区間の残る2.2kmについて事業を行っています。



▲ 位　置　図



▲ 大開(おおびらき)交差点の渋滞状況
- 最大渋滞長：500m
- 最大通過時間：　3分
- 最大渋滞時刻：14時30分(休日)



▲ 旭ヶ丘交差点より起点側を望む



平成19年度の予定

○八戸市大字妙(みょう)～市川町(いちかわまち)間L=2.2kmにおいて、舗装工事等を実施し、平成19年度の全線完成供用を図る予定です。

事　業　効　果

○多車線化により交通容量が増加し、渋滞ポイント「大開交差点」の渋滞解消を含めた、当該区間の交通混雑が緩和し、八戸以南、主に階上町(はしかみちょう)との時間短縮が図られ、円滑なモビリティが確保。

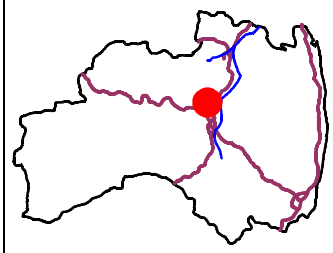
○国道45号に接続する（主）八戸環状線沿いにある三次救急医療施設である「八戸市民病院」へのアクセスが向上し、救急医療体制が強化。

魅力ある都市づくり

事業名	一般国道4号　本宮拡幅（直轄） （福島県安達郡本宮町～大玉村）

事業着手：昭和53年度	完成・供用の目標年度：平成19年度全線完成供用予定

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

福島市と郡山市間を結ぶ国道4号で唯一の2車線区間で、交通のボトルネックとなっており、混雑度が1．72と高く、渋滞損失時間が高くなっています。

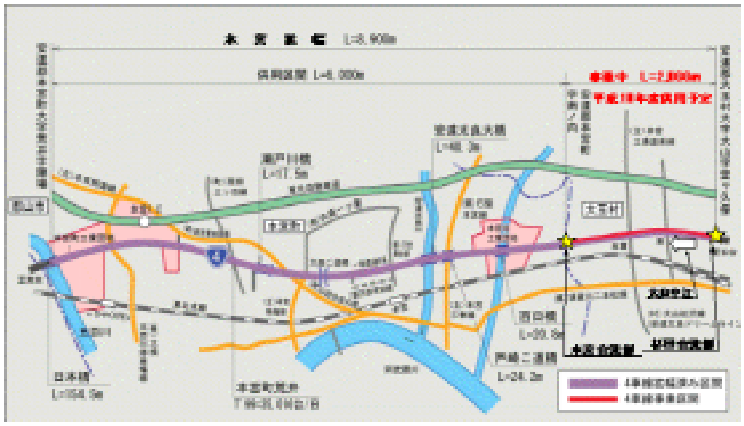
4車線から2車線に絞られる本宮合流部や杉田合流部では、渋滞が発生しており、早急な対策が求められています。

また、この区間の交通事故は増加傾向を示しており、早急な対策が求められています。

「事業の概要」

本宮拡幅は、一般国道4号福島県安達郡本宮町内、大玉村内の渋滞解消及び交通安全の確保、物流効率化、地域間交流の促進を目的とした延長8．9kmの4車線拡幅事業です。

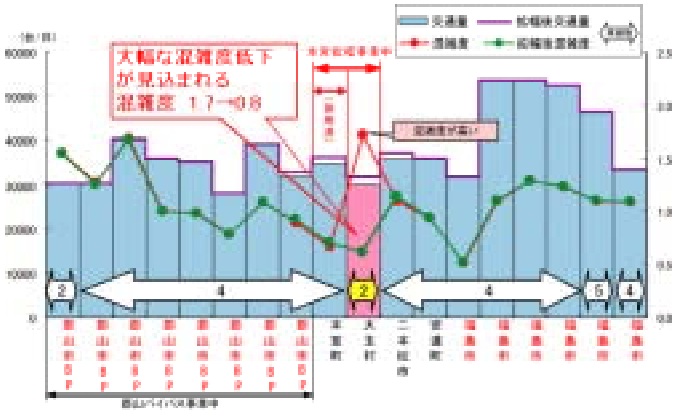
平成16年度までに本宮町内の6．0kmについて完成供用を図っており、残る大玉村内の2．9kmについて事業を行っています。



▲　位　置　図



▲本宮合流部より終点方向を望む



▲国道4号郡山市福島市間の交通量・混雑状況



▲大玉村大山中江付近の渋滞状況

平成19年度の予定

○平成19年度は、大玉村内の道路改良及び舗装工事を実施し、全線完成供用を図る予定です。

事　業　効　果

○渋滞損失時間の減少（本宮拡幅事業区間全体：H19供用時点）
　281万人・時間／年　→　154万人・時間／年　　127万人時間／年（45％削減）
○交通事故の削減（事業中区間）
　27件／年　→　17件／年　　10件／年（37％削減）

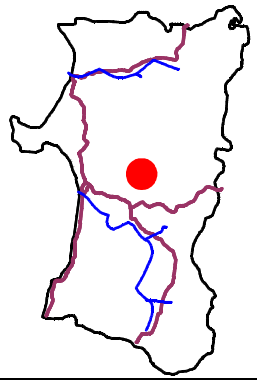
魅力ある都市づくり

事業名	盛岡秋田道路　一般国道46号　角館バイパス（直轄） （秋田県仙北市）

事業着手：平成9年度	完成・供用の目標年度：平成19年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県

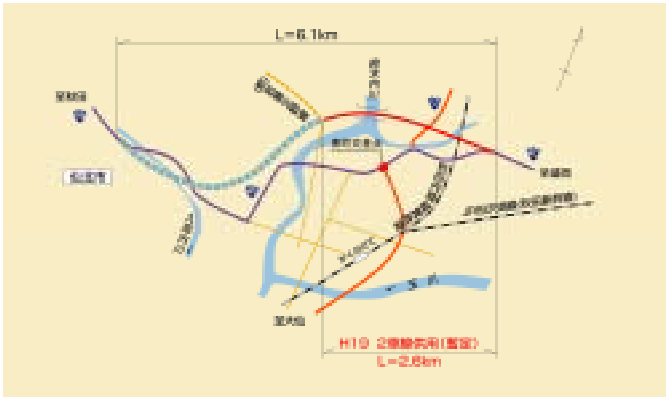


「事業の必要性」

一般国道46号は、盛岡市を起点として秋田市に至る主要幹線道路です。旧田沢湖町、旧角館町を通過する現道は、直角曲がりの存在や幅員狭小などにより、特に冬期の安全安心な交通環境が求められています。また、さくら祭り期間といった観光交通の集中による交通混雑、武家屋敷の存在や田沢湖など観光地へのルートでもあり、交通量の増加により著しい渋滞が発生していることから、沿道環境と交通環境を改善するため、一般国道46号のバイパス整備が強く期待され、早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

角館バイパス事業は、秋田県と岩手県の地域間交流の促進、交通隘路及び交通混雑の改善、観光産業への支援などを目的として整備を進められています。平成19年度は、仙北市田沢湖羽根ヶ台から角館町小勝田の県道日三市角館線までのL=2．6kmの部分暫定供用を目指し整備を行っています。



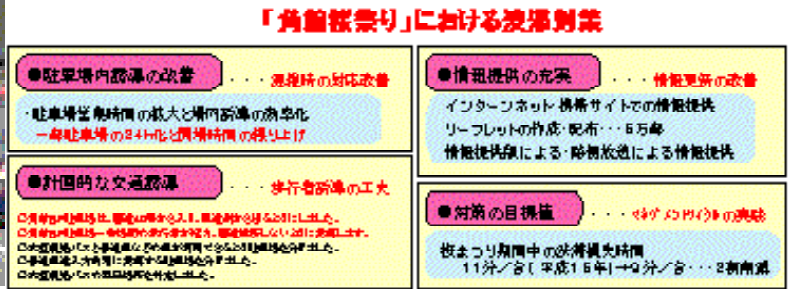
▲　位　置　図



▲角館バイパスの整備状況



▲表町交差点の渋滞状況



▲ソフト的対策による渋滞緩和施策の実施

平成19年度の予定

○仙北市田沢湖羽根ヶ台～角館町小勝田の県道日三市角館線までのL=2．6kmについて、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

○秋田県と岩手県の地域間交流の促進
○交通隘路（直角曲がり）の解消
○観光交通の円滑化と観光産業支援
○通過交通排除による現道の交通混雑緩和

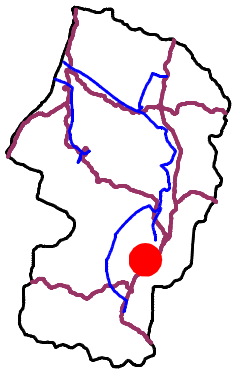
魅力ある都市づくり

事業名	一般国道１３号　上山バイパス（直轄） （山形県南陽市（なんようし）～山形県山形市（やまがたし））

事業着手：昭和５４年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度部分暫定供用予定

事業の必要性・事業の概要

山形県

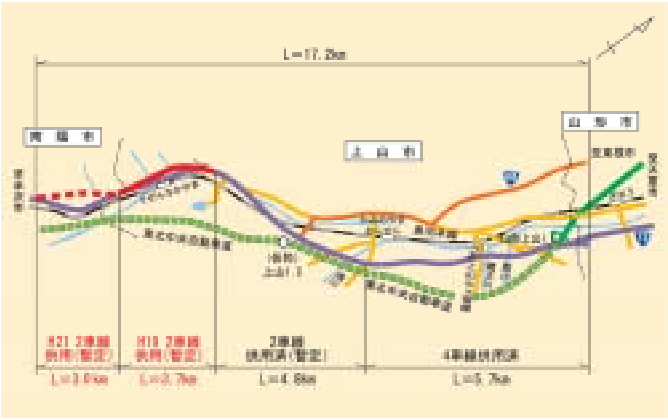


「事業の必要性」

一般国道１３号における当区間は、幅員が狭く、大型車両等の通過交通が多いため、沿道に暮らす住民の安全性の低下や生活環境の悪化が大きな問題となっています。また、当区間には主要渋滞ポイント「中川交差点」「川口交差点」があり、朝夕のラッシュ時をはじめ渋滞が発生しており、通勤や産業活動に支障をきたしていることから、国道としての機能低下が著しく、早急な整備が必要となっています。

「事業の概要」

上山バイパスは、国道１３号の渋滞解消、沿道環境の改善、災害・事故時の迂回路確保を目的とした延長17.2kmのバイパスです。上山市川口～山形市半郷間10.5kmについては供用済み、残る6.7km区間について事業を行っています。





▲中川交差点の渋滞状況



▲バイパス整備による所要時間短縮



▲整備が進む上山バイパス
（上山市元中山付近より終点方向を望む）

平成１９年度の予定

○上山市中山～上山市川口間L=3.7kmにおいて、土工・舗装工事を実施し、部分暫定供用を図る予定です。

事　業　効　果

○国道１３号の渋滞緩和（主要渋滞ポイント２箇所の渋滞解消）
○騒音や振動等の低減による沿道環境の改善
○災害・事故等緊急時の迂回路確保
○冬期走行環境改善及び歩行者の安全性確保

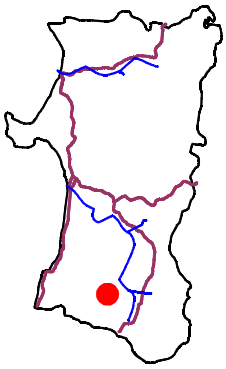
魅力ある都市づくり域づくり

事業名	まちづくり交付金「西毛音内地区」 （秋田県羽後町）

事業着手：平成１６年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



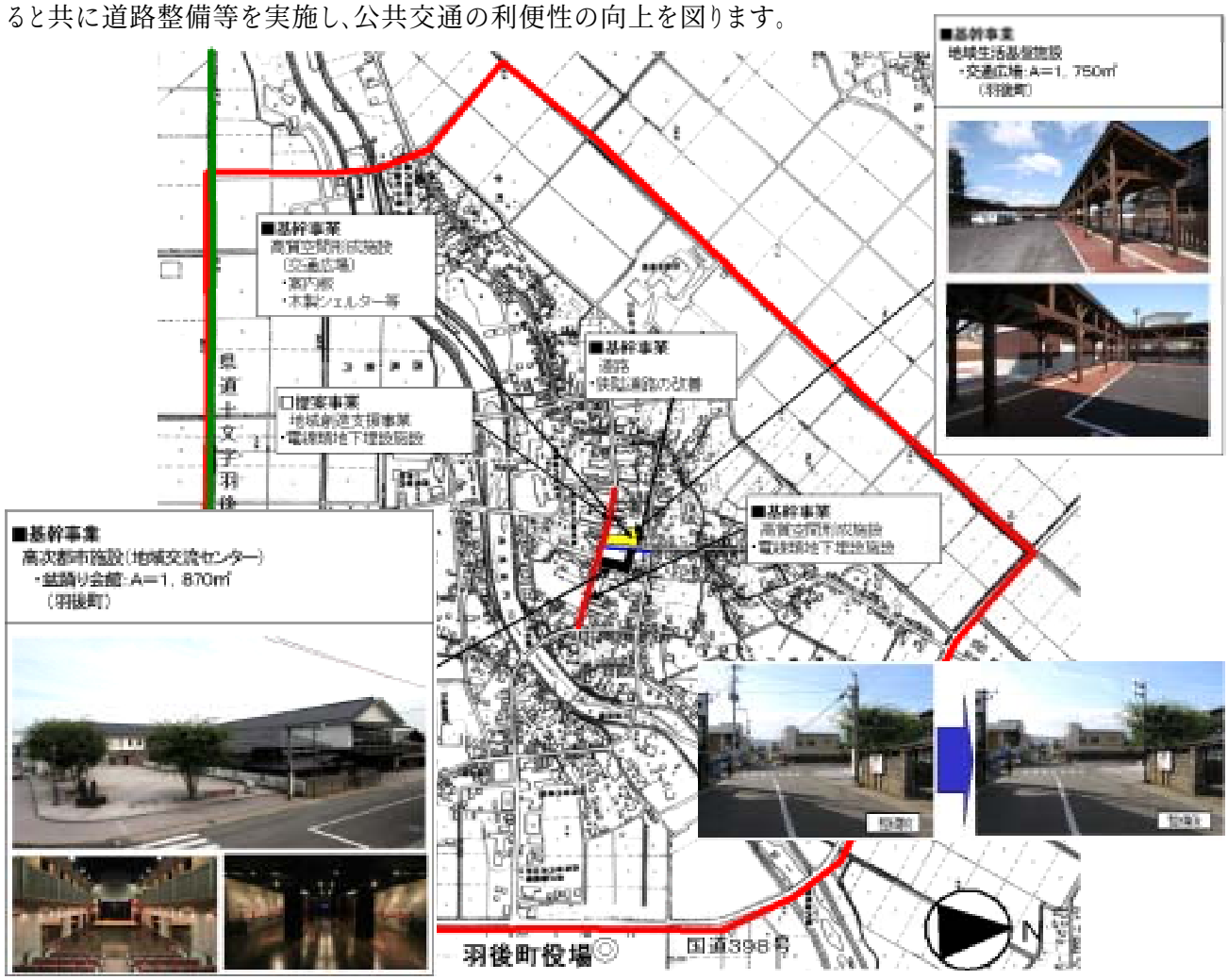
「事業の必要性」

西毛音内地区は、古くより形成された商業地域であるとともに行政、医療、教育等の施設が集積した町の中心的な役割を担う地区です。又、700年の歴史を持つ、「西毛音内盆踊り」の伝承の地でもあります。

盆踊りの観光客は年々増加していますが、期間以外は、町を訪れても西馬音内盆踊りについて知り、体感することの出来る場がない現状にある為、「西馬音内盆踊り」の伝承文化の継承に向けた基盤整備を図る必要があります。又、盆踊りのメイン会場である通りは歩道のない車道のみの道路となっており、歩行者の安全の確保と来町者への交通利便性の向上を目指す必要があります。

「事業の概要」

歴史・文化・資源を活用しながらにぎわいのある交流拠点の形成を図る為、通年観光によりにぎわいのある交流拠点を目指し、質の高い歴史空間まちづくりを進め、盆踊り会館を核とした歴史・観光施設整備を実施。又、多くの観光客にやさしいまちづくりとして、案内板・照明施設設置等により観光客のスムーズな誘導を図ると共に道路整備等を実施し、公共交通の利便性の向上を図ります。



平成１９年度の予定

○平成19年度は、電線類地下埋設や案内板の設置を行い事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○盆踊り練習や創作活動を通じて地域住民の交流の拡大に寄与します。
○交流拠点と観光拠点とのネットワークにより観光客入込数の増加が期待されます。
○盆踊り会館・交通広場の整備による通年観光の確立が期待されます。

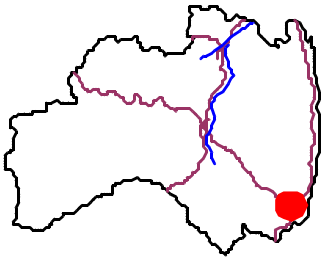
魅力ある都市づくり域づくり

事業名	まちづくり交付金「いわき駅前地区」 （福島県いわき市）

事業着手：平成16年度	完成・供用の目標年度：平成20年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

福島県



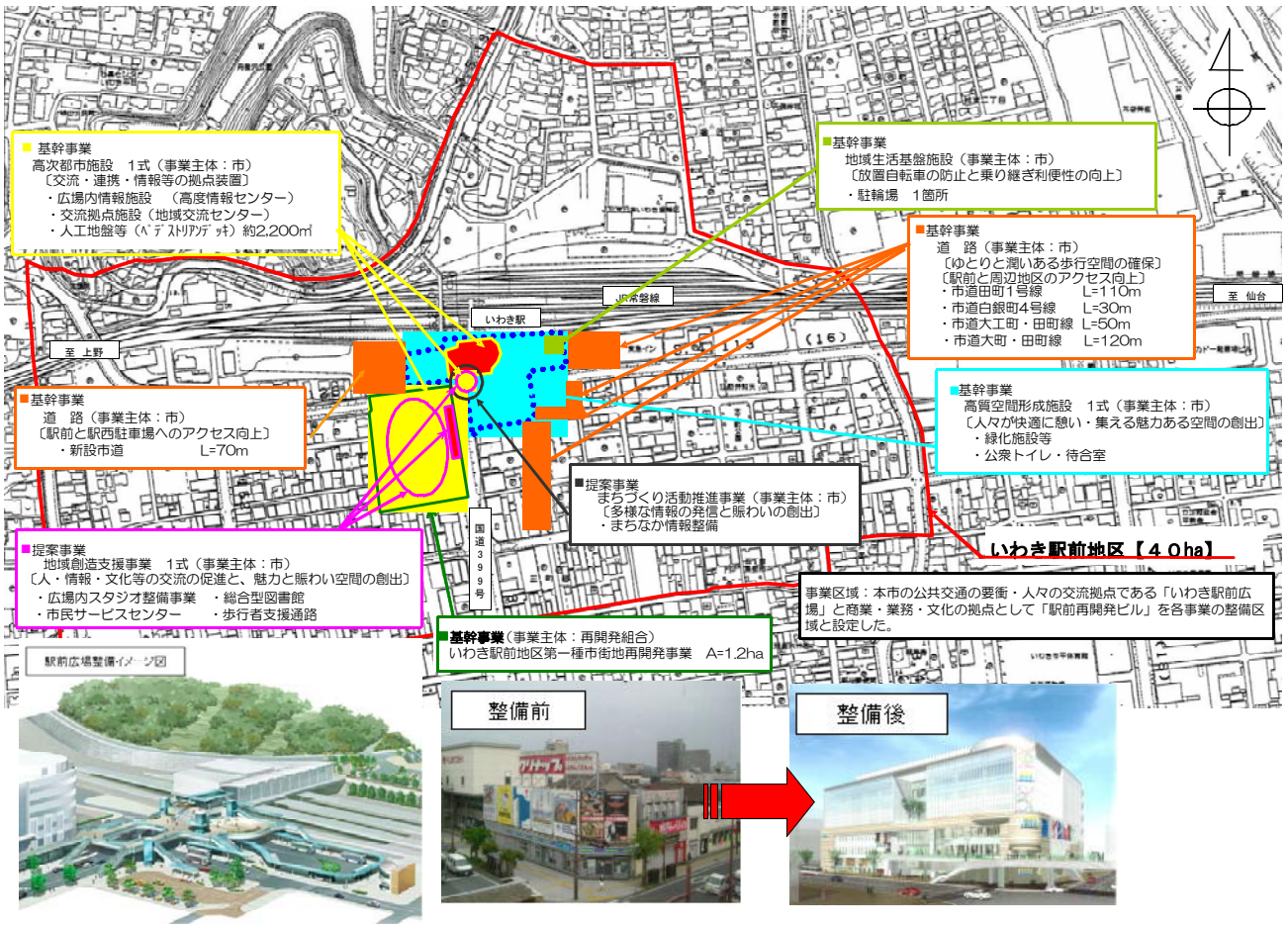
「事業の必要性」

公共交通の要衝であり、商業・業務施設及び公共施設が相当程度集積しているいわき駅周辺は市街地の空洞化が著しく、交通結節機能やバリアフリー化が不十分で良好な都市環境空間に乏しい状況にある為、いわき圏域の発展をリードする都市・生活文化の交流・創造・発信拠点づくりを基本目標とし、人々が「学び」「創り」「遊び」「交流」する拠点の提供や潤いと安らぎを与える「都市空間の形成」などによる中心市街地の再生を図る必要があります。

「事業の概要」

「いわき駅前地区第一種市街地開発事業」による商業施設との複合機能として、総合型図書館、交流拠点施設、市民サービスセンター等の拠点整備を実施します。

又、高度情報センター、まちなか情報などを整備し、駅前広場の緑化、来街者をもてなす人工滝などの周景施設整備を行うとともに駅前広場の拡張、南北を結ぶ自由通路整備やバリアフリー化への対応による交通環境の整備・改善を実施します。



平成19年度の予定

○平成19年度は駅前再開発事業の完成を図ります。

事　業　効　果

○市民生活の交流・連携、情報等の機能強化を図り、拠点としての賑わいの創出に寄与します。
○商業機能の再生のほか、地元産業の育成、教育文化・公共施設の集積等により、中心市街地の魅力の再生に寄与します。
○交通結節機能の強化、高齢化社会等に対応したバリアフリー推進により都市環境の改善に寄与します。

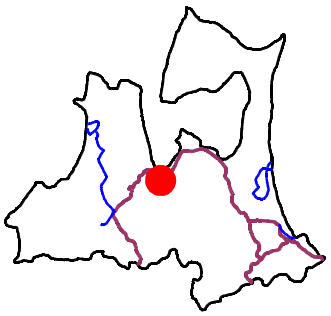
魅力ある都市づくり域づくり

事業名	まちづくり交付金「新幹線新青森駅・青森駅周辺地区」 （青森県青森市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



「事業の必要性」

平成24年度開業予定の新幹線新青森駅は中心市街地から西4kmの位置に整備されることから、その開業効果を中心市街地の活性化に繋げる為、青森駅のある中心市街地を賑わい機能を担う地区、新幹線駅が整備される石江地区を広域交流拠点としての玄関口と位置づけ、各拠点の機能分担と連絡強化を図りながら、利便性や効率性などに優れたコンパクトシティの形成を目指す必要があります。

「事業の概要」

地域交流センター・観光交流センター整備と港町青森を記憶づける青函連絡船を活かした港の歴史伝承施設整備を行い、中心市街地活性化を図ります。新幹線新青森駅及び青森駅利用者の利便性向上の為、駅前広場・青森駅駐輪場整備を行うとともに、緑豊かな「青森らしい」景観形成に向けた駅前公園整備や駅前大通線の高質空間形成を図ります。



平成19年度の予定

○平成19年度は、新青森駅周辺地区の公共用地取得を実施し、事業の進捗を図ります。

事　業　効　果

○青森駅周辺の拠点性・集客力の強化と様々な施策との連携を図る事によって、中心市街地の歩行者数の増加を図り、地区全体の賑わい創出に寄与します。
○新幹線開業効果を活かし、広域的な情報発信等により年間を通じた観光客の増加が期待されます。
○新青森駅及び青森駅の案内機能・交通環境の向上と良好な景観形成により、駅利用者の利便性・快適性の向上に寄与します。

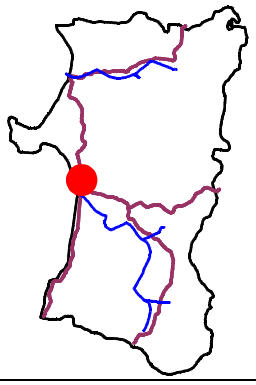
魅力ある都市づくり

事業名	都市計画道路　秋田中央道路（補助：事業主体　秋田県） （秋田県秋田市）

事業着手：平成９年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

秋田駅東西間を結ぶ道路は、駅南北の２箇所しかなく、鉄道や河川を横断するこの２箇所の交通渋滞は慢性的で、通勤通学時や積雪時での渋滞が深刻な状態です。

また、秋田自動車道および秋田空港とのアクセス道路としても利用されることから非常に重要な路線として位置付けられています。

「事業の概要」

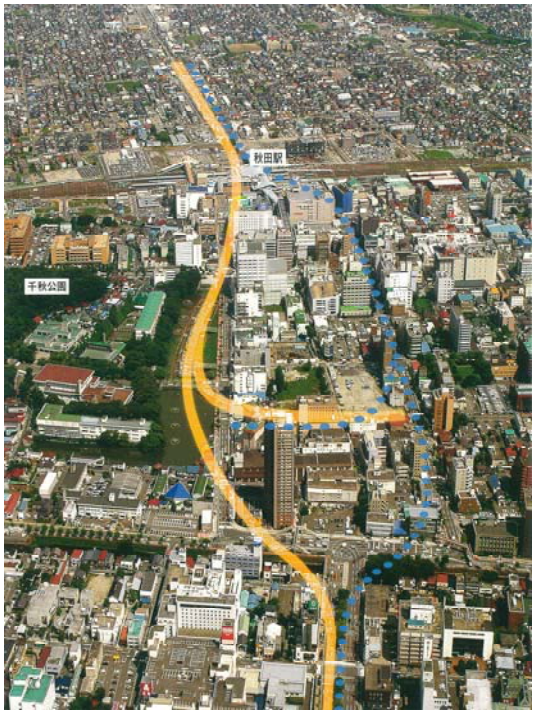
本事業は、駅東西にかけてトンネル構造で横断し中間地点のお堀部から出口が１箇所設けられた全長2,550mの自動車専用道路を整備する街路事業です。

トンネル掘削は周辺環境への影響を極力少なくすることからシールド工法を採用し進められています。

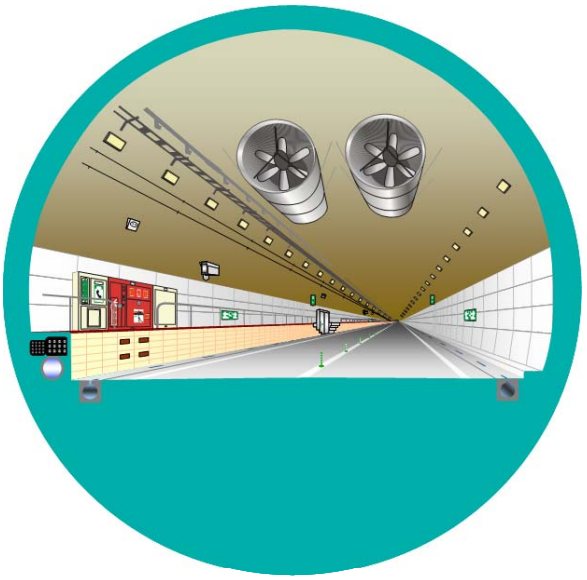
秋田中央道路　L=2，550m



＜位置図＞



＜駅上空写真＞



＜完成イメージ＞

平成１９年度の予定

○平成19年度の若杉国体開催に向け、換気所工事等を推進し事業の完成を目指します。

事　業　効　果

○秋田駅東西間の慢性的な交通渋滞が緩和されます。
○秋田市中心部と秋田自動車道および秋田空港とのアクセス機能が向上します。
○中心市街地の活性化を支援します。

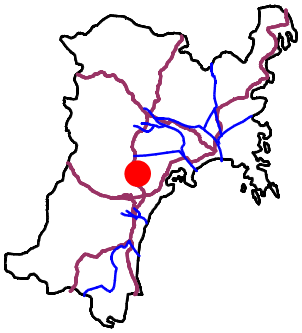
魅力ある都市づくり

事業名	都市計画道路　北四番丁大衡線（補助：事業主体　仙台市） （宮城県仙台市）

事業着手：平成10年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

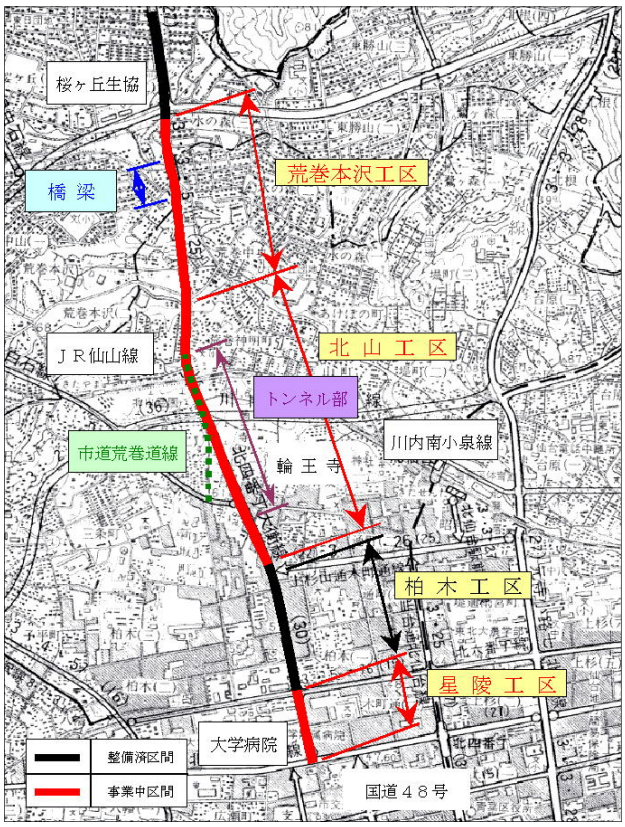


「事業の必要性」

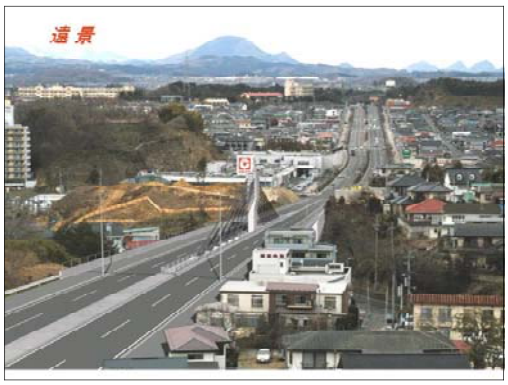
当該路線は、仙台市の都市骨格形成に資する3環状12放射道路の1路線で、仙台市都心部から北部住宅地・工業流通団地を経由し、隣接の大和町をとおり大衡村に至る放射線に位置づけられています。また、国道4号及び北部へ向かう都市計画道路として唯一供用済み路線である元寺小路七北田線のバイパス的機能も有している重要路線です。

「事業の概要」

本事業は、神社仏閣を避けたトンネル（L=629m(上り),L=843m(下り)）と、急峻な地形を橋梁（L=111m）で計画した、全延長2,837m、4車線の街路事業です。4工区に分け整備を進め、起点側の星稜は中心市街地における快適性に考慮し、電線共同溝の整備も併せて行います。



＜位置図＞



＜完成予想図：荒巻本沢工区＞



＜完成予想図：北山工区起点側トンネル坑口＞

平成19年度の予定

○平成19年度は、起点側の星稜工区において舗装工を実施し完成を目指します。終点側の北山、荒巻本沢工区においてはトンネル掘削・道路改良等の工事を推進します。

事　業　効　果

○主要渋滞ポイント4箇所（市名坂交差点、南中山1丁目南交差点、荒巻中央交差点、青葉町交差点）の渋滞が緩和されます。
○都市内における無電柱化の推進による都市防災、安全性・景観性の高い道路網形成に寄与します。

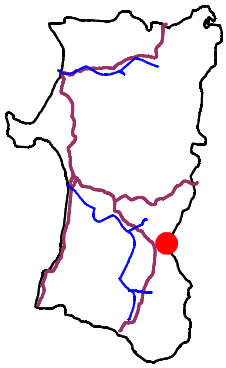
魅力ある都市づくり

事業名	街なみ環境整備事業　「六郷中央地区」（補助：事業主体　美郷町） （秋田県仙北郡美郷町）

事業着手：平成15年度	完成・供用の目標年度：平成23年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



「事業の必要性」

当地区は秋田県南商業中心地として栄え、中世より30数ヶ寺が集められた宗教都市として発達し、豊富な「清水」を利用した造り酒屋や呉服商家のある旧街道筋は、昔ながらの風格を残しています。しかし、これらの建物も老朽化やライフスタイルの変化により、建て替えや改修により宿場町の風情は徐々に失われつつあり、往時の風格と潤いのある街なみの復活が課題となっています。

「事業の概要」

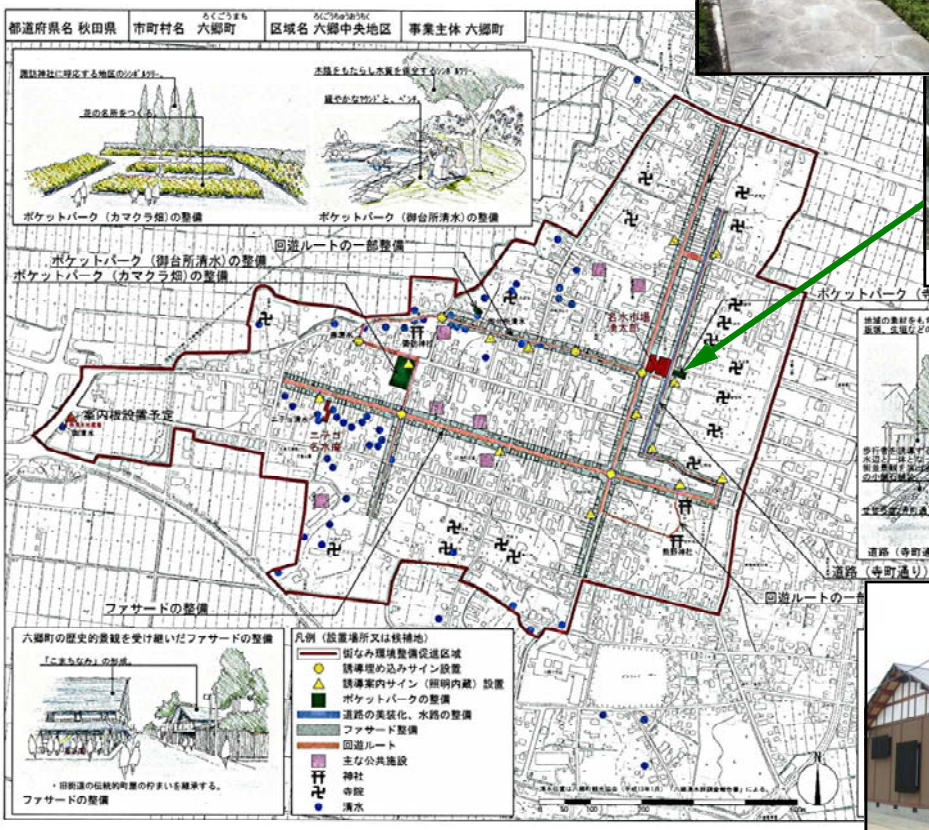
地区内の歴史的資源である寺社や神社、酒蔵及び「清水」を活かし、道路の美装化や水路整備による地区内の回遊ルートづくりを行うとともに、小公園や誘導サインの整備、民間住宅への修景助成を進めます。



地区内の歴史的資源が集まっている寺町通りの回遊ルート沿いに整備したポケットパーク。せせらぎの水を引き込み、水際の景観を際立たせた親水的な区間としている。



ポケットパーク（寺前通り）





民間住宅の修景助成（外壁、屋根等）

平成19年度の予定

○道路の美装化や小公園の整備を実施し、事業の進捗を図ります。
○民間住宅への修景助成を継続して実施します。

事　業　効　果

○宗教都市として、また宿場町として栄えた往時の風格と潤いのある落ち着いた街なみを復活させ、魅力ある街なみ、快適な居住空間の創出に寄与します。

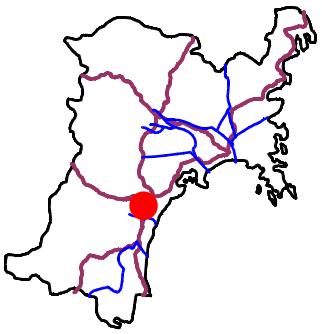
魅力ある都市づくり

事業名	中央一丁目第二地区第一種市街地再開発事業（補助：事業主体 仙台市） （宮城県仙台市）

事業着手：平成１２年度	完成・供用の目標年度：平成２０年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

宮城県

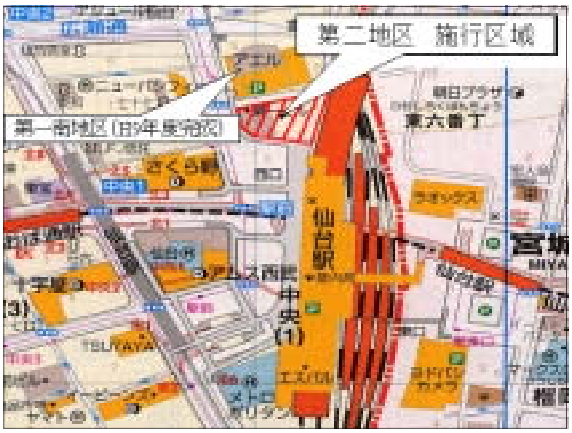


「事業の必要性」

当地区は、ＪＲ仙台駅北部玄関口に位置し、駅前の賑わいの創出と中心市街地の活性化、さらに杜の都仙台のシンボル拠点としてふさわしい駅前の景観形成が期待される地区です。しかしながら、地区内の状況は、土地の高度利用は図られているものの、建物の老朽化が目立ち防災上の不安を抱える状態で都市機能面でも商業空間の連続性や歩行者回遊性が不十分であること、業務についての高次情報化等に対応した機能導入が図られていないこと等魅力に欠けるものとなっています。(既存建物は解体済)

「事業の概要」

仙台駅に隣接して商業・サービス機能と情報化等に対応した広域的な業務機能の集積を視野に入れた複合施設を整備することにより、ペデストリアンデッキを介して周辺施設との回遊性を高め、駅前の賑わいの創出を図るとともに、魅力ある都市景観の創出に寄与します。



＜位置図＞



＜解体後の地区状況＞



＜完成予想図＞

平成１９年度の予定

○平成１７年度より建設事業に着手し、平成２０年度の完成を目指します。

事　業　効　果

○駅周辺の回遊性、利便性の向上を図ることにより、中心市街地の賑わい創出に寄与します。
○杜の都仙台の駅前にふさわしい魅力ある都市景観の創出に寄与します。

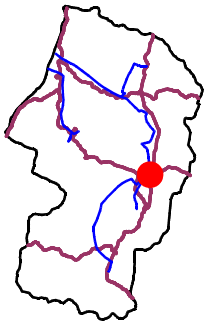
魅力ある都市づくり

事業名	山形県警察学校（生徒寮・炊食浴室棟の建設）（直轄） （山形県天童市）

事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成19年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

山形県



「事業の必要性」

山形県警察学校は、本館、生徒寮、女子寮、道場・射撃場、体育館などからなる施設です。これらの既存施設の主要な建物には昭和４０年代に竣工したものがあることから、施設の経年による老朽化が著しく、また、大量退職に伴う採用時教育への対応が困難なことが想定されています。

警察学校は、警察官の職務に必要な知識や技術を身につけるための施設であり、また、災害時には活動の拠点となるものです。施設の不備によって、社会の安全と安心を守る警察官の育成や災害活動に支障があってはならないことから、これら施設の建て替えが求められてきました。

「事業の概要」

今回は、山形県警察学校の中の女子寮（RC-2、延面積650㎡）、生徒寮（RC-3、延面積2,610㎡）の２棟を生徒寮・炊食浴室棟として１棟に集約し建て替えを行うものです。建て替えにあたっては、生徒の良好な居住環境を確保するとともに訓練を側面的に支援するものです。２棟を一体に整備することで、面積が縮減され、建設コストが縮減されます。また、山形県警察学校は全体建て替え計画を進めており体育館、道場・射撃場の建て替えが完了しており生徒寮・炊食浴室棟の建設は重要な事業です。



訓練風景



H17年度に建替えが完了した道場・射撃場（参考）

平成19年度の予定

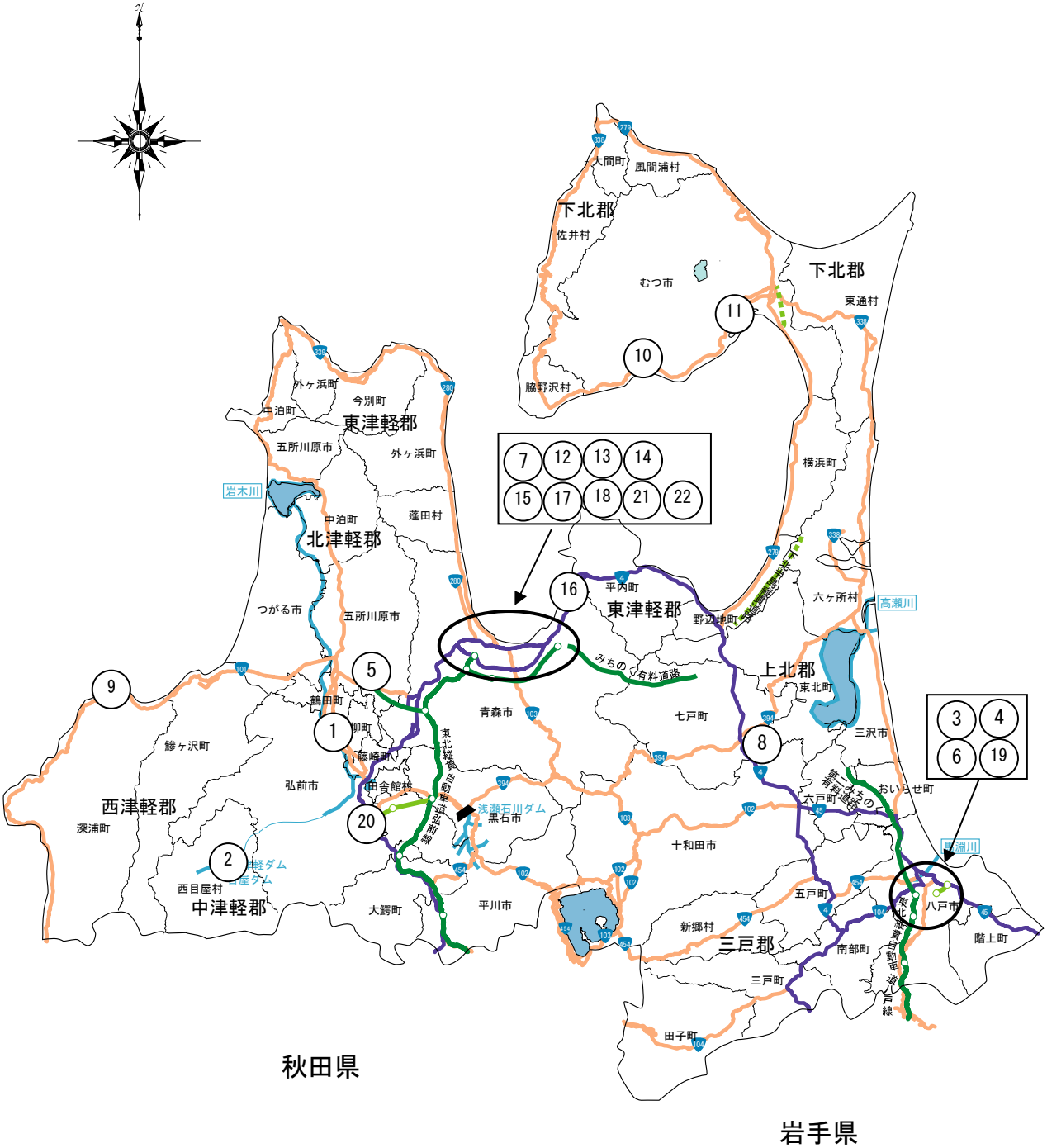
○生徒寮・炊食浴室棟の完成を図ります。

事　業　効　果

○警察官育成に必要な学校教養施設の一層の充実により、治安維持の向上が図れます
○災害時の治安維持活動拠点となる警察学校の安全性が向上することにより、災害に対する適切な活動に寄与します。

３．県別の主な事業箇所一覧

青森県管内図



凡　例

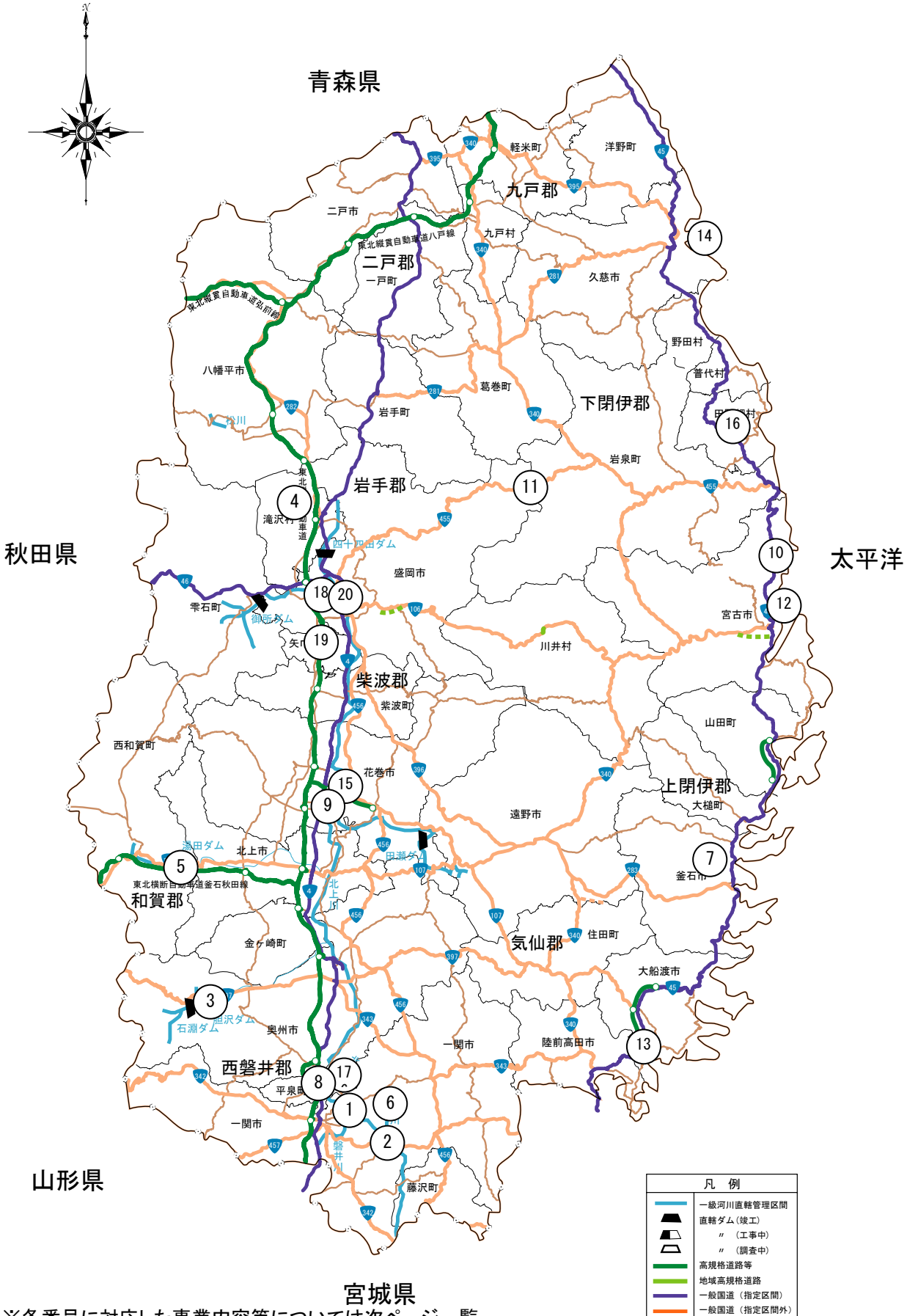
- 一級河川直轄管理区間
- 直轄ダム（竣工）
- 〃　（工事中）
- 〃　（調査中）
- 高規格道路等
- 地域高規格道路
- 一般国道（指定区間）
- 一般国道（指定区間外）

※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

【青森県】

No.	区分	事業名(市町村名)	整備内容	事業規模	頁
1	直轄	岩木川板柳地区消流雪用水導入事業 （北津軽郡板柳町）	完成	揚水機場　２基 導水施設　１式	53
2	直轄	津軽ダム建設事業（中津軽郡西目屋村）	継続	重力式コンクリートダム 総貯水量　142,300千m3	16
3	直轄	馬淵川水系直轄総合水系環境整備事業 （魚がすみやすい川づくり）（八戸市 他）	継続	魚道設置　２箇所	79
4	補助	土橋川床上浸水対策特別緊急事業 （八戸市）	継続	放水路 L=1,420m	25
5	直轄	津軽自動車道　一般国道１０１号 浪岡五所川原道路　（青森市～五所川原市）	全線供用	暫定2車線　L=7.6km	64
6	直轄	一般国道４５号　八戸バイパス （八戸市）	全線供用	完成4車線　L=2.2km	98
7	直轄	一般国道４号　造道地区電線共同溝 （青森市）	本体完成	電線共同溝　L=690m	37
8	直轄	一般国道４号　七戸バイパス （十和田市～上北郡七戸町）	部分供用	暫定2車線　L=2.9km	82
9	補助	一般国道１０１号　千畳敷橋外架替事業 （西津軽郡鰺ヶ沢町～深浦町）	完成	千畳敷橋、宇名原橋、入良川橋架替	39
10	補助	川内港海岸葛沢地区侵食対策事業 （むつ市）	完成	護岸 L=158m、離岸堤 L=762m 護岸(改良) L=1,328m	45
11	補助	大湊港海岸大湊地区侵食対策事業 （むつ市）	継続	緩傾斜護岸 L=900m	85
12	補助	青森港海岸造道地区高潮対策事業 （青森市）	継続	胸壁 L=253m、 護岸(改良) L=863m	－
13	直轄	青森港沖館地区複合一貫輸送ターミナル改良事業（耐震強化）（青森市）	完成	L=185m、水深7.5m フェリー対応	44
14	補助	青森港沖館地区橋梁改良事業（耐震強化） （青森市）	完成	4車線、L=644m	44
15	補助	青森港本港地区橋梁改良事業（青森市）	部分供用	4車線、L=1,721m	91
16	補助	青森港浅虫地区港湾環境整備事業（青森市）	完成	緑地面積 5,230m2	－
17	補助	まちづくり交付金（新幹線新青森駅・青森駅周辺地区）（青森市）	継続	観光交流ｾﾝﾀｰ、地域交流ｾﾝﾀｰ、 駅前広場、港の歴史伝承館	104
18	補助	青森市公共下水道［機能高度化下水道事業］ （青森市）	継続	まちなかコミュニティ雪処理 投雪口：全体計画345基	57
19	補助	八戸市公共下水道事業[浸水対策下水道事業] （八戸市）	継続	河原木第2排水ポンプ場 集水面積A=約879ha	－
20	補助	都市計画道路　弘前黒石線（弘前市）	完成	L=665m　4車線	－
21	補助	都市計画道路　内環状線「石江工区」 （青森市）	継続	L=524m　4車線	－
22	補助	石江土地区画整理事業（青森市）	継続	A=46.2ha	－

岩手県管内図



※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧

【岩手県】

No.	区分	事業名(市町村名)	整備内容	事業規模	頁
1	直轄	一関遊水地建設事業 (一関市、奥州市、平泉町)	継続	遊水地A=1,450ha、周囲堤L=28,200m 小堤L=18,200m、橋梁架け替え等	20
2	直轄	一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業 (一関市)	継続	輪中堤、宅地嵩上げ等	21
3	直轄	胆沢ダム建設事業(奥州市)	継続	中央コア型ロックフィルダム 総貯水量　143,000千m3	17
4	直轄	八幡平山系直轄火山砂防事業(鬼又沢第一・第二砂防えん堤)(滝沢村)	継続	土砂整備効果量　38,500m3	15
5	直轄	湯田ダム湖活用環境整備事業 (和賀郡西和賀町)	完成	多目的広場、遊歩道、親水護岸　等	76
6	補助	砂鉄川激甚災害対策特別緊急事業 (一関市)	完成	掘削、築堤、橋梁 4基	22
7	補助	箱崎東の沢通常砂防事業 (釜石市)	継続	堰堤工 2基	28
8	直轄	一般国道４号　平泉バイパス (西磐井郡平泉町)	全線供用	暫定2車線　L=3.4km	81
9	直轄	一般国道４号　花巻東バイパス (花巻市)	全線供用	暫定2車線　L=3.3km	95
10	直轄	一般国道４５号　道の駅「たろう」防災拠点化整備事業(宮古市)	完成	災害用資材倉庫等の整備	38
11	補助	一般国道４５５号　早坂道路 (盛岡市～下閉伊郡岩泉町)	完成	トンネル設備工事、改良工事等 を実施	72
12	補助	宮古港海岸高浜地区高潮対策事業 (宮古市)	完成	防潮堤 L=368m、陸閘 1基	46
13	補助	大船渡港海岸津波防災ステーション (大船渡市)	継続	陸閘 3基、水門 4基 中央局舎、中継局舎他 1式	－
14	直轄	久慈港湾口地区防波堤整備事業(直轄海岸事業との合併事業)(久慈市)	継続	L=3,800m	42
15	補助	まちづくり交付金「赤坂地区」(花巻市)	完成	交流ｾﾝﾀｰ、公営住宅、広場、 道路、宅地造成	－
16	補助	田野畑村(たのはたむら)特定環境保全公共下水道事業 (下閉伊郡田野畑(たのはたむら)村)	供用	事業計画人口：1，000人 事業計画面積：45ha	86
17	補助	都市計画道路　毛越寺(もうつうじ)線(西磐井郡平泉町)	供用	L=700m　2車線	88
18	補助	都市計画道路　向中野安部館(むかいなかのあべたて)線「仙北２丁目」 (盛岡市)	供用	L=189m　4車線	－
19	補助	矢幅駅西(やはばえきにし)土地区画整理事業(紫波郡矢巾(やはばちよう)町)	補助完了	A=22.6ha	－
20	補助	月が丘地区住宅市街地総合整備事業(盛岡市)	完成	公営住宅　48戸	62

宮城県管内図

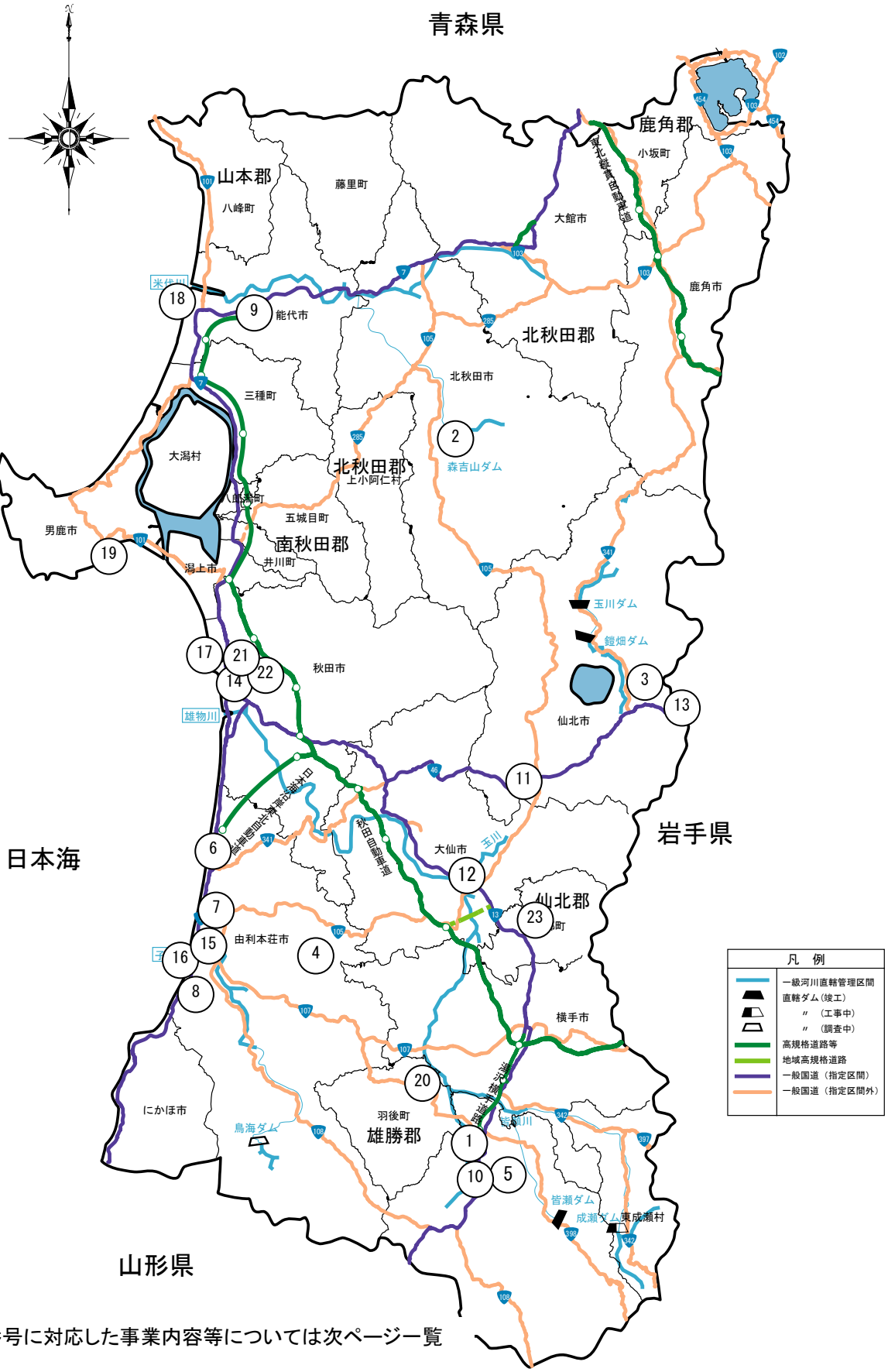


※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

【宮城県】

No.	区分	事業名(市町村名)	整備内容	事業規模	頁
1	直轄	名取川改修事業（藤塚地区） （仙台市）	継続	築堤L=3,000m	77
2	直轄	北上川下流改修事業（北上分流堰地区） （登米市）	完成	水門２基、築堤L=930m	6
3	直轄	北上川下流改修事業（南沢川） （登米市）	完成	築堤L=2,300m、河道掘削 排水機場、サイフォン等	7
4	直轄	北上川下流月浜第一水門改築事業 （石巻市）	完成	水門新設(W=20m×3門) 旧施設撤去	8
5	直轄	丸森・梁川地区土地利用一体型水防災事業 （丸森地区：伊具郡丸森町）	継続	輪中堤、宅地嵩上げ等	21
6	直轄	北上川水系直轄総合水系環境整備事業 （鴇波地区歴史公園整備）（登米市・石巻市）	継続	基礎整備　26,000㎡ 緩傾斜堤防　550m　他	78
7	直轄	名取川水系直轄総合水系環境整備事業 （広瀬川タウンモビリティ）（仙台市）	継続	坂路工　5箇所 低水路護岸　500m　他	94
8	補助	川内沢川広域基幹河川改修事業（名取市）	継続	河道改修 L=11,780m （うち捷水路区間 L=5,640m）	26
9	補助	大曲海岸侵食対策事業（東松島市）	継続	ﾍｯﾄﾞﾗﾝﾄﾞ7基、消波工L=1,165m 養浜工 V=20,000m3	47
10	直轄	三陸縦貫自動車道　一般国道４５号 桃生登米道路（石巻市～登米市）	全線供用	暫定2車線　L=9.6ｋｍ	65
11	直轄	一般国道４５号　鳴瀬大橋震災対策 （東松島市）	完成	橋脚補強	33
12	直轄	一般国道４８号　仲の瀬橋震災対策（仙台市）	完成	橋脚補強、落橋防止装置設置	32
13	直轄	一般国道４７号　下野目地区防雪対策 （大崎市）	継続	防雪柵設置	55
14	直轄	一般国道４号　末広地下横断歩道整備事業 （岩沼市）	完成	地下横断歩道の新設	59
15	直轄	一般国道４５号　仙台東部共同溝　（仙台市）	完成	共同溝　L=1,400m	35
16	直轄	仙台空港Ｂ滑走路改良事業（名取市）	継続	L=3,000m	73
17	直轄	仙台塩釜港仙台港区中野地区岸壁改良事業(耐震強化)（仙台市）	完成	L=240m、水深12m 30,000トン級対応	40
18	補助	仙台市公共下水道事業〔合流式下水道緊急改善事業〕（仙台市）	継続	合流改善対象区域　6,674ha 合流緊急改善計画対象面積 1,635ha	92
19	補助	仙台市公共下水道事業〔浸水被害緊急改善下水道事業等〕（仙台市）	継続	浸水被害対策計画対象面積 原町東部地区　221ha 長町地区　140ha	51
20	補助	都市計画道路　北四番丁大衝線（仙台市）	継続	L=2,837m　4車線	106
21	直轄	国営みちのく杜の湖畔公園整備事業（Ⅱ期地区草原エリア）（柴田郡川崎町）	継続	草原エリア13.8ha等	90
22	補助	仙台市営西中田住宅ストック総合改善事業(仙台市）	継続	38戸	93
23	補助	住宅・建築物耐震改修等事業（仙台市）	継続	仙台市役所本庁舎耐震補強他	50
24	補助	中央一丁目第二地区第一種市街地再開発事業 （仙台市）	継続	S造(一部SRC造) 地上19階 地下2階　延べ面積 49,947m2	108

秋田県管内図

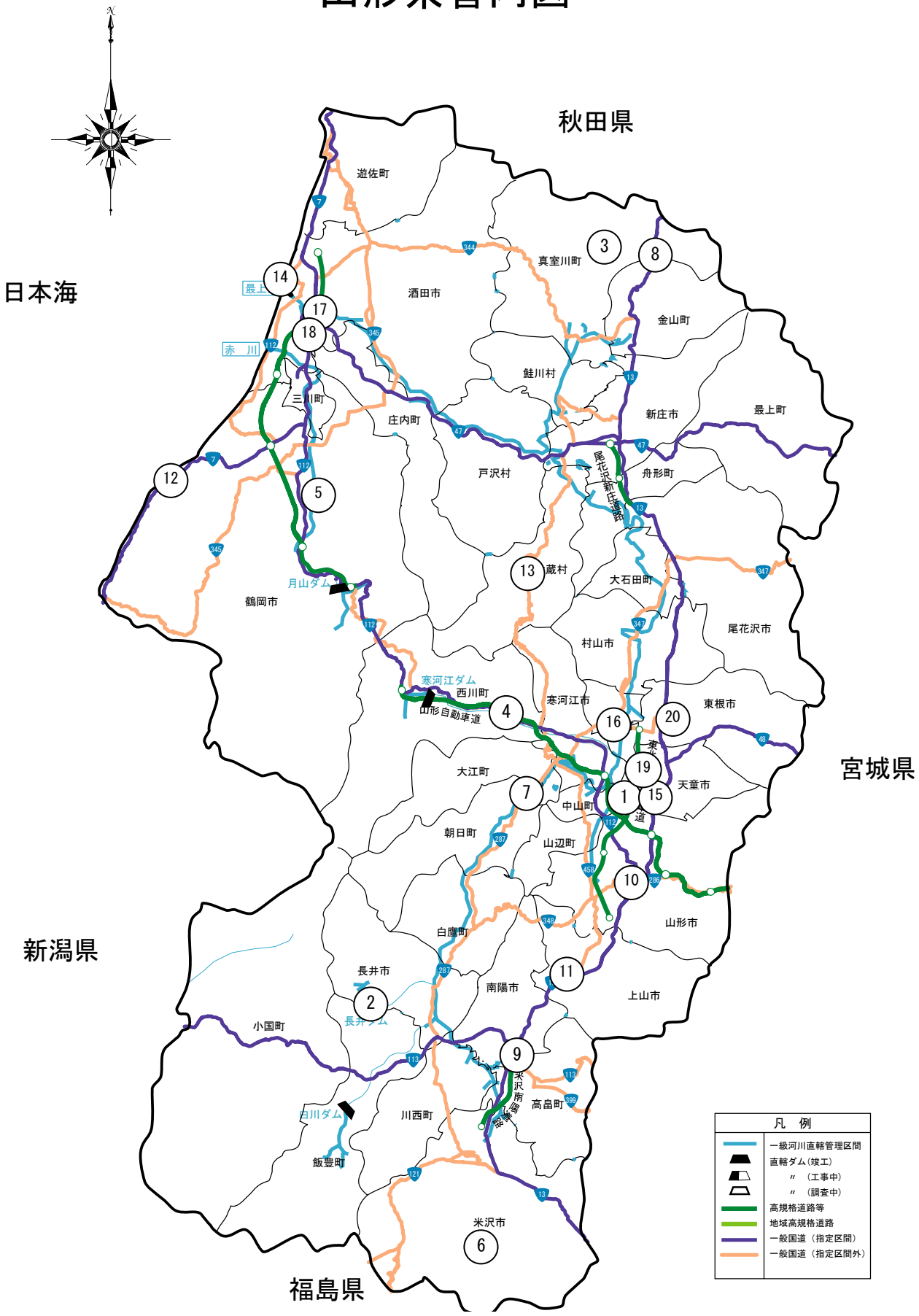


※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧

【秋田県】

No.	区分	事業名(市町村名)	整備内容	事業規模	頁
1	直轄	雄物川上流湯沢統合堰改築事業（湯沢市）	継続	堰本体工(L=120m、可動堰)、魚道用水樋門、旧施設撤去、導水路	12
2	直轄	森吉山ダム建設事業（北秋田市）	継続	中央コア型ロックフィルダム 総貯水量　78,100千m3	19
3	直轄	八幡平山系直轄火山砂防事業（六枚沢川第二砂防えん堤）（仙北市）	完成	土砂整備効果量　15,600m3	11
4	補助	大内ダム建設事業（由利本荘市）	完成	・重力式コンクリートダム ・総貯水容量　724千m3	24
5	補助	戸沢地区急傾斜地崩壊対策事業（湯沢市）	継続	L=410m	27
6	直轄	一般国道７号　本荘地区橋梁架替（由利本荘市）	部分完成	新衣川橋架替　完成	31
7	直轄	日本海沿岸東北自動車道　本荘～岩城（由利本荘市）	全線供用	暫定2車線　L=21km	66
8	直轄	一般国道７号　仁賀保本荘道路（にかほ市～由利本荘市）	部分供用	暫定2車線　L=11.3km	67
9	直轄	一般国道７号　琴丘能代道路（能代市）	全線供用	暫定2車線　L=10.0km	68
10	直轄	一般国道１３号　湯沢横手道路（湯沢市）	全線供用	暫定2車線　L=3.6km	69
11	直轄	盛岡秋田道路　一般国道４６号角館バイパス（仙北市）	部分供用	暫定2車線　L=2.6km	100
12	直轄	一般国道１３号　大曲バイパス（大仙市）	全線供用	完成4車線　L=2.6km	96
13	直轄	一般国道４６号　仙岩道路電気設備更新（仙北市）	継続	非常警報設備、電源制御テーブル配管設備、機械室機器　更新	34
14	直轄	一般国道７号　土崎自転車歩行者道整備事業（秋田市）	継続	用地買収の推進	60
15	補助	本荘大曲道路　一般国道１０５号岩谷道路（由利本荘市）	全線供用	暫定2車線　L=0.8km	－
16	補助	本荘港海岸水林地区侵食対策事業（由利本荘市）	継続	離岸堤　L=750m	－
17	直轄	秋田港外港地区防波堤整備事業（秋田市）	継続	L=1,400m	74
18	直轄	能代港大森地区航路整備事業（能代市）	完成	潜堤L=800m、浚渫320,000m3	75
19	補助	船川港金川地区臨港道路（生鼻崎線）改良事業（男鹿市）	供用	4車線、L=3,231m	－
20	補助	まちづくり交付金「西毛音内地区」(雄勝郡羽後町)	完成	盆踊り会館､交通広場･道路	102
21	補助	都市計画道路　秋田中央道路（秋田市）	供用	L=2,550m　2車線	105
22	補助	都市計画道路　秋田駅東中央線（秋田市）	供用	L=605m　4車線	－
23	補助	六郷中央地区街なみ環境整備事業（仙北郡美郷町）	継続	小公園整備、水路・道路の美装化、案内板の設置、民間住宅等修景助成	107

山形県管内図



※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

【山形県】

No.	区分	事業名(市町村名)	整備内容	事業規模	頁
1	直轄	最上川上流須川引堤事業 (山形市・天童市)	継続	築堤L=3,600m、旧堤撤去、河道掘削 橋梁架替・継足、樋門新設等	13
2	直轄	長井ダム建設事業(長井市)	継続	重力式コンクリートダム 総貯水量　51,000千m3	18
3	直轄	最上川水系直轄砂防事業(八敷代川第三砂防えん堤)(最上郡真室川町)	完成	土砂整備効果量　41,950m3	9
4	直轄	最上川水系直轄砂防事業(トノ沢砂防えん堤群(第２号えん堤))(西村山郡西川町)	完成	土砂整備効果量　3,624m3	10
5	直轄	赤川水系直轄総合水系環境整備事業 (自然再生)(鶴岡市)	継続	魚道設置　　３箇所 樹林伐採　　56ha(ﾊﾘｴﾝｼﾞｭ伐採)	80
6	補助	綱木川ダム建設事業(米沢市)	完成	・中央コア型ロックフィルダム ・総貯水容量　9,550千m3	30
7	補助	今平雪崩対策事業 (西村山郡朝日町)	継続	雪崩予防柵工 34基	54
8	直轄	一般国道１３号　主寝坂道路 (最上郡金山町～真室川町)	全線供用	暫定2車線　L=4.9km	70
9	直轄	新潟山形南部連絡道路　一般国道１１３号 赤湯バイパス(南陽市～東置賜郡高畠町)	部分供用	暫定2車線　L=2.0km	71
10	直轄	一般国道１３号　蔵王成沢交差点改良 (山形市)	完成	左折レーンの新設	58
11	直轄	一般国道１３号　上山バイパス (上山市～山形市)	部分供用	暫定2車線　L=3.7km	101
12	直轄	一般国道７号　小波渡自転車歩行者道整備事業(鶴岡市)	継続	鰺ヶ崎トンネル本体工(L=316m)着手	61
13	補助	一般国道４５８号　雪寒道路事業　日陰倉工区(最上郡大蔵村)	完成	スノーシェッド　L=213m 雪崩予防柵工　L=36m	56
14	補助	酒田港西ふ頭地区橋梁(大浜陸橋)改良事業 (耐震強化)(酒田市)	継続	2車線、L=405m	－
15	直轄	山形県警察学校(生徒寮・炊食浴室棟の建設) (天童市)	完成	生徒寮・炊食浴室棟 RC-4　2,805㎡	109
16	補助	まちづくり交付金「谷地地区」(西村山郡河北町)	継続	公園･広場･歩道･せせらぎ水路整備 ､融雪溝､地域交流ｾﾝﾀｰ､まちづくり	－
17	補助	酒田市公共下水道事業〔合流式下水道緊急改善事業〕(酒田市)	継続	合流改善対象区域　313ha	－
18	補助	都市計画道路　本町東大町線(酒田市)	供用	L=380m　4車線	－
19	補助	都市計画道路　愛宕沼天童原線外１線 (天童市)	供用	L=943m　2車線	－
20	補助	一本木土地区画整理事業(東根市)	補助完了	A=53.8ha	48

福島県管内図



※各番号に対応した事業内容等については次ページ一覧参照

【福島県】

No.	区分	事業名（市町村名）	整備内容	事業規模	頁
1	直轄	丸森・梁川地区土地利用一体型水防災事業 （梁川地区：伊達市）	継続	輪中堤、宅地嵩上げ等	21
2	直轄	二本松・安達地区土地利用一体型水防災事業 （二本松市）	継続	輪中堤L=4,200m 樋門、橋梁等	21
3	直轄	阿武隈川水系直轄火山砂防事業（須川第二砂防えん堤）（福島市）	継続	土砂整備効果量　45,000m3	14
4	補助	湯本川床上浸水対策緊急事業 （いわき市）	完成	河道改修 L=2,550m 調整地、橋梁架替8橋	23
5	補助	木戸ダム建設事業（双葉郡楢葉町）	完成	・重力式コンクリートダム ・総貯水容量　18,470千m3	29
6	直轄	一般国道４号　本宮拡幅 （安達郡本宮町～大玉村）	全線供用	完成4車線　L=2.9km	99
7	直轄	一般国道６号　相馬バイパス（相馬市）	全線供用	完成2車線　L=1.8km 完成2車線　L=2.9km	97
8	直轄	一般国道４号　図景地区電線共同溝（郡山市）	完成	L=1,500m	36
9	直轄	相馬港３号ふ頭地区岸壁整備事業（耐震強化） （相馬市）	継続	L=240m、水深12m 30,000トン級対応	43
10	補助	小名浜港東港地区広域資源活用護岸整備事業 （いわき市）	継続	面積27.8ha、護岸延長1,640m	－
11	補助	まちづくり交付金「棚倉城跡周辺地区」 （東白川郡棚倉町）	完成	道路･駐車場･歩道､広場	－
12	補助	まちづくり交付金「いわき駅前地区」 （いわき市）	継続	駅前広場、交流拠点施設 市街地再開発等	103
13	補助	いわき市公共下水道事業〔合流式下水道緊急改善事業〕（いわき市）	継続	合流改善対象区域　159.2ha	－
14	補助	猪苗代町公共下水道（猪苗代処理区） （耶麻郡猪苗代町）	継続	事業計画人口：8,700人 事業計画面積：512.0ha	87
15	補助	都市計画道路　勿来岩間線外１線（いわき市）	完成	L=668m　2車線	－
16	補助	都市計画道路　小倉寺大森線（福島市）	継続	L=661m　4車線	－
17	補助	都市公園整備事業　亀ヶ城公園 （耶麻郡猪苗代町）	継続	全体面積　17.3ha	89
18	補助	扇町土地区画整理事業（会津若松市）	補助完了	A=107.3ha	49
19	補助	郡山市都市水環境整備事業（郡山市）	継続	雨水貯留施設　約４００基	52